

形がかわいい、編み地が楽しい



エコアンダリヤの かごバッグ+帽子



橋本真由子

朝日新聞出版

形がかわいい、編み地が楽しい



エコアンダリヤの
かごバッグ+帽子



橋本真由子



CONTENTS



- 01 藤かご風バッグ…4
- 02 花模様のバッグ…5
- 03 透かし模様のハット…6
- 04 リーフ柄のバッグ…7
- 05 交差編みのショルダー…8
- 06 リングモチーフのカンカン帽…10
- 07 リボンのバッグ…11
- 08 サークルポシェット…12
- 09 ウッドハンドルのバッグ…13
- 10 ハーフムーンバッグ…14
- 11 バイナップル柄のバッグ…15
- 12 バラのショルダー…16
- 13 連続模様のバッグ…17
- 14 フリルのバッグ…18
- 15 透かし柄のビッグトート…20
- 16 リボンつきクローシュ…22
- 17 べたんこバッグ…23
- 18 ライン入りの巾着&トート…24
- 19 ワンハンドルのバッグ…26
- 20 バックリボンのハット…27
- 21 マルシェバッグ…28
- 22 あずま袋風バッグ…30
- 23 がま口バッグ…32
- 24 フラップつきショルダー…33

- 編み始める前に…35
- 作品の編み方…38
- かぎ針編みの基礎…90



01 籐かご風バッグ

かっちりとした籐のかごをイメージした、横長バッグ。
前々段を拾うこま編み模様は、編み地が厚く仕上がり、
形づくりもきれいにできます。

HOW TO MAKE_P.38





02 花模様のバッグ

底から入れ口に向けて、大きな花を描いたマルシェバッグ。
ぽこぽこと浮かび上がる、ポップコーンの模様が印象的です。

HOW TO MAKE P.40



03 透かし模様のハット

サイドとブリムに入れた透かし模様がポイント。
広いブリムが、夏の日差しからしっかりと守ってくれます。

HOW TO MAKE_P.42



04 リーフ柄のバッグ

立体的に浮かび上がるリーフ柄と、小さな玉編みを並べました。
人気のバケツ型バッグは、お出かけにはもちろん、部屋かごにしても素敵。

HOW TO MAKE_P.44

05 交差編みのショルダー

編み地のテクスチャーが魅力のこま編みの交差編み。

シンプルな形でも表情が出ます。

Aは斜めがけ、Bはショルダータイプです。

HOW TO MAKE_P.46





B



06 リングモチーフのカンカン帽

リングモチーフの飾りをあしらったカンカン帽。
おしゃれ感が出て、よそいきのお出かけにも似合います。

HOW TO MAKE P.52



07 リボンのバッグ

入れ口をリボン形にした、かわいらしいデザイン。
黒を選べば甘すぎず、大人っぽい雰囲気。
普段使いにも活躍します。

HOW TO MAKE_P.54

08 サークルポシェット

人気のサークルバッグを、小さめのポシェットに。
放射状に入れた引き上げ編みのラインが効いています。

HOW TO MAKE P.56



09 ウッドハンドルのバッグ

入れ口の両サイドに
マグネットホックをつけたスクエアバッグ。
広げても使える 2way 仕様です。
引きそろえた糸の表情が魅力。

HOW TO MAKE_P.58





10 ハーフムーンバッグ

流行の半月型バッグ。

難しそうに見えますが、編み方はシンプルです。
バンブーハンドルでナチュラルにまとめました。

HOW TO MAKE P.49

11 バイナッブル柄のバッグ

くっきりと浮かび上がる、バイナッブル模様が印象的なバッグ。
繊細なかぎ針編みの楽しさを存分に味わえるデザインです。

HOW TO MAKE_P.60



12 バラのショルダー

丸モチーフに立体的な花びらを編みつけて
バラを作る、編むのも楽しいデザイン。
広めのまちとファスナーで、
使いやすさにもこだわりました。

HOW TO MAKE_P.62





13 連続模様のバッグ

夏の装いに映える、鮮やかなグリーンのバッグ。
入れ口にタックを寄せて、ころんとした形に仕上げました。

HOW TO MAKE_P.68



14 フリルのバッグ

入れ口をフリルに編んだ、乙女なマルシェバッグ。
フリル部分にはテクノロートを入れているので、形づくりは自在。
好みの形を楽しんで。

HOW TO MAKE_P.70

B



15 透かし柄のビッグトート

レザー底を使用した、収納力抜群のトートバッグ。
透け感のある模様と明るいカラーで、軽やかな雰囲気。

HOW TO MAKE_P.72







16 リボンつきクローシュ

前後で少しだけブリムの長さをかえた。
シルエットがおしゃれな帽子。
ブリムはくるんと折り返してかぶっても素敵です。

HOW TO MAKE P.74



17 べたんこバッグ

連続模様で小花柄を描いたべたんこバッグ。
くさり編みの持ち手もかわいいポイントです。
ちょっとそこまでのお出かけに。

HOW TO MAKE_P.76





18 ライン入りの巾着 & トート

Aは引き上げ編みのラインを入れたシンプルな巾着バッグ。

ひもを通さずトートタイプに仕上げたBは、
ライン部分にフリルを編みつけました。

HOW TO MAKE_P.65

19 ワンハンドルのバッグ

ほどよい透け感が夏らしい、交差模様の小さめバッグ。
ビビッドな色を選んで、コーディネートアクセントに。

HOW TO MAKE_P.78





20 バックリボンのハット

バックスタイルがかわいい、リボンつきハット。ブリムの後ろをセパレートにした、まとめ髪にもうれしいデザイン。

HOW TO MAKE_P.80



21 マルシェバッグ

シルエットがかわいい、大きめマルシェバッグ。
しっかりした編み地だから、荷物をたっぷり入れても安心です。
Bはオフホワイトとラメ糸を引きそろえて、ノブールな雰囲気。

HOW TO MAKE_P.82



B



22 あずま袋風バッグ

布で作るあずま袋と同じように、
長方形にまっすぐ編み、折りたたんで形づくりします。
組み立てると斜めボーダーになる、ユニークなデザイン。

HOW TO MAKE_P.84

101





23 がま口バッグ

編みつける口金を使ったがま口バッグ。
控えめな透かし柄と、濃いめのグレーでシックに仕上げました。
持ち手は取り外し可能なので、クラッチとしても。

HOW TO MAKE_P.86

24 フラップつきショルダー

フラップの形がポイントのバッグ。
かっちりしたシルエットで、きちんとした印象だから
オフィス使いにぴったりです。

HOW TO MAKE_P.88





HOW TO MAKE

次ページからはエコ Андリヤ の扱い方や
基本のテクニックを紹介しています。
エコ Андリヤ は、糸の特性上張りを感じるかもしれませんが、
しっかりときれいに仕上がるので、
腕や手首に余分な力を入れずリラックスして編んでください。
糸を引きすぎず、ゆるまない程度の力加減で
一定のテンポで編むと編み地が安定します。
仕上げにスチームアイロンをあてるときれいに仕上がります。

✕ 編み始める前に ✕

[用意するもの]

●糸

*糸見本は実物大



エコアンダリヤ

木材パルプを原料にした天然素材、レーヨン100%の糸。さらさらとした手触りで色数も豊富です。



エコアンダリヤ《クロッシュェ》

エコアンダリヤの半分の太さの細タイプ。適度なコシと張りがあり、繊細な編み地ができます。

●用具／その他



かぎ針

太さによって、2/0～10/0号まであり、数字が大きくなるほど太くなります。「ハマナカアミアミ両かぎ針ラクラク」は、1本で2種類の号数が使えて便利。



毛糸とじ針

縫い針よりも太く、先が丸い針。糸始末や持ち手をつけるときに。



段目リング

目数、段数を数えるときなどに、あると便利です。



クラフトハサミ

先が細くてよく切れる手芸用のハサミがおすすめ。



テクノロート (H204-593)

形状保持できる芯材。帽子のブリムなどに芯として一緒に編みくるむと、形が保たれます。編みくるみ方はP.37参照。



熱収縮チューブ (H204-605)

テクノロートの端の始末に使用します。



スプレーのり (H204-614)

スチームアイロンで形を整えたあと、スプレーのりをかけると形状が長く保たれます。

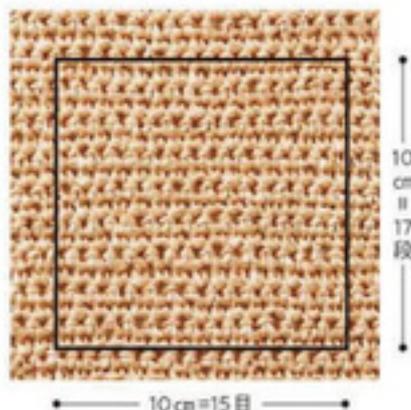


はっ水スプレー (H204-634)

エコアンダリヤは吸水性の高い素材なので、はっ水スプレーをかけて、はっ水・防汚効果を持たせるのがおすすめです。

[ゲージについて]

ゲージとは、「一定の大きさ(写真は10cm角)の中に何目、何段入るか」を示しています。本と同じ糸、同じ針で編んでも、編む人の手加減によってゲージが変わることがあります。帽子はかぶれなくなることもあるので、15cm角くらいの編み地を試し編みしてゲージを測り、表示のゲージと異なる場合は次の方法で調整しましょう。



目数・段数が表示よりも多い場合

手加減がきついので、編み上がり作品よりも小さくなります。表示よりも1～2号太めの針で編みましょう。

目数・段数が表示よりも少ない場合

手加減がゆるいので、編み上がり作品よりも大きくなります。表示よりも1～2号細めの針で編みましょう。

[エコアンダリヤの扱い方]

●糸の取り出し方

エコアンダリヤはビニール袋に入れたまま、糸玉の内側から糸端を取り出して使います。ラベルを外すと糸がほどけてしまい、編みにくくなるので外さないようにしましょう。



●エコアンダリヤの編み方

編み進めていくと編み地がうねりますが、気にせずにそのまま編んで大丈夫。編み地から少し浮かせてスチームアイロンをあてると、驚くほどきれいに編み地が整います。ある程度編み進んだらスチームアイロンをあてて編み目を整えると、気持ちよく続きが編めます。



●ほどいた糸は？

編み間違えてほどいたエコアンダリヤは、クセがついてそのまま編んでも目がそろいません。ほどいた糸に少し難してスチームアイロンをあてると、糸が伸びて元通りになります。数目だけほどいたときは、指でしごいて伸ばしましょう。



●引きそろえについて

何本かの糸を一緒に編むことを「引きそろえ」と言います。同じ糸で色をかえて引きそろえたり、素材の異なる糸を引きそろえることもあります。



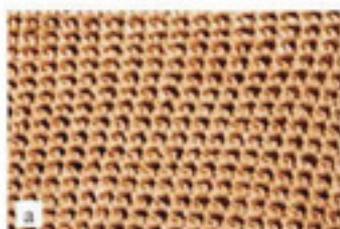
●作品の仕上げ方

帽子やバッグの中に新聞紙やタオルなどをつめて形を整えます(a)。編み地から少し浮かせてスチームアイロンをあて、形を整えて乾くまでそのまま置いておきます(b)。仕上げはP35で紹介しているスプレーのりをかけると形状が保たれます。ドライクリーニングに出すことも可能です。帽子の場合、トップやサイドを編んだ状態で、一度スチームアイロンをあてておくと、形が整えやすく、おすすめです(c)。



●斜行について

輪に編み進めていくと、編み目が少しずつ傾いていくことがあり、これを「斜行」と言います(a)。斜行の具合は編む手加減によって異なり、編み慣れた人でも起こることなので、気にする必要はありません。バッグの側面が斜行した場合は、持ち手をつけるときに目数はこだわらず、本体の中央に2本の持ち手の位置が合うようにしてつけましょう(b)。



[基本のテクニック]

●テクノロートの編みくるみ方

編み始め



1 熱収縮チューブを2.5cmに切り、テクノロートに通す。



2 テクノロートをチューブの先に引き出し、二つ折りにして数回ねじり、輪を作る(輪はかぎ針の頭が入る大きさ)。ねじった部分をチューブに戻し、ドライヤーの温風で加熱してチューブを収縮させる。



3 立ち上がりのくさり編みを編み、編み始めの目とテクノロートの輪に針を入れ、こま編みを編む。



4 次からは、テクノロートを編みくるみながらこま編みを編む。

編み終わり



1 編み終わりの5目くらい手前まで編んだら、形を整える。



2 5目分の2倍の長さを残し、テクノロートをカットする。



3 編み始めの1、2の要領で熱収縮チューブを通し、テクノロートをねじって輪を作る。



4 最後の目の手前まで編み、編み始めの3と同様に、最後の目とテクノロートの輪に針を入れてこま編みを編む。

●チェーンつなぎ *わかりやすいように、2~4は糸の色をかえています。



1 編み終わったら糸は15cmくらい残してカットし、針をはずして糸端を引き出す。



2 糸端を同じ針に通し、最初の目の頭(糸2本)をすくう。



3 次に、最後の目の頭に針を入れる。



4 糸を引き、くさり目を1目作る。最初と最後の目がつながり、きれいな仕上がりになる。

●レザー底に編みつける



1 糸端を10cm残し、レザー底の穴に針を入れて糸を引き出す。



2 立ち上がりのくさり編みを編む。



3 こま編みを編んでいく。



4 作品によっては、同じ穴にこま編みを2目、3目編み入れる。

01 籐かご風バッグ PHOTO_P.4



【用意するもの】

糸…ハマナカエコアンダリヤ(40g玉巻)

ベージュ(23)200g

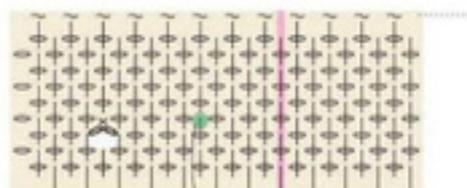
針…ハマナカアミアミ両かぎ針ラクラク7/0号

【ゲージ】模様編み 19目23段=10cm角

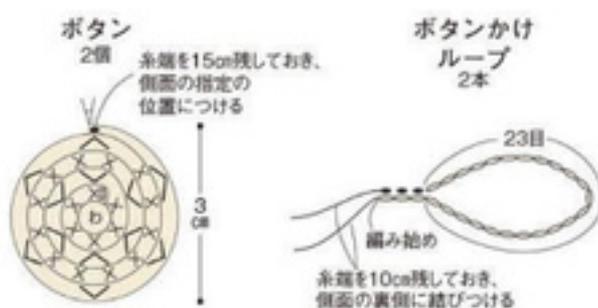
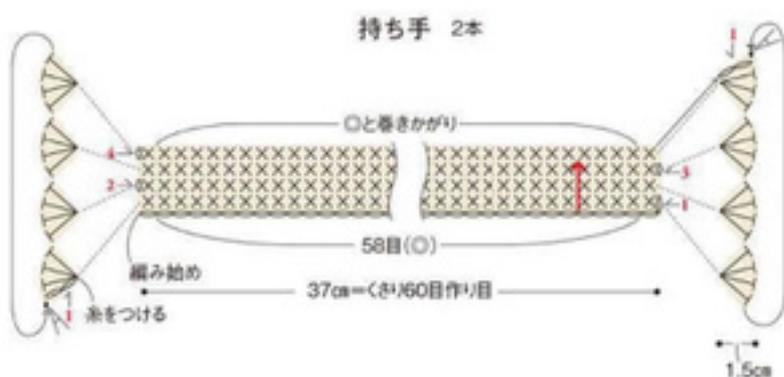
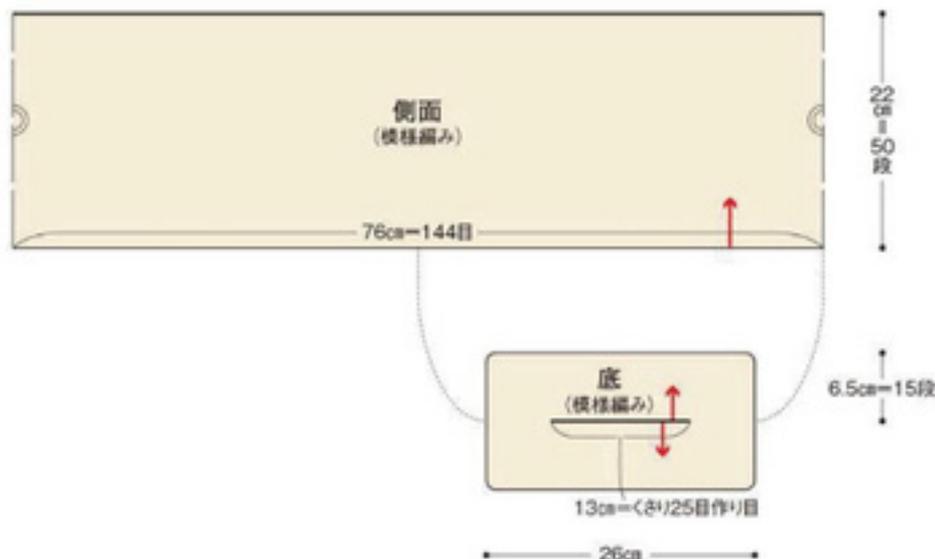
【サイズ】図参照

【編み方】糸は1本どりで編みます。

底はくさり25目を作り目し、両側から拾い目して模様編みで図のように増しながら編みます。続けて側面を模様編みで増減なく編み、最終段はバックこま編みで編みます。編み目をつぶさないようにアイロンで折り目をつけて形を整えます。持ち手はくさり60目を作り目してこま編みを4段編み、両側から中長編みを図のように編みます。作り目と4段めを巻きかがり、筒状にします。同様にもう1本編みます。ボタンとボタンかけループを図のように2組編みます。持ち手をつけ、ボタンとボタンかけループをつけます。



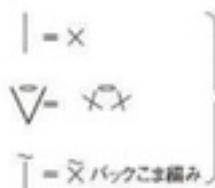
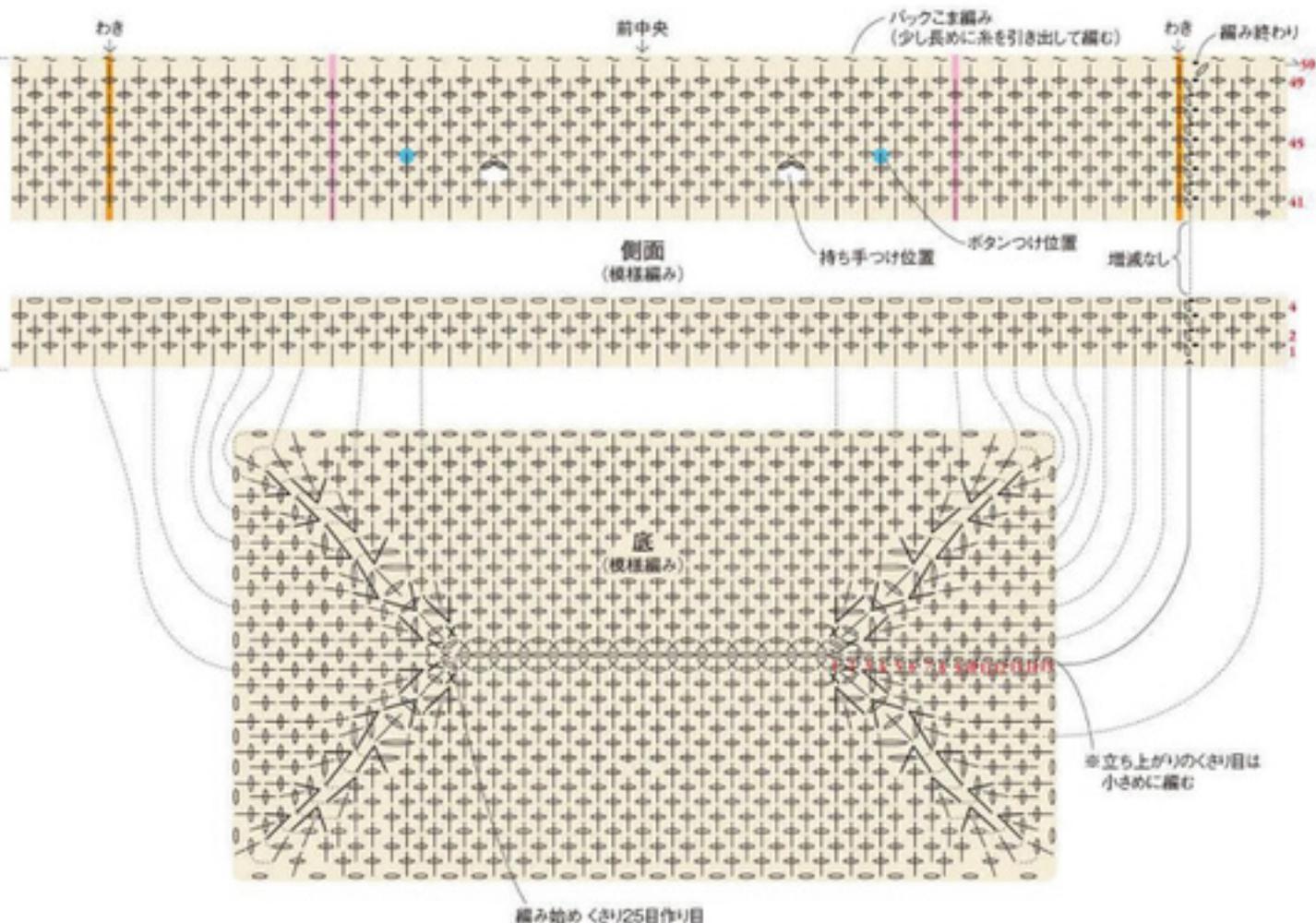
ボタンかけループつけ位置



∨ = ◊ こま編み2目編み入れる

∧ = ◊ こま編み2目一度

↘ = 糸を切る

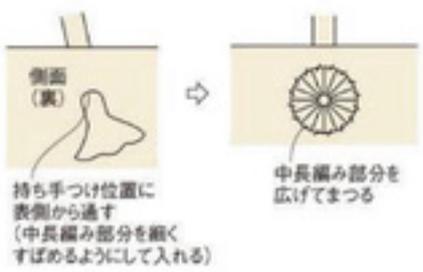


前段をくろみながら
前々段の目に編み入れる。
前々段がくさり目の
場合は束にすく
(P.82プロセス写真参照)

—山折り } 入れ口から約6cm
—谷折り } アイロンで形づくる



持ち手のつけ方



02 花模様のバッグ PHOTO_P.5



【用意するもの】

糸…ハマナカエコアンダリヤ(40g玉巻)

ベージュ(23)175g

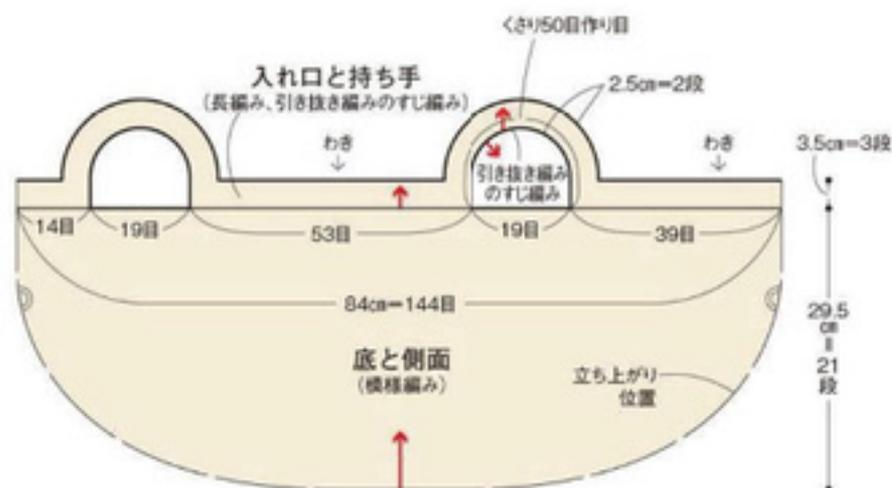
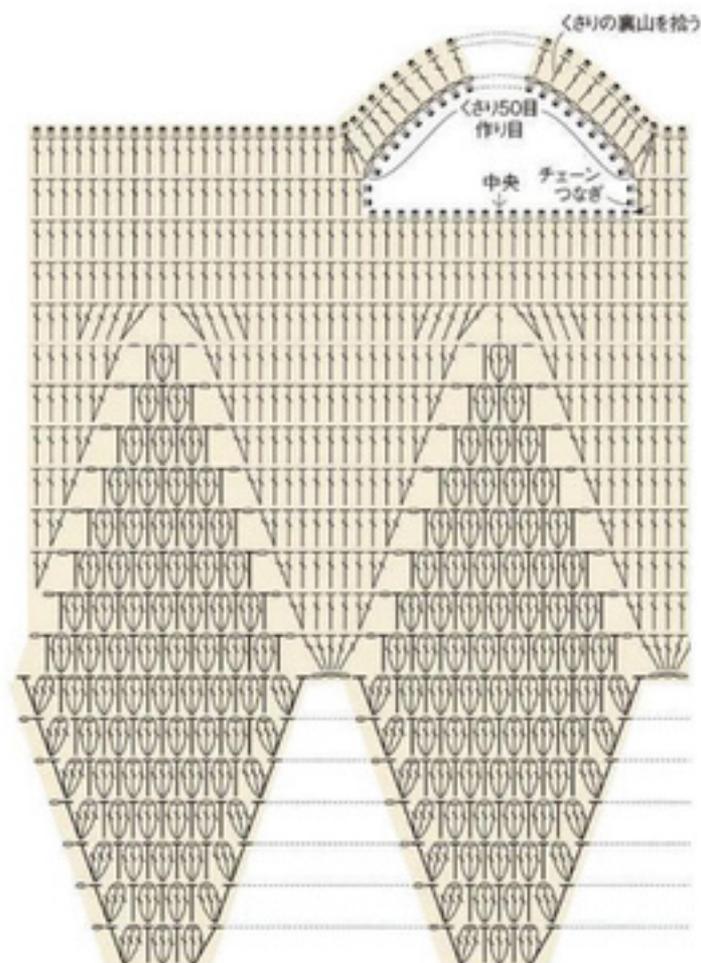
針…ハマナカアミアミ両かぎ針ラクラク6/0号

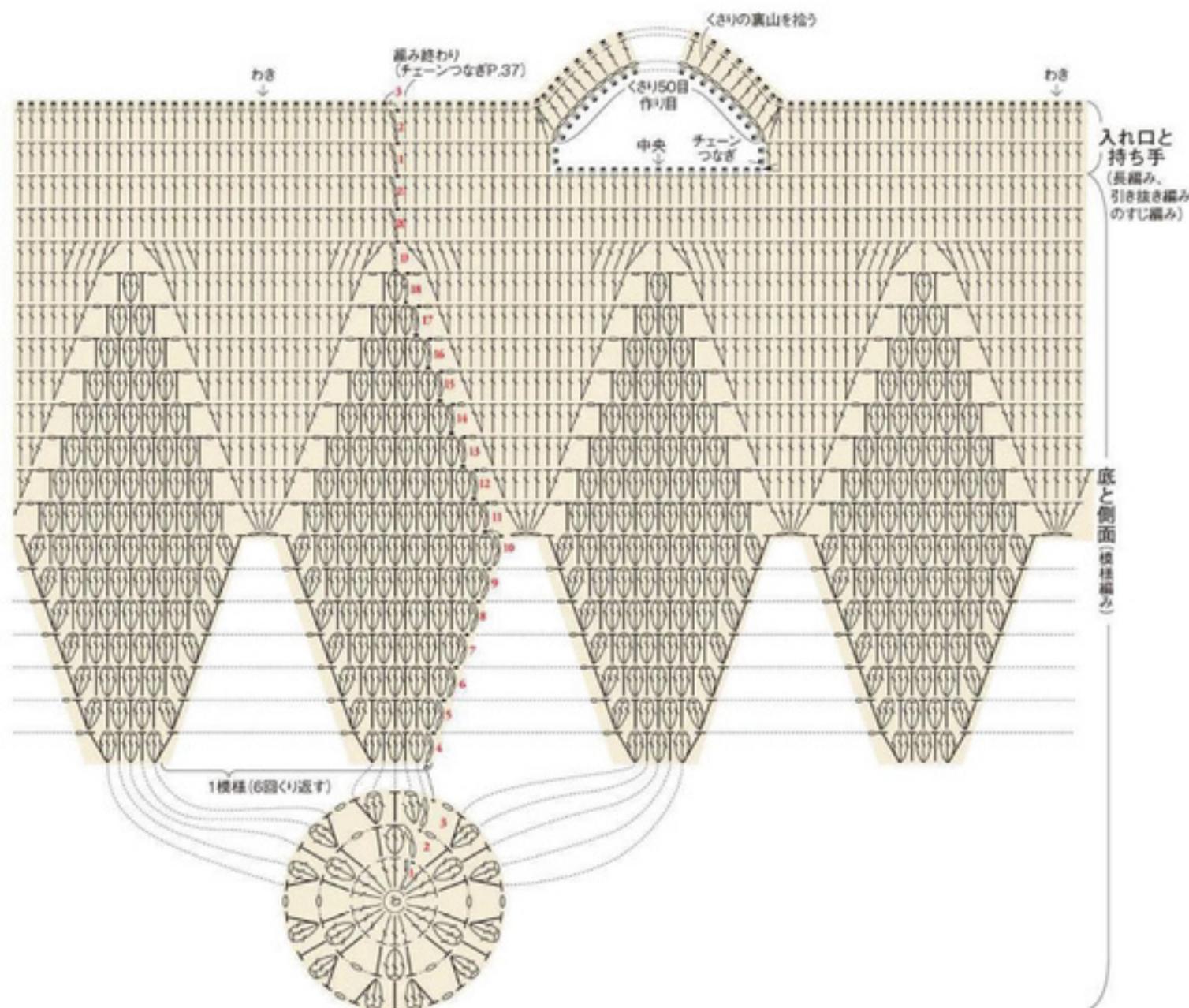
【ゲージ】模様編み 17目7段=10cm角

【サイズ】図参照

【編み方】糸は1本どりで編みます。

糸端を輪にし、立ち上がりのくさり3目を編み、長編みを17目編み入れます。2段めからは模様編みで図のように増しながら底と側面を編みます。続けて入れ口と持ち手を編みますが、指定の位置でくさり50目を編みます。持ち手の内側の指定の位置に糸をつけ、引き抜き編みのすじ編みを編みます。





模様編み



＝長編み3目のバブコーン編み



＝長編み3目のバブコーン編みと
中長編みを編み入れる

引き抜き編みのすじ編み
＝ (前段の目の向こう側1本を
すくって編む)

↙＝糸をつける

03 透かし模様のハット PHOTO_P.6



[用意するもの]

糸…ハマナカエコアングリヤ(40g玉巻)

ページュ(23)115g

針…ハマナカアミアミ両かぎ針ラクラク5/0号

[ゲージ]こま編み 18目17段=10cm角

模様編み(サイド) 1模様=4cm角

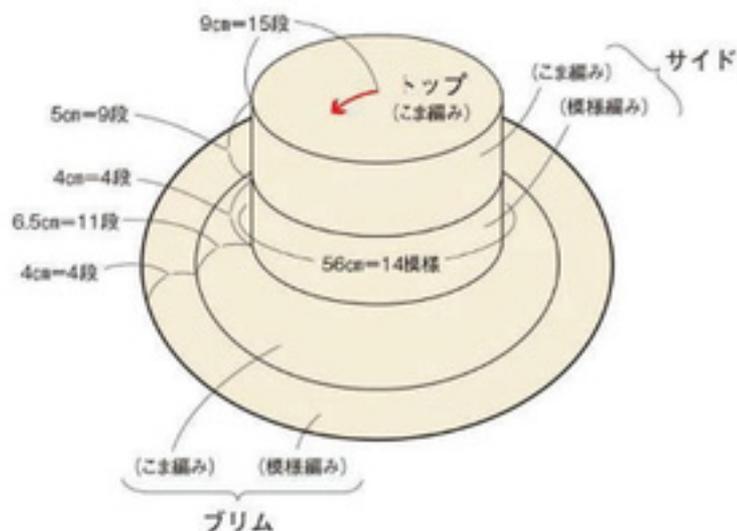
[サイズ]頭まわり56cm 深さ9cm

[編み方]糸は1本どりで編みます。

トップは糸端を輪にし、こま編みを7目編み入れます。続けて、こま編みで図のように増しながら編みます。続けてサイドとブリムをこま編みと模様編みで編みます。

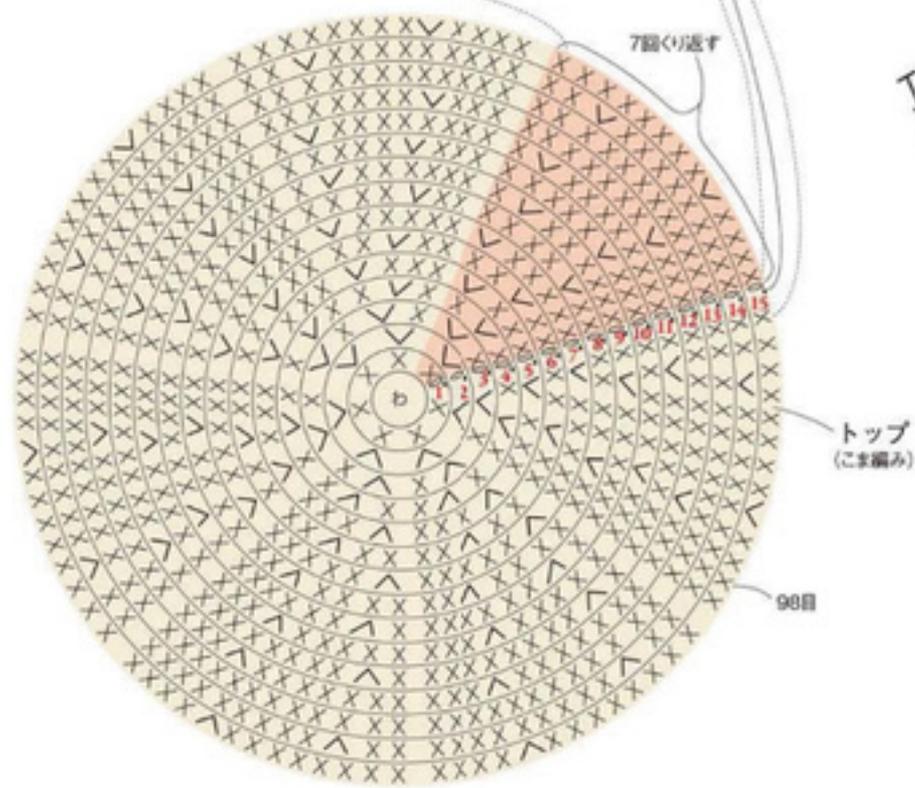
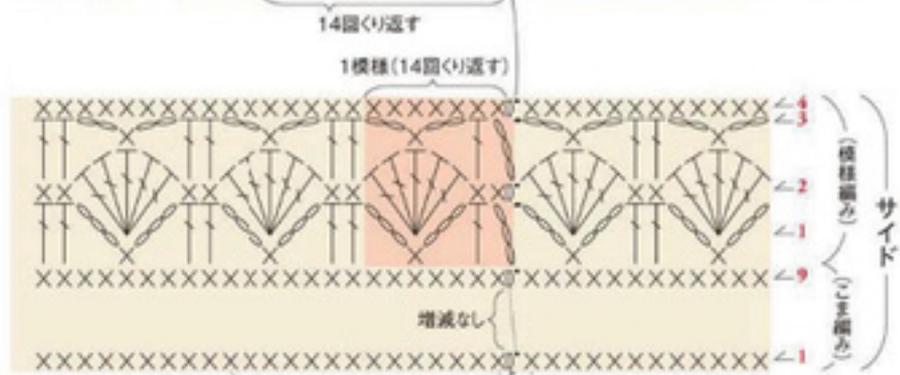
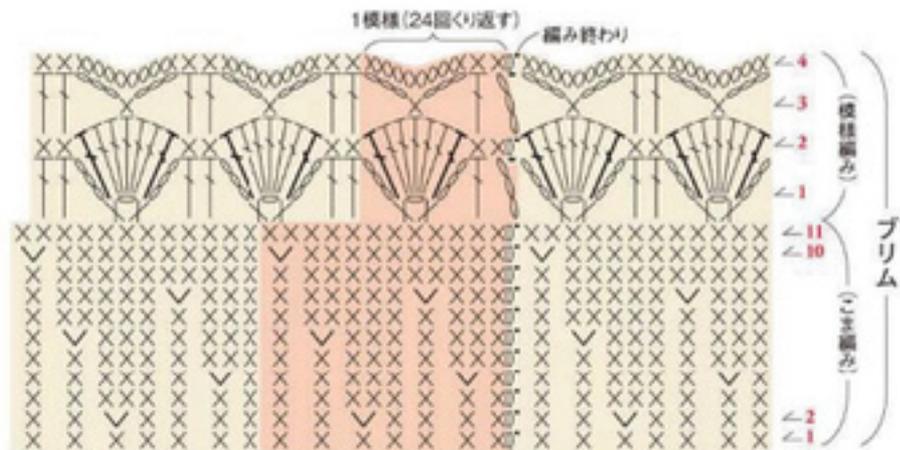
目数と増し方

	段	目数	増し方
ブリム	1~4	24模様・264目	
	11	168目	増減なし
	10	168目	14目増す
	9	154目	増減なし
	8	154目	14目増す
	7	140目	増減なし
	6	140目	14目増す
	5	126目	増減なし
	4	126目	14目増す
	3	112目	増減なし
サイド	2	112目	14目増す
	1	98目	増減なし
	1~4	14模様・98目	
	1~9	98目	増減なし
	15	96目	毎段7目増す
	14	91目	
	13	84目	増減なし
	12	84目	
	11	77目	
	10	70目	
トップ	9	63目	
	8	56目	
	7	49目	毎段7目増す
	6	42目	
	5	35目	
	4	26目	
	3	21目	
2	14目		
1	7目	編み入れる	



ブリムの模様編み





— 両わきの長編みは、こま編みに
編みつけ、中央5目の長編みは
くさり編みをくんで編む

∨ = ⊗ こま編み2目編み入れる

04 リーフ柄のバッグ PHOTO_P.7



【用意するもの】

糸…ハマナカエコアンダリヤ(40g玉巻)

ページュ(23)270g

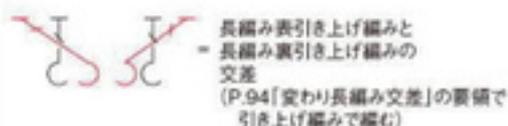
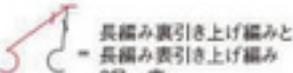
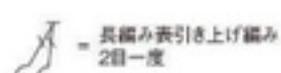
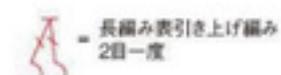
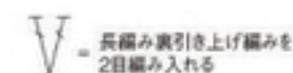
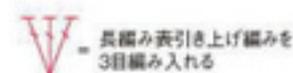
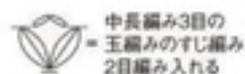
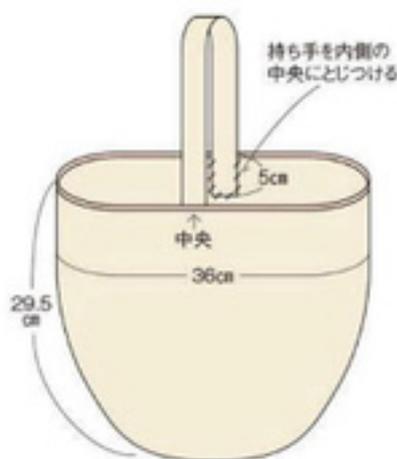
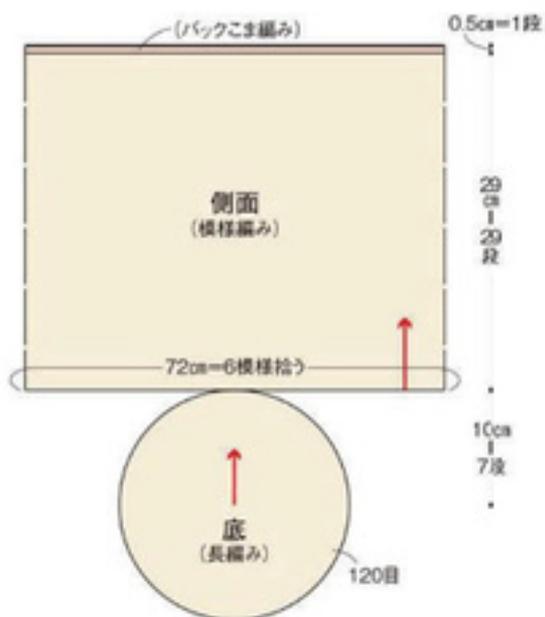
針…ハマナカアミアミ両かぎ針ラクラク6/0号

【ゲージ】模様編み 1模様=12cm 10段=10cm

【サイズ】幅36cm 深さ29.5cm

【編み方】糸は1本どりで編みます。

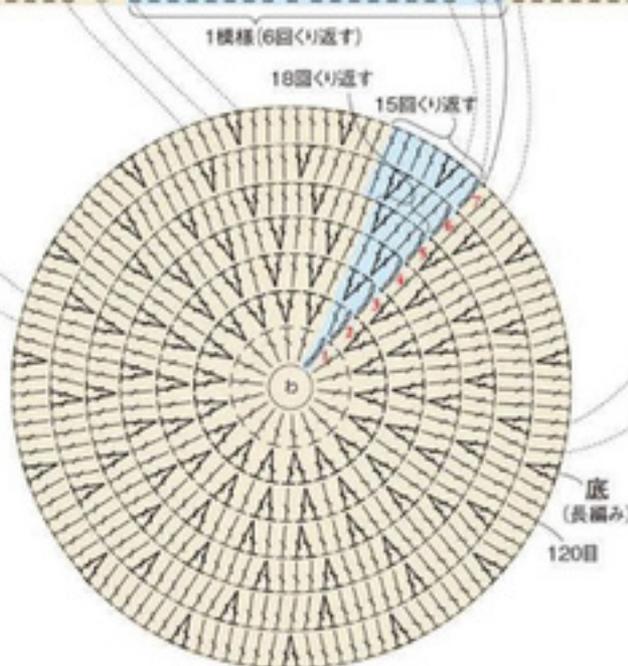
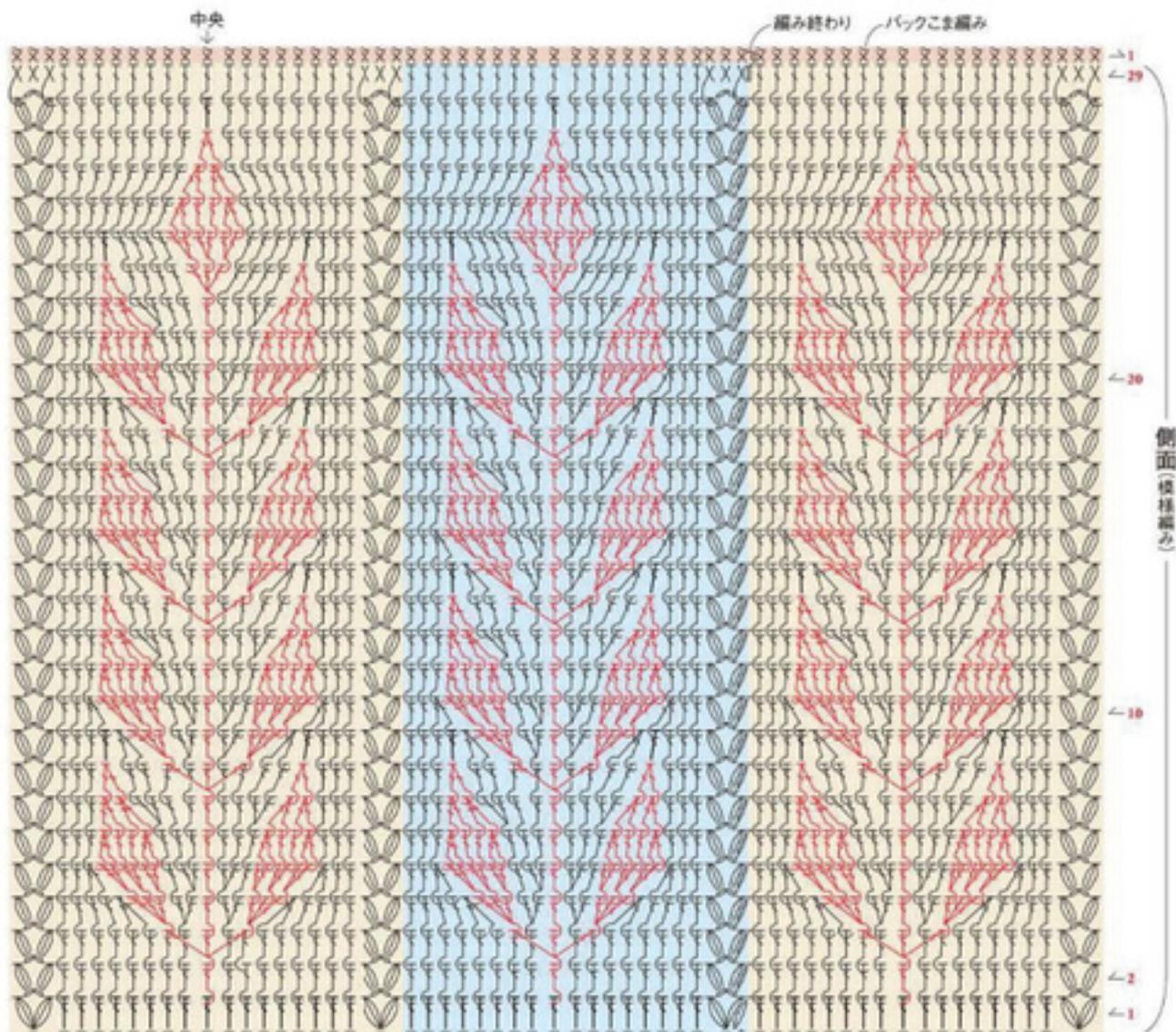
底は糸端を輪にし、長編みで図のように増しながら編みます。続けて側面は模様編みで29段編み、入れ口にバックこま編みを編みます。持ち手はくさり95目を作り目し、こま編みで増減なく編み、側面の内側にとじつけます。



✂=糸を切る

模様編み





底の目数と増し方

段	目数	増し方
7	120目	毎段15目増す
6	105目	
5	90目	毎段18目増す
4	72目	
3	54目	
2	36目	
1	18目編み入れる	

05 交差編みのショルダー PHOTO_P.8



[用意するもの]

糸…ハマナカエコアンダリヤ(40g玉巻)

A 黒(30) 220g オフホワイト(168) 30g

B カーキ(59) 210g

針…ハマナカアミアミ両がぎ針ラクラク6/0号

その他…ハマナカ マグネット付丸型ホック(14mm)

1組 A黒メタ(H206-043-2) B アン

ティーク(H206-043-3)

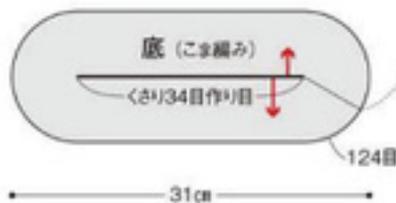
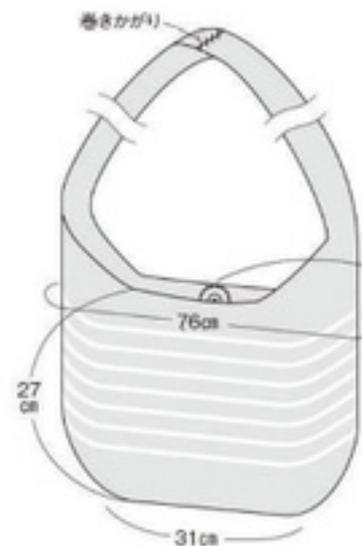
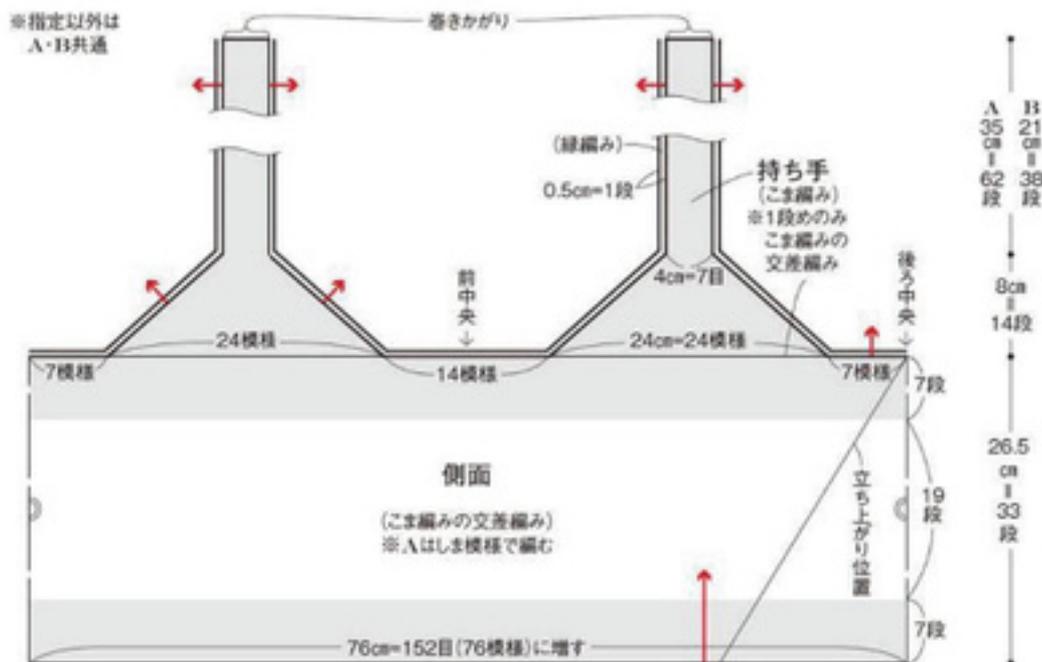
[ゲージ] こま編みの交差編み

10模様(20目) 12.5段 = 10cm角

[サイズ] 図参照

[編み方] 糸は1本どりで、Aは指定以外は黒で編みます。

底はくさり34目を作り目し、こま編みで図のように増しながら10段編みます。続けて側面をこま編みの交差編みで、Aはしま模様を入れて編みます。持ち手は指定の位置に糸をつけ、左右それぞれ図のように編みます。左右の編み終わりを突き合わせにし、巻きかがりではぎ合わせます。持ち手のはぎ目に糸をつけ、持ち手と入れ口に縁編みを1段編みます。土台を編み、マグネットホックをつけ、バッグの内側に縫いつけます。



土台にマグネットホックをつけ、バッグの内側に縫いつける

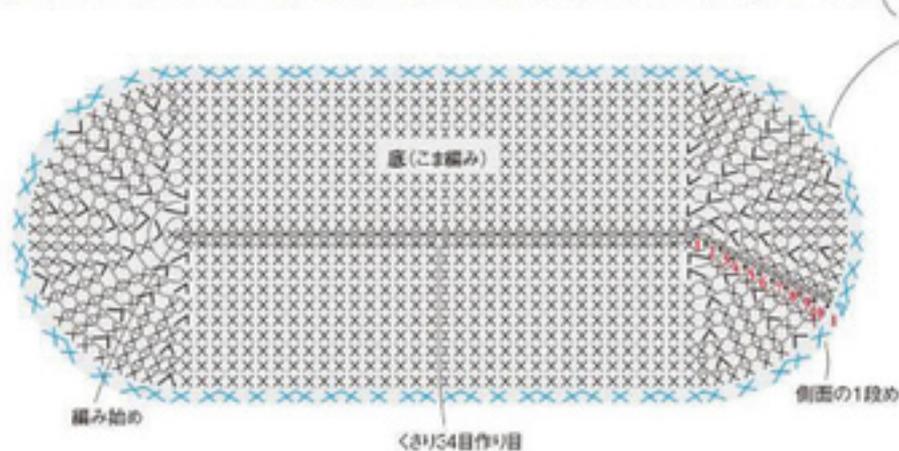
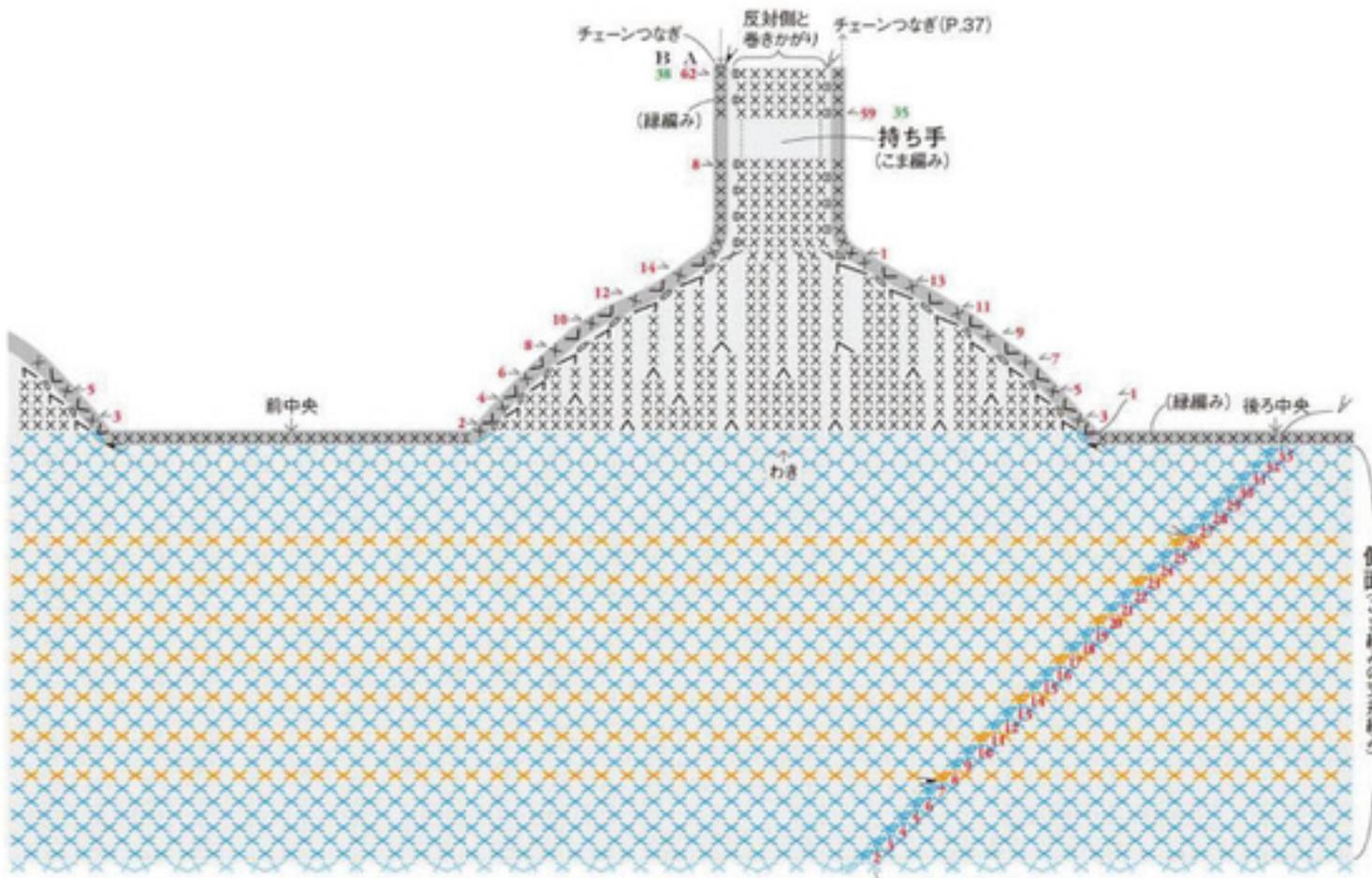
土台 2枚 (こま編み)



3cm=2段

マグネットホック





底の目数と増し方

段	目数	増し方
10	124目	毎段6目増す
9	118目	
8	112目	
7	106目	
6	100目	
5	94目	
4	88目	
3	82目	
2	76目	
1	くさりの両側から70目拾う	

Λの配色
 × 黒 × オフホワイト

∨ = ⊗ こま編み2目編み入れる
 ∧ = ⊗ こま編み2目一度
 ↙ 糸をつける
 ↘ 糸を切る

②①
 × = ⊗ こま編みの交差編み

× × × 前段の3目に2交差編む

②①
 ⊗ ①のこま編みを編み、①を編みくるむように
 ⊗ ②のこま編み2目一度を編む

P.48プロセス写真参照

05 交差編みのショルダー

こま編みの交差編みの編み方

※わかりやすいように、糸の色をかえて解説しています。



側面1段め。立ち上がりのくさりを編み、前段(底の10段め)のこま編み1目分をとばし、2目めに針を入れてこま編みを編む。



次に、1でとばした目に針を入れる。



1で編んだ目をくるむようにしてこま編みを編む。



編んだところ。「こま編みの交差編み」が1模様編めた。



次に隣の目に針を入れてこま編みを編む。



1と同じところに針を入れ、5の目をくるむようにしてこま編みを編む。



こま編み交差2模様編めた。同じ目に針を入れているので、1目増えたことになる(××)。



次の目は1目分とばしてこま編みを編む。次に、とばした1目にこま編みを編む。



編んだところ。増し目をしない場合(×)は、8の要領で編む。



図を見ながら、××の位置で増し目して1段編む。



1段めの最後は、1で編んだこま編みの頭に針を入れて引き抜く。



2段め。立ち上がりのくさりを編み、前段の1目めのこま編みの頭にこま編みを編む。



立ち上がりのくさりをまたぐようにして、前段の最後の目に針を入れ、こま編みを編む(××)。



編んだところ。次からは8の要領で編み進める。

06 リングモチーフのカンカン帽 PHOTO_P.10



【用意するもの】

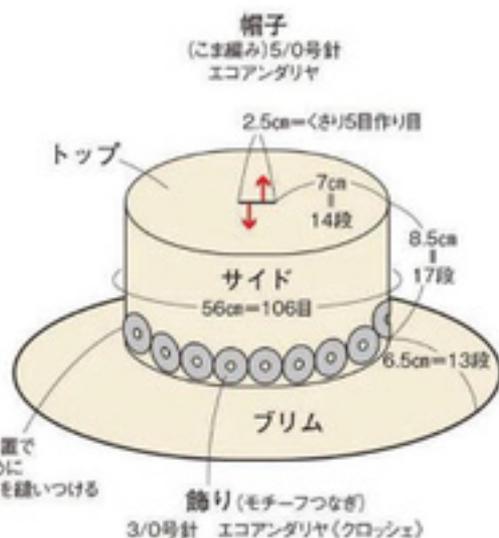
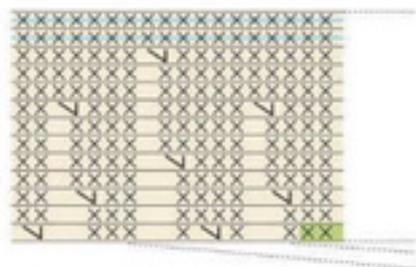
- 糸…ハマナカ エコアンダリヤ (40g玉巻) ベージュ (23) 110g
 ハマナカ エコアンダリヤ《クロッシェ》 (30g玉巻) 黒 (807) 10g
 針…ハマナカ アミアミ両かぎ針 ラクラク 5/0号、3/0号
 その他…ハマナカ テクノロート (H204-593) 230cm
 熱収縮チューブ (H204-605) 5cm
 ニットリング 12mm (H204-588-12) 17個

【ゲージ】こま編み 19目20段=10cm角

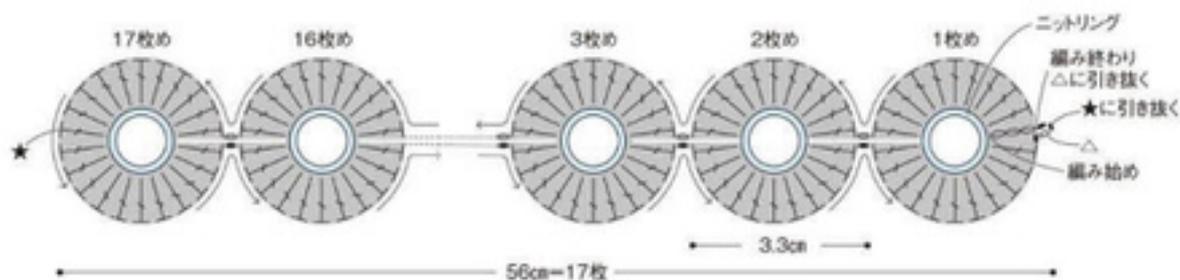
【サイズ】頭まわり56cm 深さ8.5cm

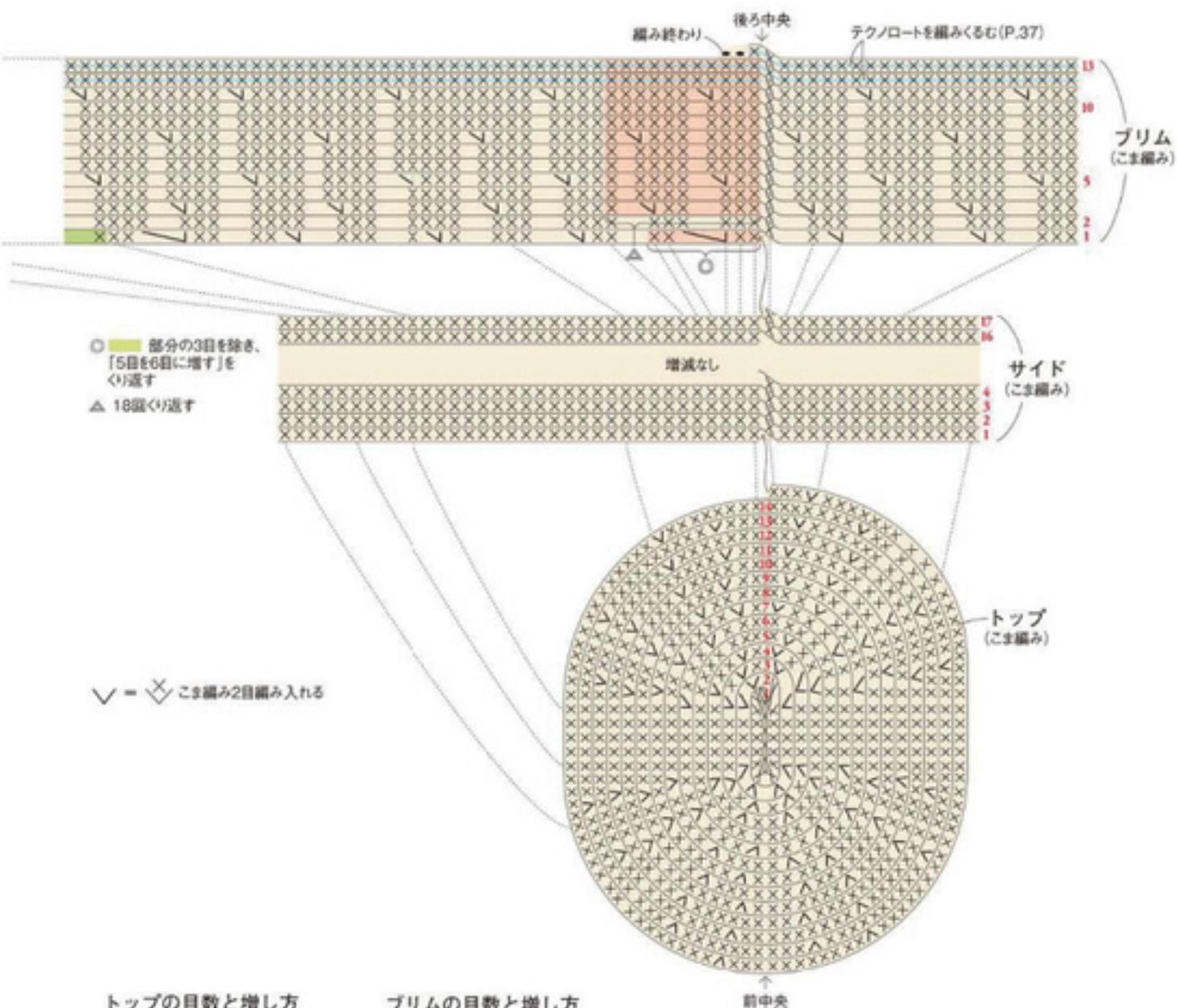
【編み方】糸は1本どりで、帽子はエコアンダリヤ、飾りはエコアンダリヤ《クロッシェ》で編みます。

トップはくさり5目を作り目し、作り目の両側からこま編みで14目拾います。2段めからは立ち上がりをつけずに、ぐるぐると図のように増しながら編みます(段のかわり目には印をつけておくとういでしょう)。続けてサイドは増減なく、ブリムは図のように増しながら編みます。飾りはニットリングに編みつけながらモチーフを半分ずつ続けて編み、17枚めと1枚めを輪につなぎます。サイドに飾りを前後2カ所縫いつけます。



飾り モチーフつなぎ 3/0号針 エコアンダリヤ《クロッシェ》





トップの目数と増し方

段	目数	増し方
14	106目	4目増す
13	102目	毎段8目増す
12	94目	
11	86目	
10	78目	
9	70目	
8	62目	
7	54目	
6	46目	増減なし
5	38目	毎段8目増す
4	30目	
3	22目	
2	14目	
1	作り目の両側から14目拾う	

ブリムの目数と増し方

段	目数	増し方
12-13	198目	増減なし
11	198目	18目増す
9-10	180目	増減なし
8	180目	18目増す
6-7	162目	増減なし
5	162目	18目増す
4	144目	増減なし
3	144目	18目増す
2	126目	増減なし
1	126目	20目増す

07 リボンのバッグ PHOTO_P.11



【用意するもの】

糸…ハマナカ エコアンダリヤ (40g玉巻) 黒 (30) 150g

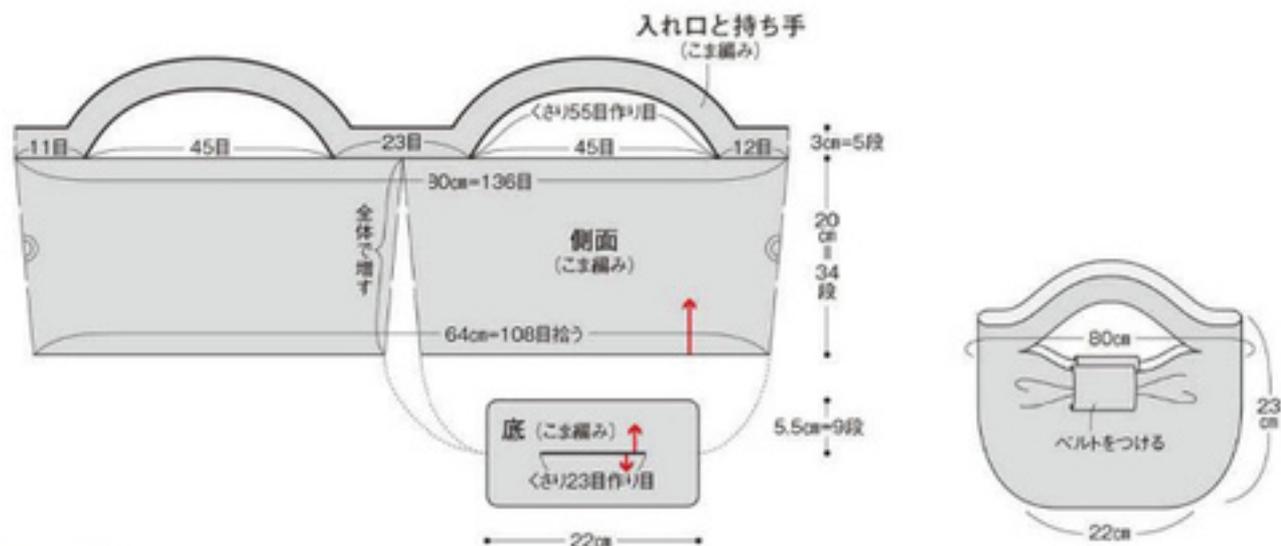
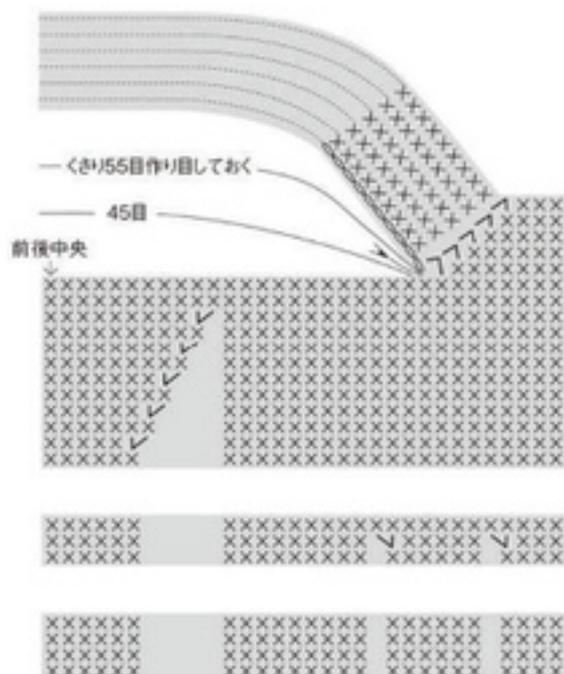
針…ハマナカ アミアミ両かぎ針 ラクラク S/O号

【ゲージ】こま編み 17目17段=10cm角

【サイズ】図参照

【編み方】糸は1本どりで編みます。

底はくさり23目を作り目し、こま編みで図のように増しながら、毎段編み方向をかえて編みます。続けて側面をこま編みで図のように増しながら底と同じ要領で編みます。指定の位置にくさり55目ずつを編みつけておき、入れ口と持ち手を編みます。ベルトはくさり20目を作り目し、こま編みで8段編みます。同様にもう1枚編みます。入れ口にタックをたたみ、ベルトを縫いつけてリボンを形作ります。

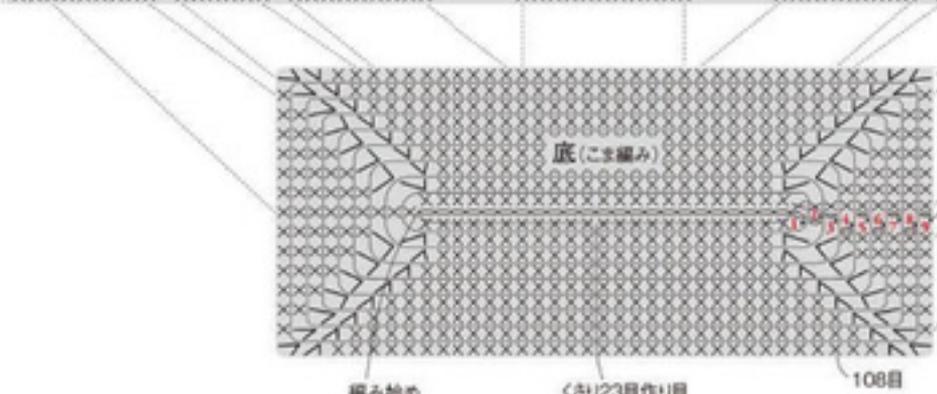
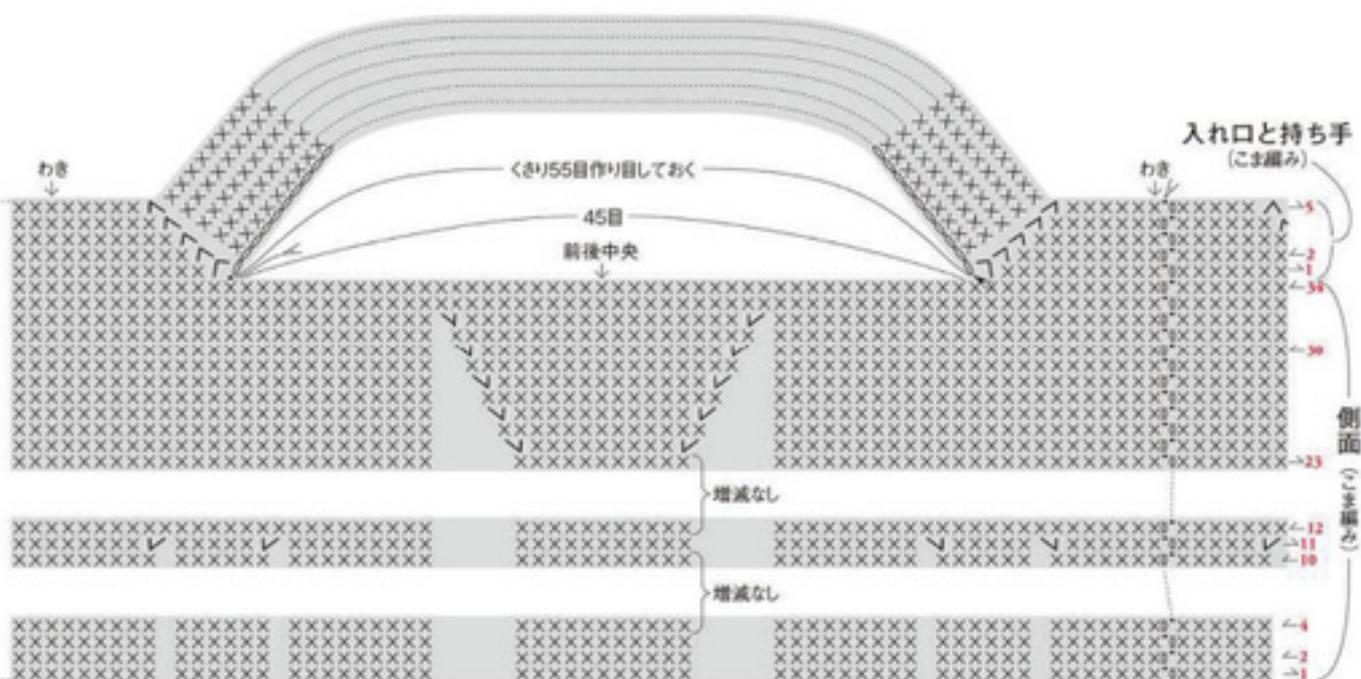


入れ口のリボン



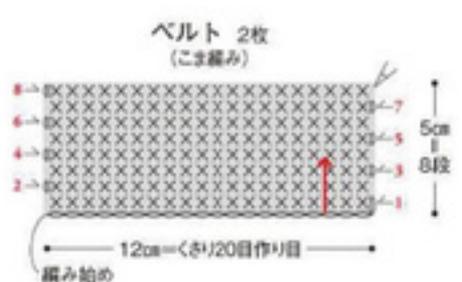
ベルトのつけ方





目数と増し方

段	目数	増し方
33-34	136目	増減なし
32	136目	4目増す
31	132目	増減なし
30	132目	4目増す
29	128目	増減なし
28	128目	4目増す
27	124目	増減なし
26	124目	4目増す
25	120目	増減なし
24	120目	4目増す
12~23	116目	増減なし
11	116目	8目増す
1~10	108目	増減なし
9	108目	毎段8目増す
8	100目	
7	92目	
6	84目	
5	76目	
4	68目	4目増す
3	60目	
2	52目	作り目の両側から48目拾う
1		



- ∨ = ⊗ こま編み2目編み入れる
- ∧ = ⊗ こま編み2目一度
- ↘ = 糸をつける
- ↙ = 糸を切る

08 サークルポシェット PHOTO_P.12



[用意するもの]

糸…ハマナカエコアンダリヤ(40g玉巻)

ネイビー(57)90g

針…ハマナカアミアミ両かぎ針ラクラク5/0号

その他…直径1cm、長さ3cmのウッドボタン1個

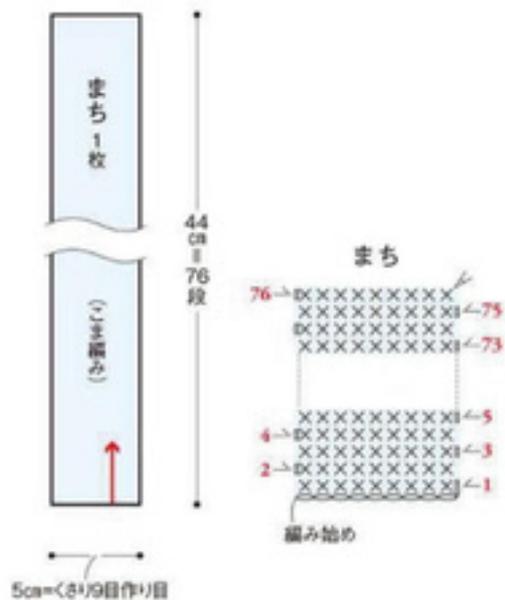
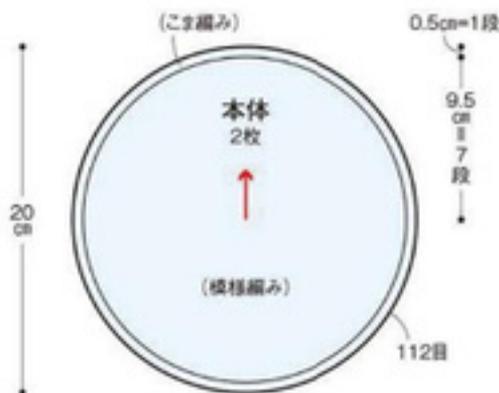
[ゲージ]模様編み 7段=9.5cm

こま編み 9目=5cm 17段=10cm

[サイズ]直径20cm、まち5cm

[編み方]糸は1本どりで編みます。

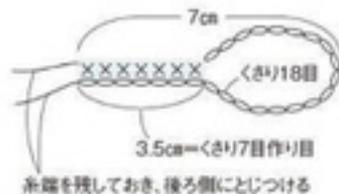
本体は糸端を輪にし、図のように増しながら模様編みで編みます。もう1枚同様に編みます。まちはくさり9目を作り目し、こま編みで増減なく76段編みます。本体とまちを外表に合わせ、引き抜き編みでとじ合わせますが、入れ口部分は本体のみに引き抜き編みを編みます。同様にもう1枚の本体もまちととじ合わせます。肩ひもは糸4本どり3組で三つ編みにします。ボタンかけループはくさり7目を作り目し、図のように編みます。肩ひもをまちに巻きかがりにつけ、糸端を裏側に引き出します。ボタンかけループは後ろ側にとじつけます。前側に共糸でボタンをつけます。



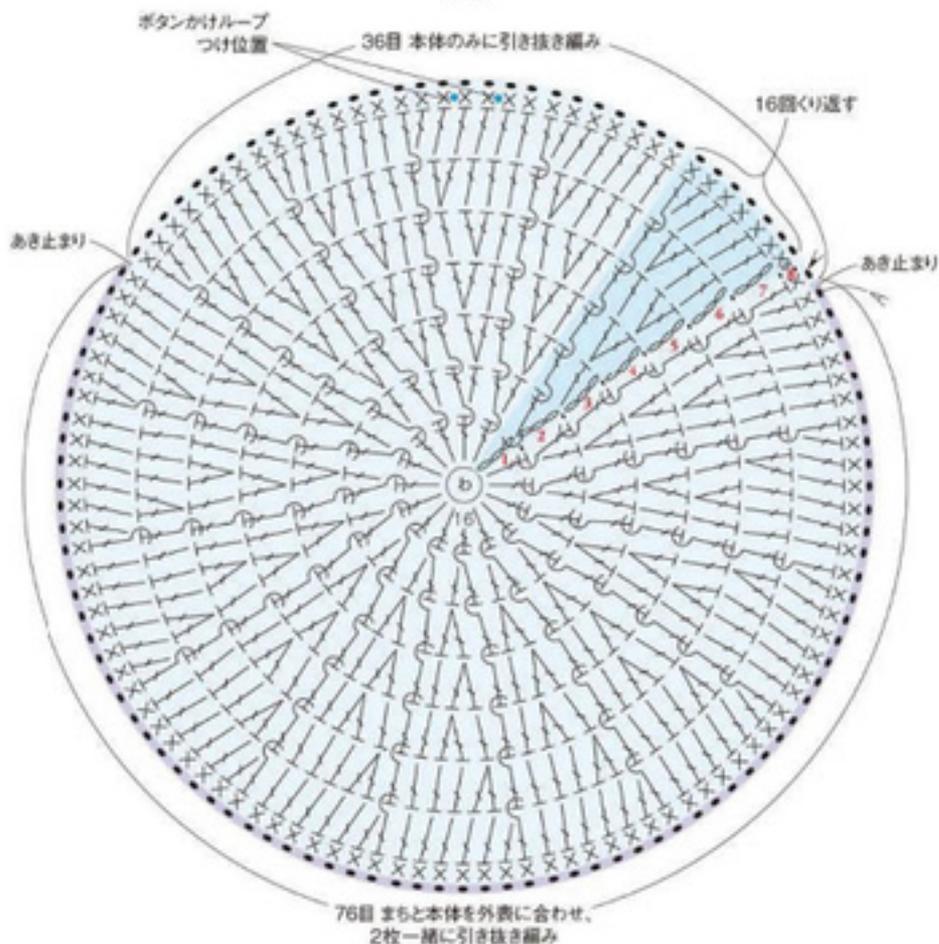
肩ひも 1本



ボタンかけループ

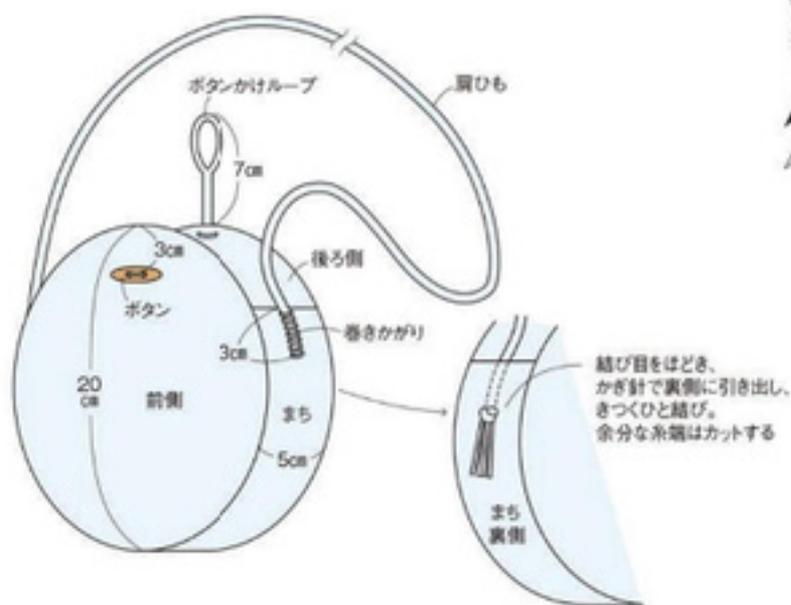


本体



本体の目数と増し方

段	目数	増し方
8	112目	増減なし
7	112目	毎段16目増す
6	96目	
5	80目	
4	64目	
3	48目	
2	32目	
1	16目	編み入れる



2段めと7段め。
 前段の長編み1目に
 長編みと長編み表引き上げ編みを
 編む

↙糸をつける

↘糸を切る

結び目をほどき、
 かぎ針で裏側に引き出し、
 きつくひと結び、
 余分な糸端はカットする

09 ウッドハンドルのバッグ PHOTO_P.13



【用意するもの】

糸…ハマナカエコアンダリヤ(40g玉巻)

ブラウン(159)160g

ハマナカフラックスLy(25g玉巻)

ページュ(802)110g

針…ハマナカアミアミ両がぎ針ラクラク7/0号

その他…スクエア型ウッドハンドル

(外径15cm×9cm)1組

ハマナカ マグネット付丸型ホック(14mm)

黒メタ(H206-043-2)2組

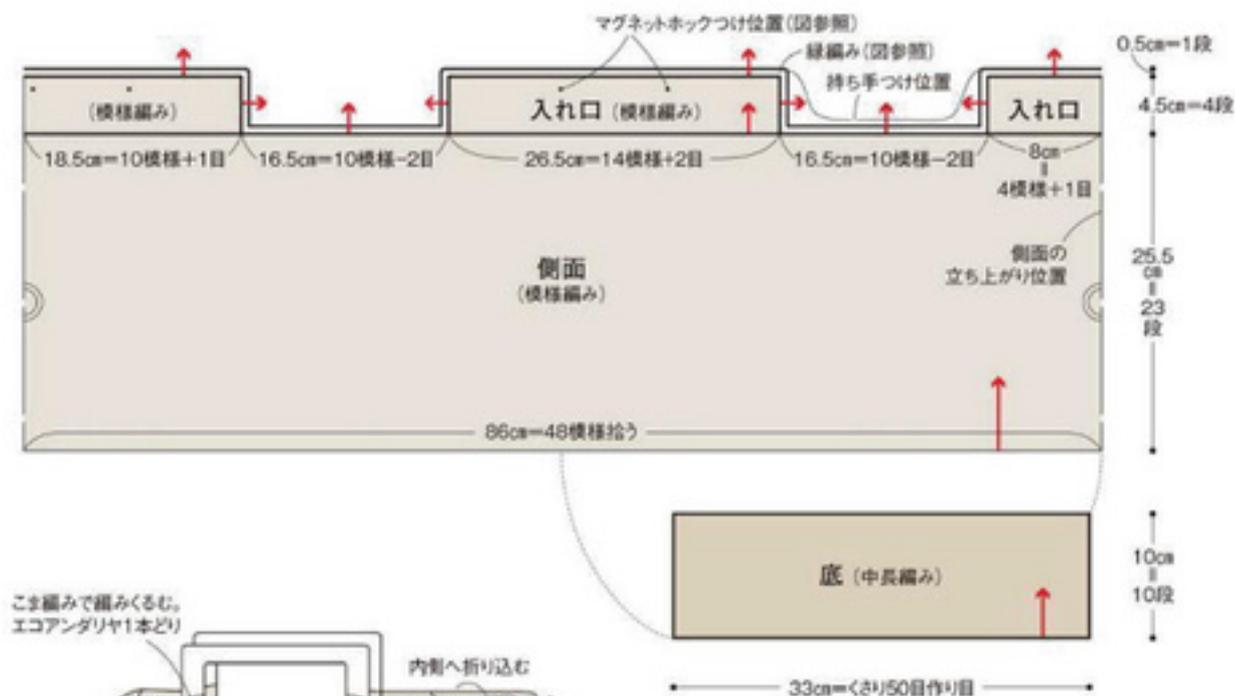
【ゲージ】中長編み 15目10段=10cm角

模様編み 5模様=9cm、9段=10cm

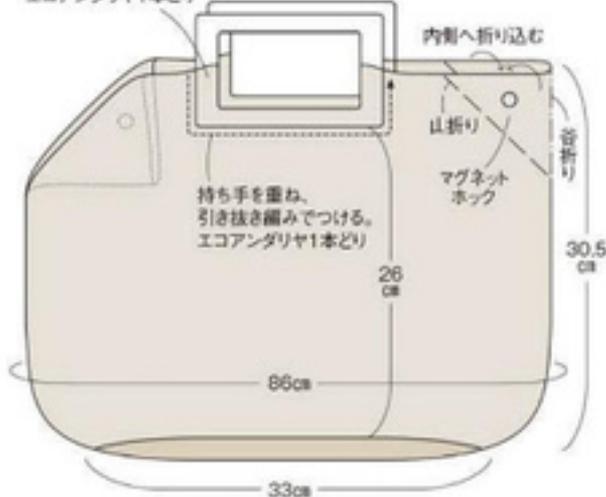
【サイズ】図参照

【編み方】糸は指定以外はエコアンダリヤとフラックスLy各1本の引きそろえて編みます。

底はくさり50目を作り目し、中長編みで増減なく10段編みます。続けて底のまわりから拾い目し、側面を模様編みで往復に輪に23段編み、糸を切ります。入入口を指定の位置に糸をつけ、模様編みの往復編みで4段編みます。続けて入入口と側面に縁編みを1段編みます。持ち手はエコアンダリヤ1本どりでウッドハンドルを編みくるみ、持ち手つけ位置に重ねて引き抜き編みでつけます。入入口の指定の位置にマグネットホックをつけます。



こま編みで編みくるむ。
エコアンダリヤ1本どり



持ち手の引き抜き編み



入入口のマグネットホック



10 ハーフムーンバッグ PHOTO_P.14



[用意するもの]

- 糸…ハマナカエコアンダリヤ(40g玉巻)
ベージュ(23)160g
- 針…ハマナカアミアミ両かぎ針ラクラク6/0号
- その他…ハマナカ竹型ハンドル 丸型(中)
(H210-623-1)1組

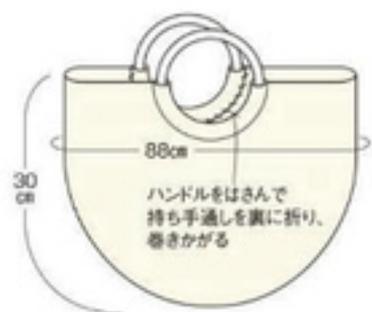
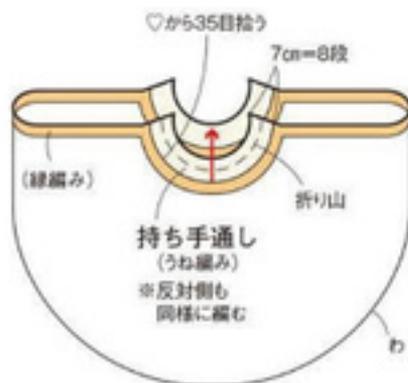
[ゲージ] 模様編み 17目 = 10cm

2段(長編み、中長編み) = 約2.5cm

[サイズ] 図参照

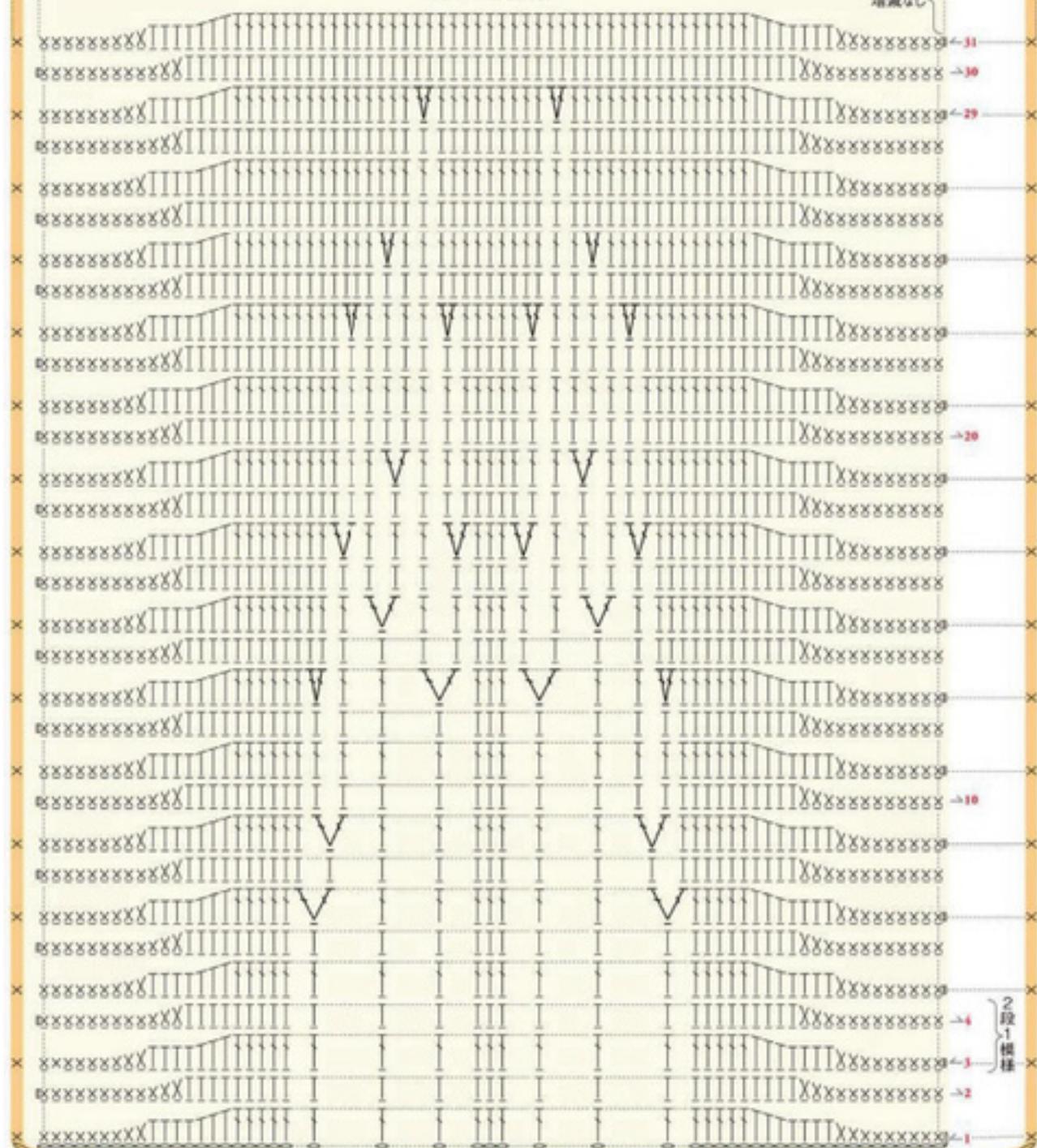
[編み方] 糸は1本どりで編みます。

本体はくさり51目を作り目し、模様編みで図のように増減しながら69段編みます。続けて、持ち手側を締めながら縁編みを1周編みます。さらに続けて持ち手通しをうね編みで8段編み、糸を切ります。反対側は指定の位置に糸をつけて同様に編みます。ハンドルを持ち手通しではさんで二つ折りにし、巻きかかります。本体の段のラインが、まっすぐになるようにスチームアイロンで整えます。



本体 (模様編み)

増減なし

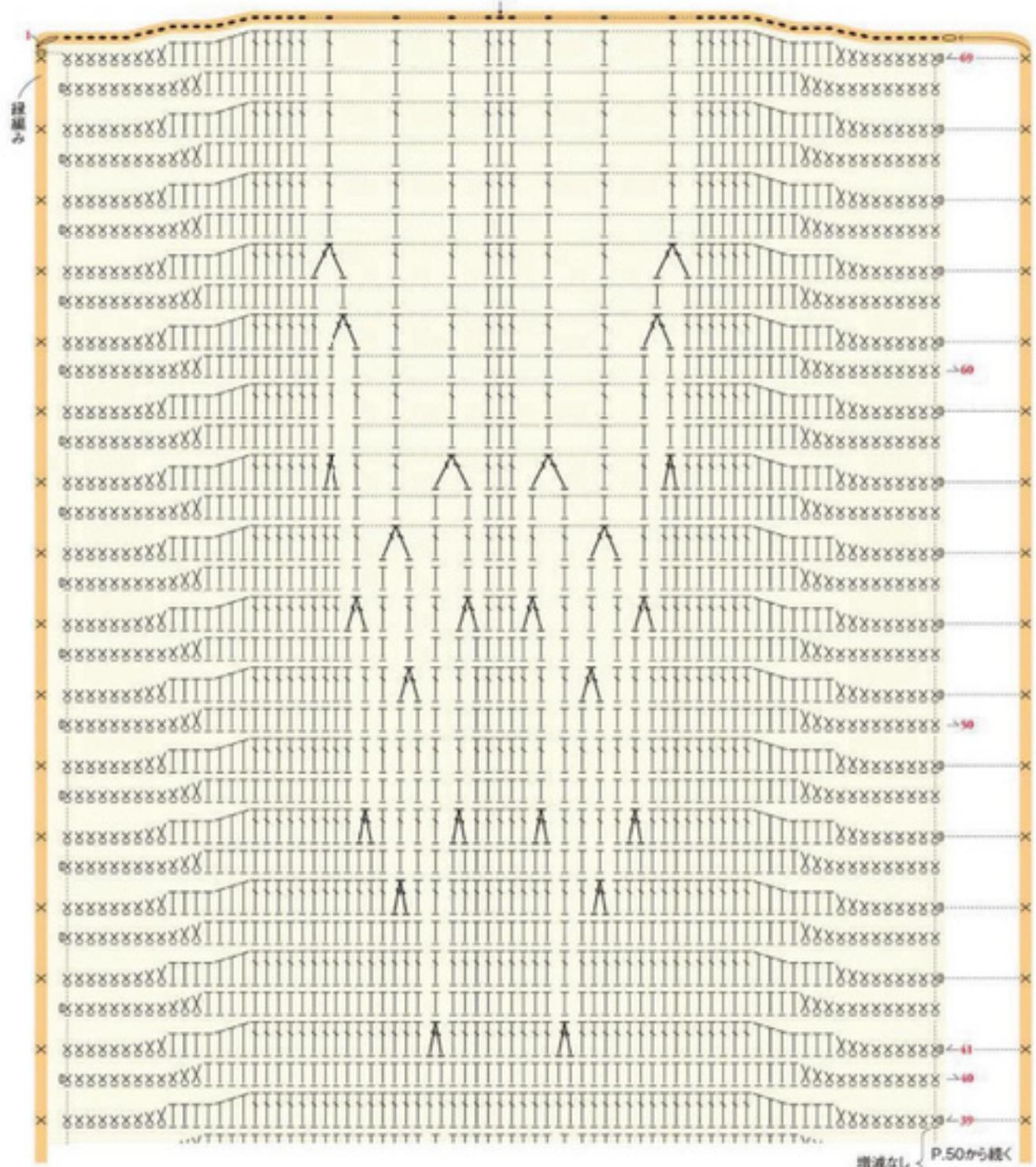
編み始め
(おひ51目作り目)中央
入口側

○ = うね編み
 | = 中長編みのうね編み
 | = 長編みのうね編み

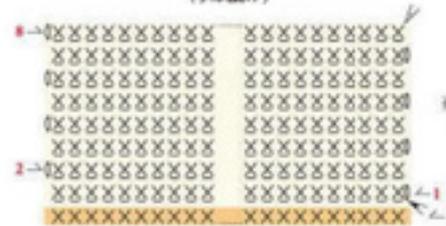
↘ = 糸をつける
 ↙ = 糸を切る

2
段
1
模様

入れ口側
中央



持ち手通し 2カ所
(うね編み)



※縁編みのこま編み1目から
1目ずつ拾って編む(35目)

←縁編み

11 バイナッブル柄のバッグ PHOTO_P.15



【用意するもの】

糸…ハマナカエコアンタリヤ(40g玉巻)

ベージュ(23)180g

針…ハマナカアミアミ両がぎ針ラクラクク

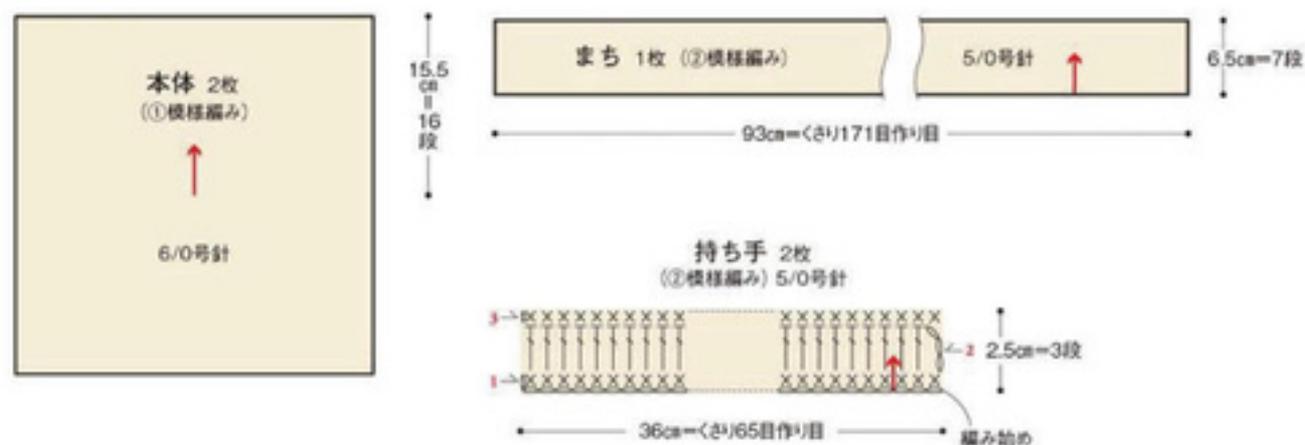
6/0号、5/0号

【ゲージ】長編み 1段=1.5cm

【サイズ】幅31cm 深さ31cm まち6.5cm

【編み方】糸は1本どりで、指定の針で編みます。

本体は糸端を輪にし、中央から図のように編みます。まち、持ち手はくさりで作り目し、図のように編みます。本体とまちを突き合わせにし、半目の巻きかがりではぎ合わせ、持ち手を指定の位置にまつりつけます。まちの入れ口側を折り込み、スチームアイロンで形を整えます。

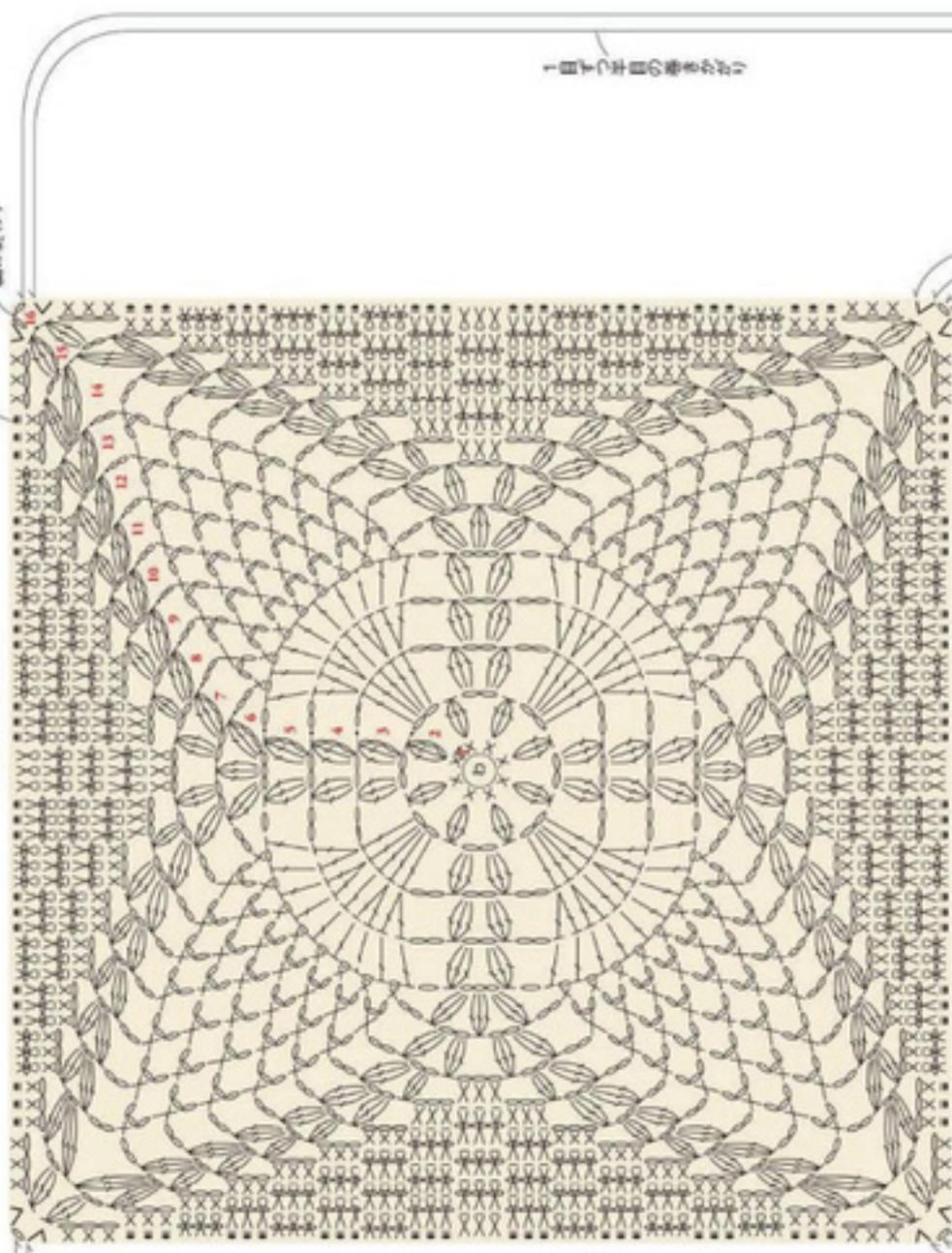


模様編み



引き抜き編みのすじ編み
(前段の部の向こう側1本をすくって編む)
編み終わ

本体 (①模様編み)



1目ずつ平目の巻きかぶり

- 
 前段のくさきを編みくくるみ
 ながら、前々段にこそ編みの
 すじ編みを編む
- 
 こま編み2目編み入れる

まち (②模様編み)



57目

57目

57目

まちの編み始め

12 バラのショルダー PHOTO_P.16



【用意するもの】

糸…ハマナカエコアンダリヤ(40g玉巻)

ベージュ(23)140g

針…ハマナカアミアミ両かぎ針ラクラク5/0号

その他…20cmのファスナー1本

外径21cmのDカン2個

幅1cm長さ110cmのナスカンつき肩ひも

(INAZUMA YAS-1011/ベージュ)1本

【ゲージ】長編み 1段=約1.5cm

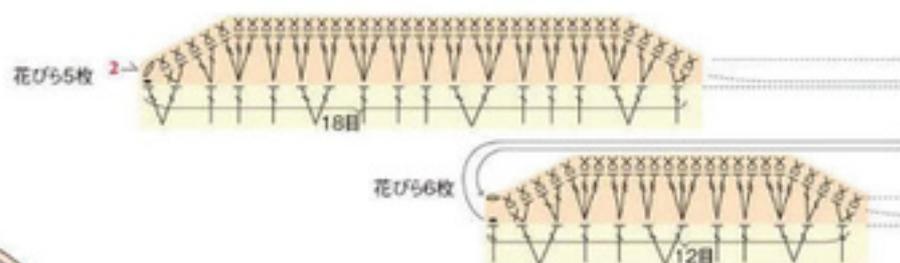
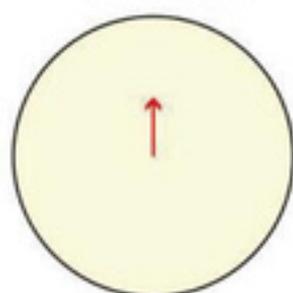
こま編み 18目=10cm 14段=7.5cm

【サイズ】直径19cm まち7.5cm

【編み方】糸は1本どりで編みます。

本体は糸端を輪にし、こま編み、中長編み、長編みを図のように編み入れますが、最初のこま編みは目数に数えず、この目に編み入れた中長編み2目までを1段めとします。2段めからは立ち上がりをつけずに長編みのすじ編みで図のように増しながらぐるぐると6段編みますが、6段めの編み終わりは中長編みとこま編みで段差をなくし、1目めに引き抜いて糸を切ります(2~6段めは編み始めの目に印をつけておくとよいでしょう)。同様にもう1枚編みます。まちはくさり108目を作り目して輪にし、こま編みで編みますが、7段めは途中で糸を切り、ファスナーつけ位置をあけて糸をつけ直し、8段めのファスナーつけ位置はくさり35目を作り目します。本体の1枚に花びらを編みつけ、まちにファスナーとDカンをつけます。本体とまちを外表に合わせ、まち側から2枚一緒にこま編みではぎ合わせます。Dカンに肩ひもをつけます。

本体 2枚
(長編みのすじ編み)

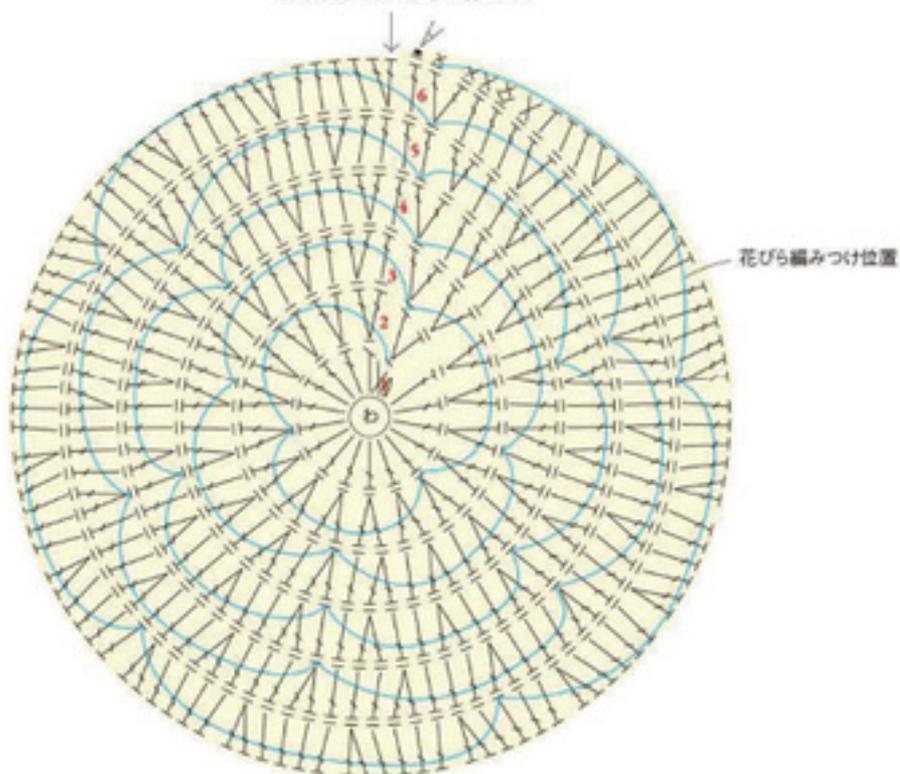


本体前側の花びら



本体の編み方

まちの立ち上がり位置と合わせる



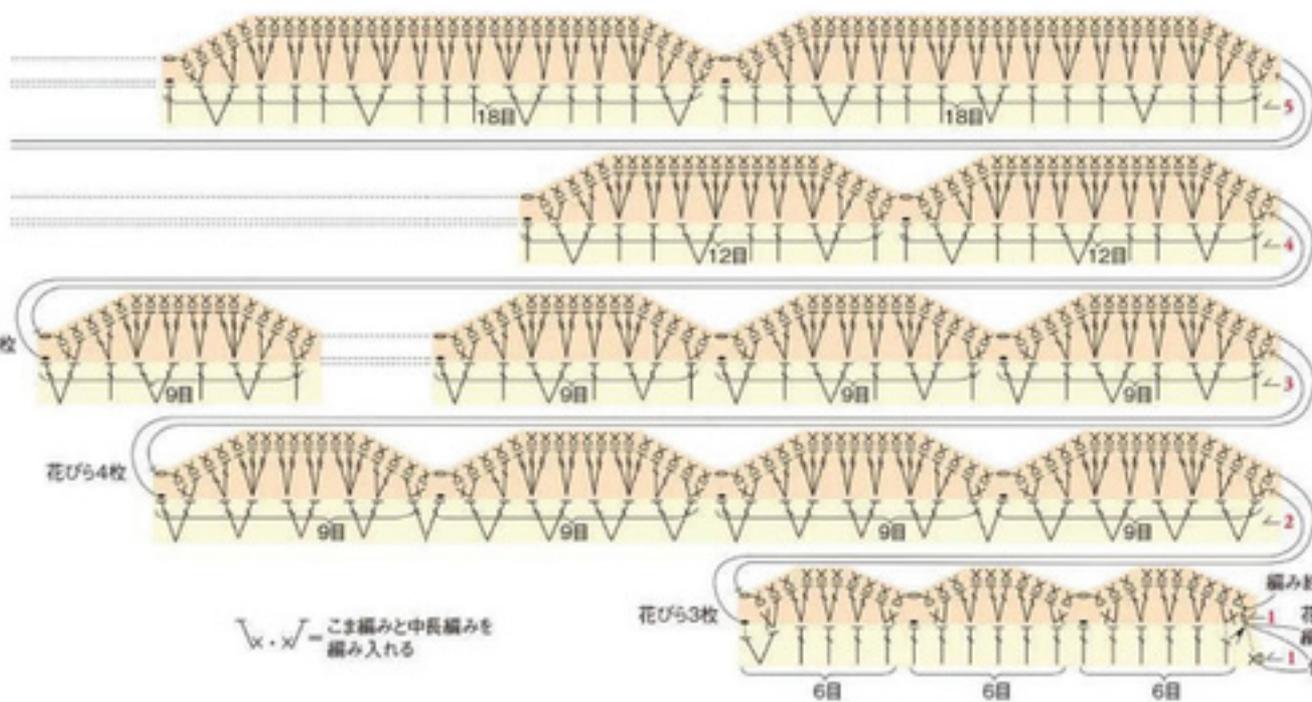
本体の目数と増し方

段	目数	増し方
6	108目	毎段18目増す
5	90目	
4	72目	
3	54目	
2	36目	編み入れる
1	18目	

↘=糸をつける

↙=糸を切る

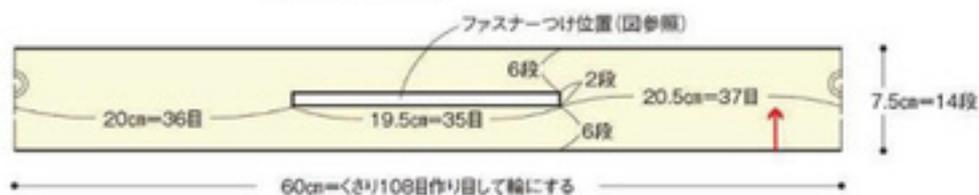
花びら 本体前側に編みつける



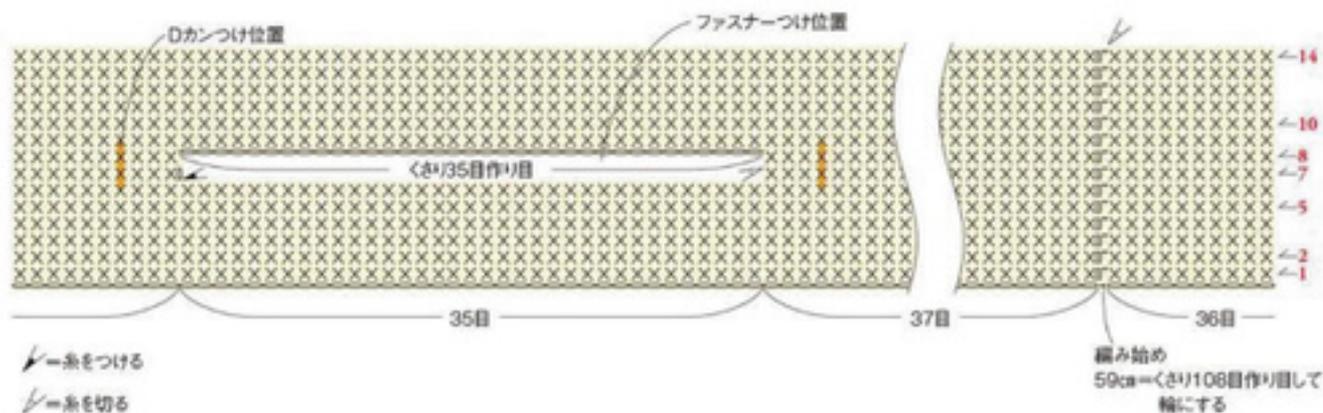
↘, ↙ = こま編みと中長編みを編み入れる

※花びらの1段めは本体各段の目の残っている1本をすくって編む。
2段めは前段の目の向こう側の1本をすくって編む

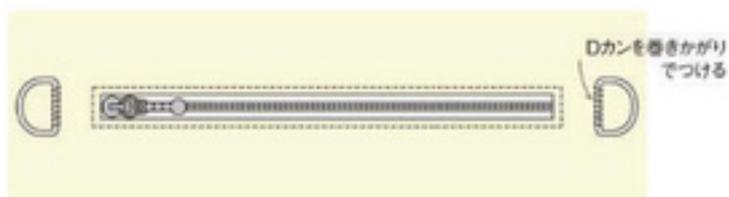
まち 1枚 (こま編み)



ま치의編み方



ファスナーのつけ方



ファスナーつけ位置に裏からファスナーを重ね、
手縫い糸を使って返し縫いでつける

ま치의ファスナー



13 連続模様のバッグ PHOTO_P.17



【用意するもの】

糸…ハマナカエコアンダリヤ(40g玉巻)グリーン(17) 170g

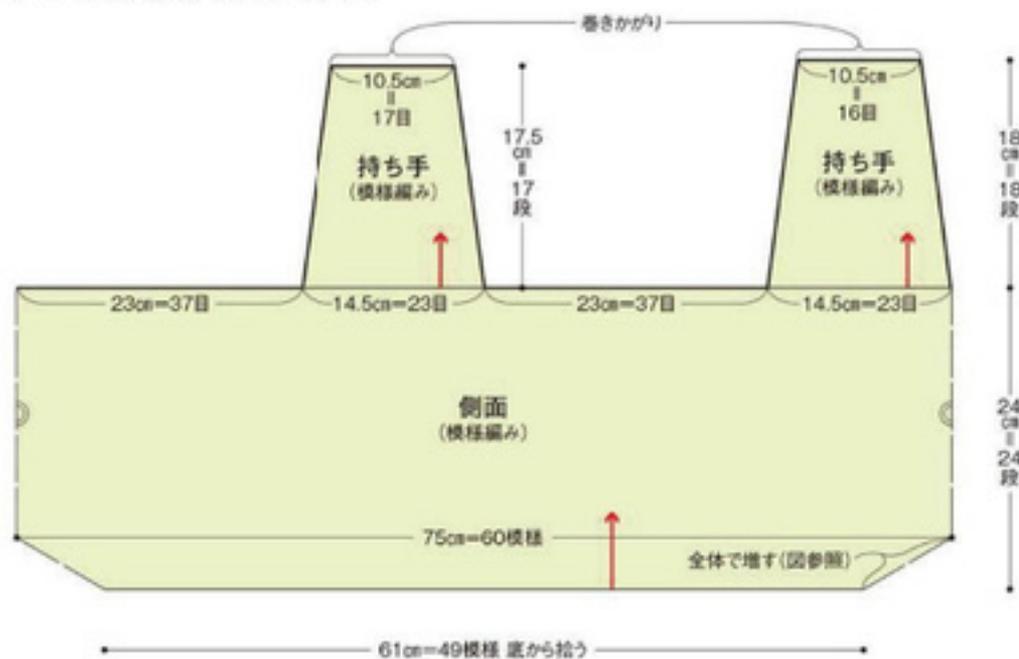
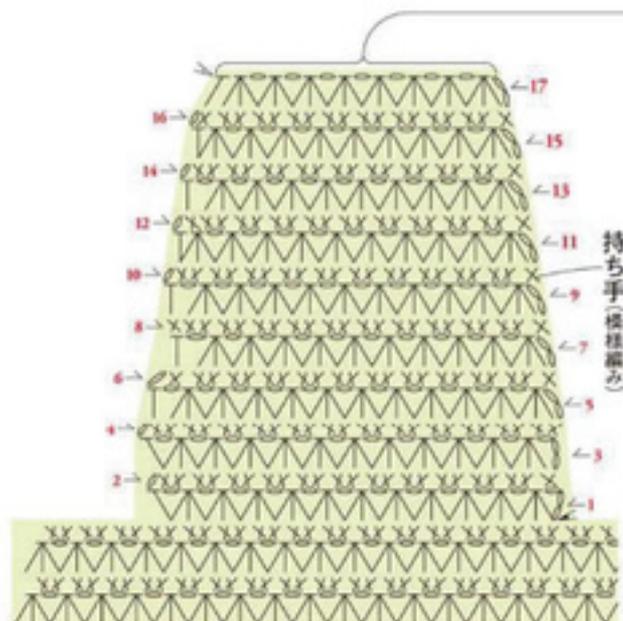
針…ハマナカアミアミ両かぎ針ラクラク6/0号

【ゲージ】模様編み 8模様(16目)=10cm 1模様(2段)=2cm

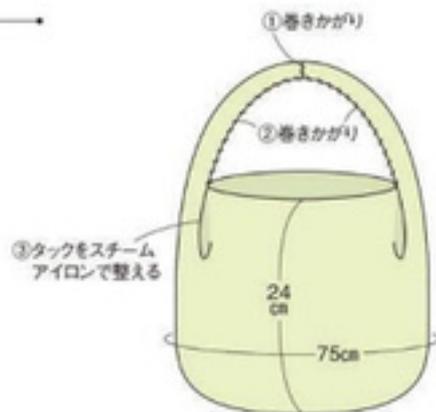
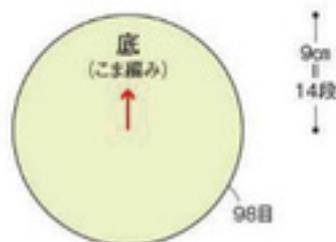
【サイズ】図参照

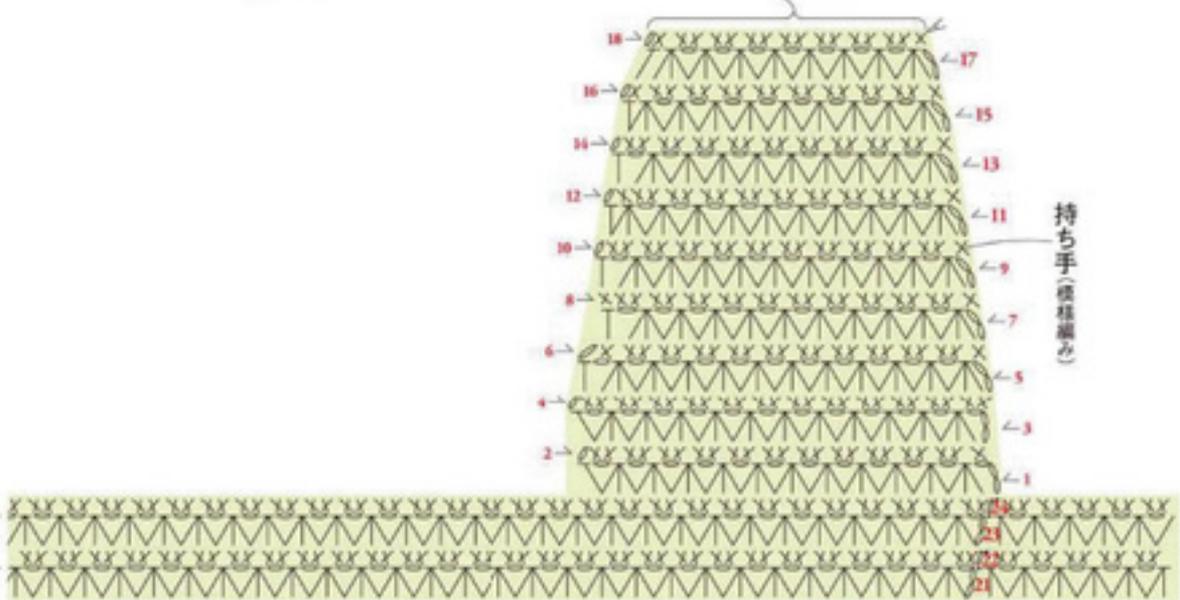
【編み方】糸は1本どりで編みます。

底は糸端を輪にし、こま編みを7目編み入れます。2段めからは図のように増しながら14段まで編みます。続けて側面を2段めと4段めで増しながら模様編みで編みます。持ち手は側面から続けて模様編みで編み、もう一方は指定の位置に糸をつけて編みます。持ち手を突き合わせにして巻きかがりでにぎ合わせ、さらに持ち手を筒状に合わせて巻きかがります。このときにできたタックをスチームアイロンで整、持ち手を平らにします。

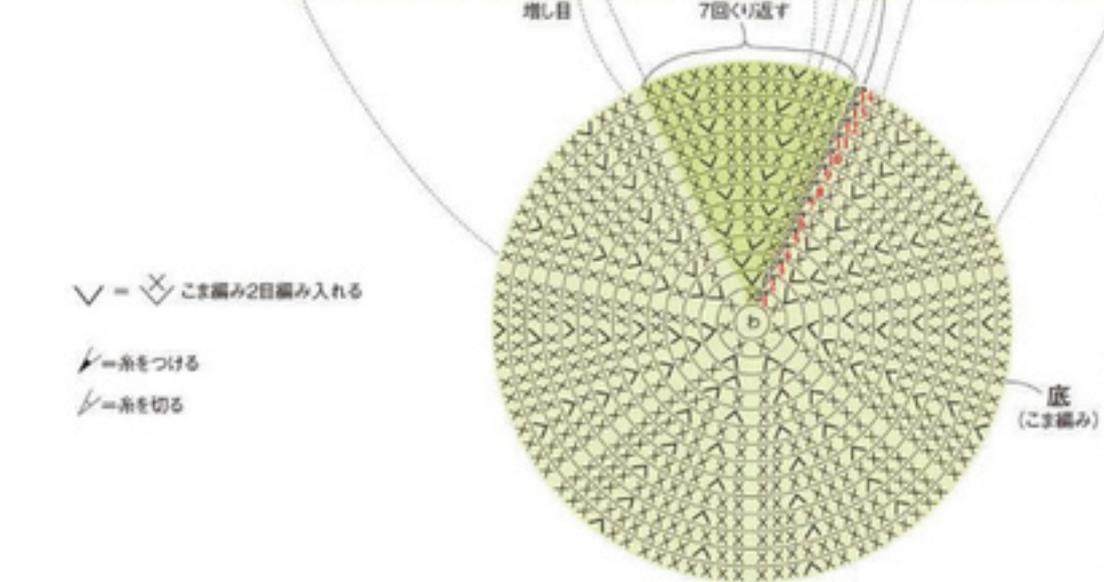
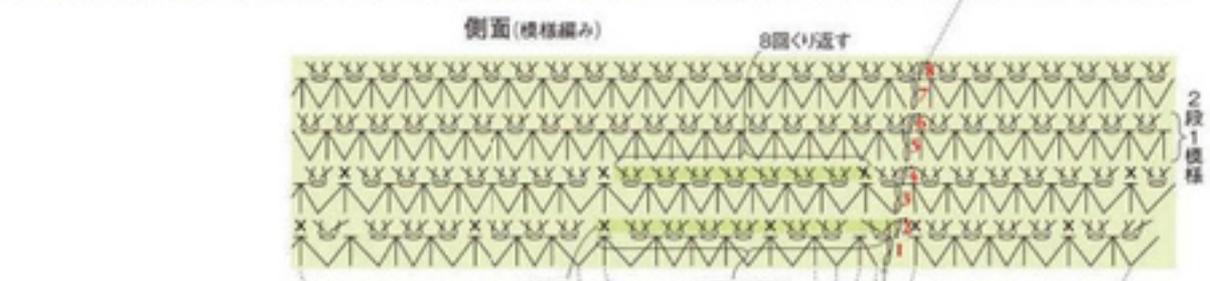


入れ口と持ち手(内側)





持ち手(模様編み)



- ∨ = ⊗ こま編み2目編み入れる
- ↘ = 糸をつける
- ↙ = 糸を切る

底と側面の目数と増し方

段	目数	増し方
5~24	120目(60模様)	増減なし
4	120目	8目増す
3	112目(56模様)	増減なし
2	112目	14目増す
1	98目(49模様)	増減なし
14	98目	毎段7目増す
13	91目	
12	84目	
11	77目	
10	70目	
9	63目	
8	56目	
7	49目	
6	42目	
5	35目	
4	28目	
3	21目	
2	14目	
1	7目 編み入れる	

14 フリルのバッグ PHOTO_P.18



【用意するもの】

糸…ハマナカエコアンダリヤ(40g玉巻)240g

A ライトブラウン(15) B ベージュ(23)

針…ハマナカアミアミ両かぎ針ラクラク6/0号、5/0号

その他…ハマナカテクノロート(H204-593)470cm

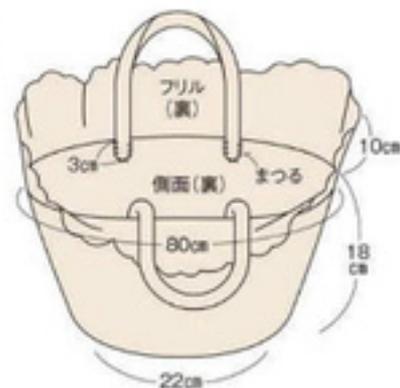
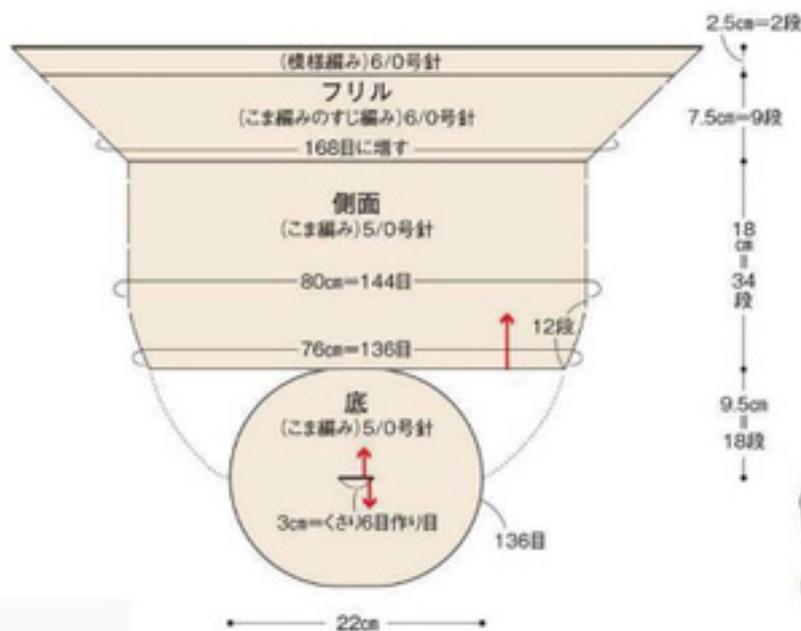
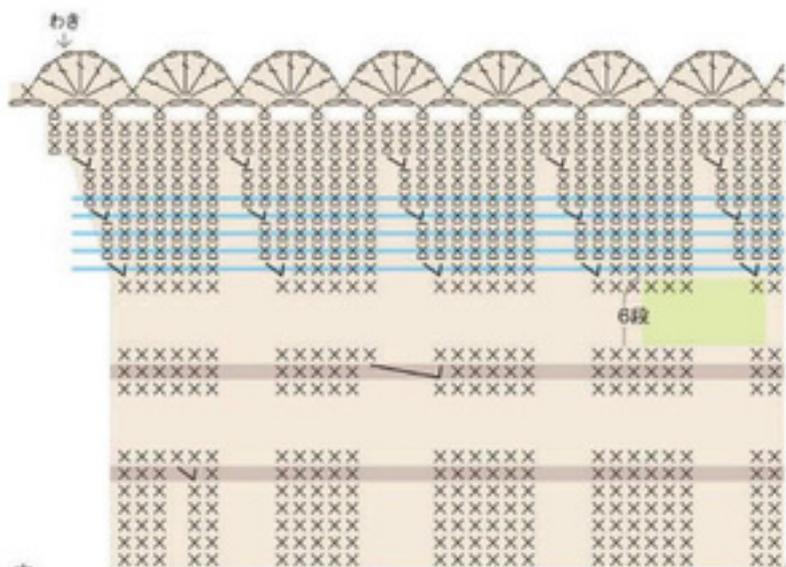
熱収縮チューブ(H204 605)5cm

【ゲージ】こま編み 18目19段=10cm角

【サイズ】図参照

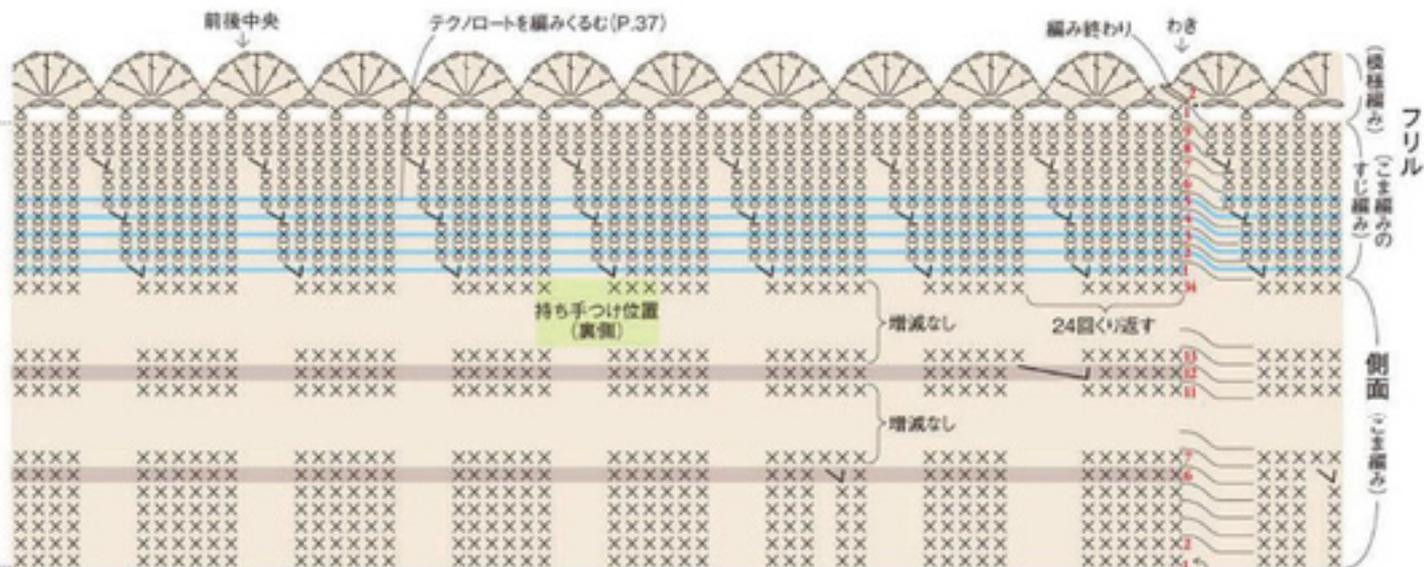
【編み方】糸は1本どりで、指定の針で編みます。

底はくさり6目を作り目し、こま編みで図のように増しながら、立ち上がりをつけずにぐるぐると編みます。続けて側面をこま編みで編みますが、6段めと12段めで増し目をします。針をかえ、フリルを図のように増しながらこま編みのすじ編みと模様編みで編みますが1~5段めにはテクノロートを編みくります。持ち手は5/0号針でくさり80目を作り目し、こま編みで編み、最終段を引き抜き編みではぎ合わせます。同様にもう1本編み、側面の内側に縫いつけます。

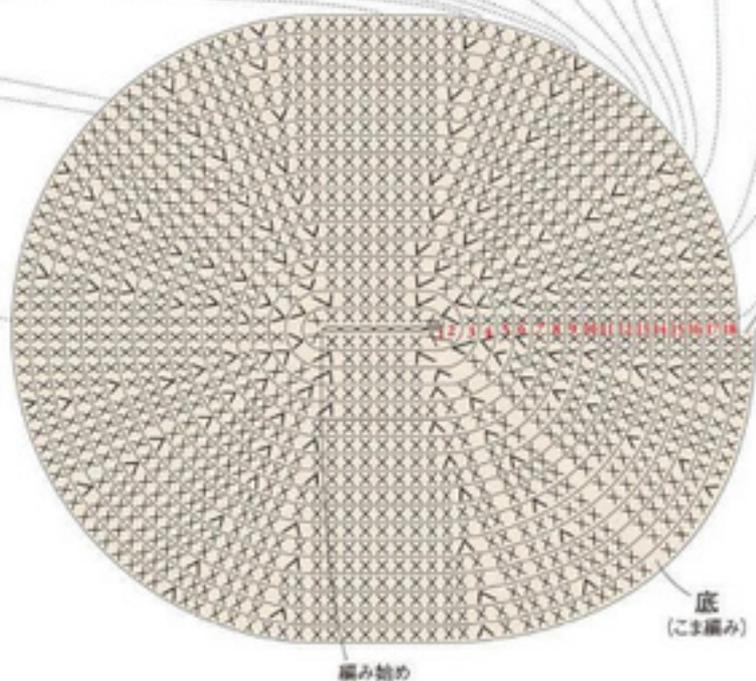


フリル





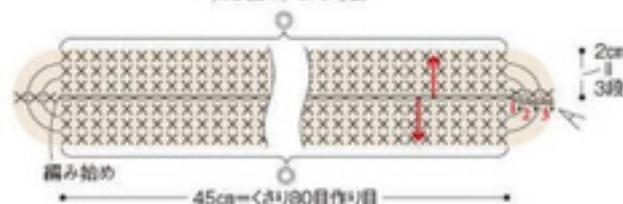
6段め、12段めの増し目は
を2回くり返す



目数と増し方

段	目数	増し方
1-2	36模様	
8-9	216目	増減なし
7	216目	24目増す
5-6	192目	増減なし
4	192目	24目増す
2-3	168目	増減なし
1	168目	24目増す
13-34	144目	増減なし
12	144目	4目増す
7-11	140目	増減なし
6	140目	4目増す
1-5	136目	増減なし
18	136目	毎段8目増す
17	128目	
16	120目	増減なし
15	112目	
14	112目	毎段8目増す
13	104目	
12	96目	増減なし
11	88目	
10	88目	毎段8目増す
9	80目	
8	72目	増減なし
7	64目	
6	56目	毎段8目増す
5	48目	
4	40目	増減なし
3	32目	
2	24目	毎段8目増す
1	16目	

持ち手 2本
(こま編み) 5/0号針



合印(○)を引き抜き編みではご合わせる

∨ = ◊ こま編み2目編み入れる

∨ = ◊ こま編みのすじ編み
2目編み入れる

↘ = 糸を切る

15 透かし柄のビッグトート PHOTO_P.20



【用意するもの】

糸…ハマナカエコアンダリヤ(40g玉巻)ライムイエロー(19) 190g

針…ハマナカアミアミ両がぎ針ラクラク6/0号

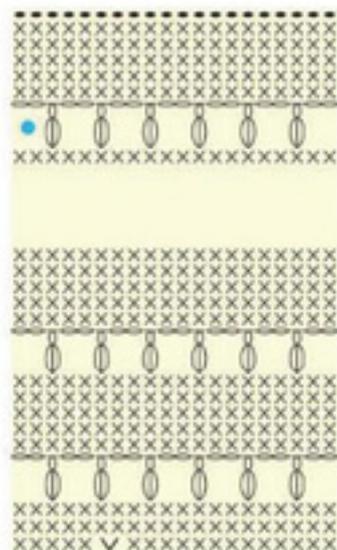
その他…ハマナカレザー角底 15cm×30cm ベージュ (H204-617-1) 1枚

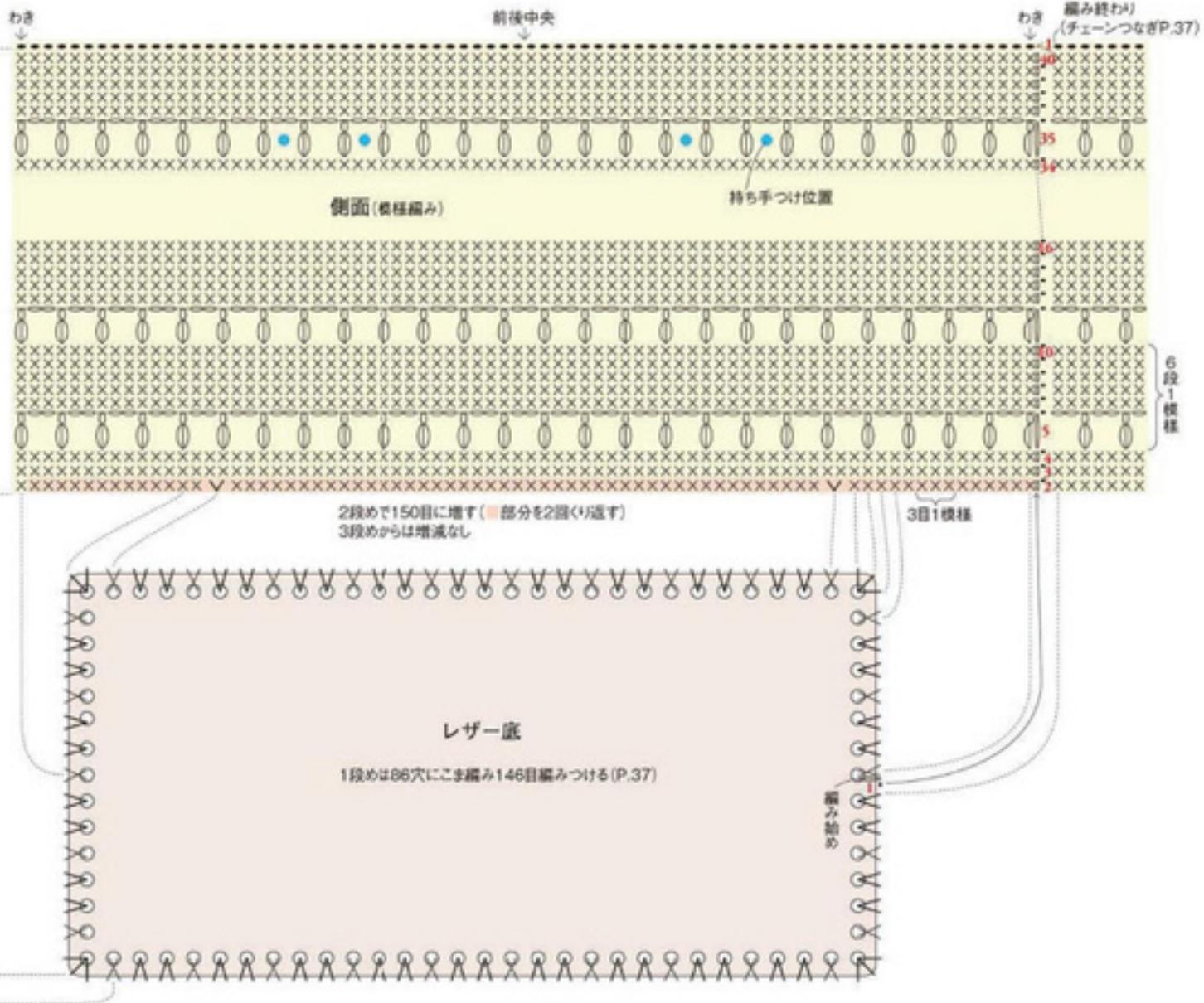
【ゲージ】模様編み 3模様(9目)=5.5cm 2模様(12段)=9.5cm

【サイズ】図参照

【編み方】糸は1本どりで編みます。

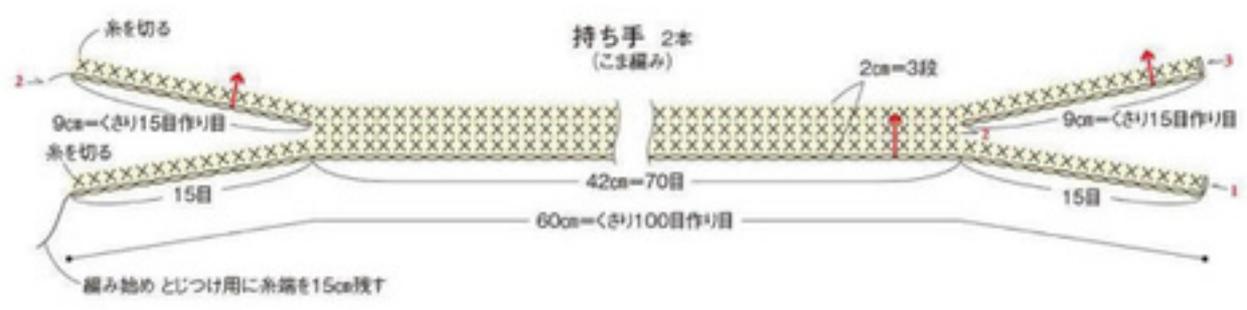
レザー底の86穴にこま編みを146目編みつけます。2段めは4目増し、3段めからは増減なく模様編みで40段めまで編み、引き抜き編みで1段編みます。持ち手はくさり100目を作り目し、図のようにこま編みで編みます。同様にもう1本編み、持ち手つけ位置に通してまつります。





- こま編み3目編み入れる
- こま編み2目編み入れる

中長編み3目の変形玉編み (P.93)



16 リボンつきクローシュ PHOTO_P.22



[用意するもの]

糸…ハマナカエコアンダリヤ(40g玉巻)

グレー(148)85g

針…ハマナカアミアミ両かぎ針ラクラク5/0号

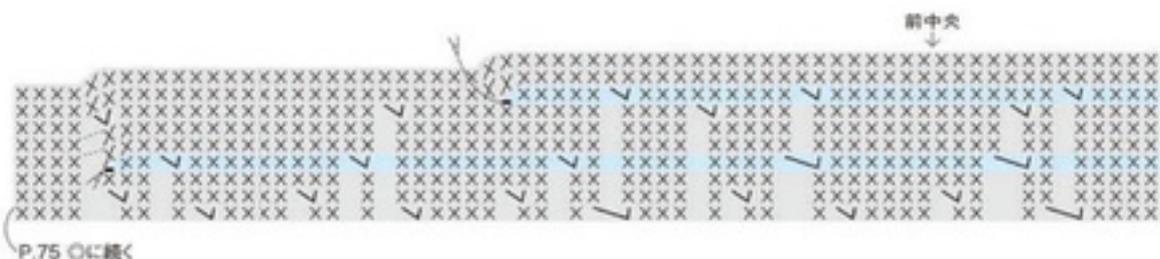
その他…幅1.4cmの紺のグログランリボン130cm

[ゲージ]こま編み 17目18段=10cm角

[サイズ]頭まわり56cm

[編み方]糸は1本どりで編みます。

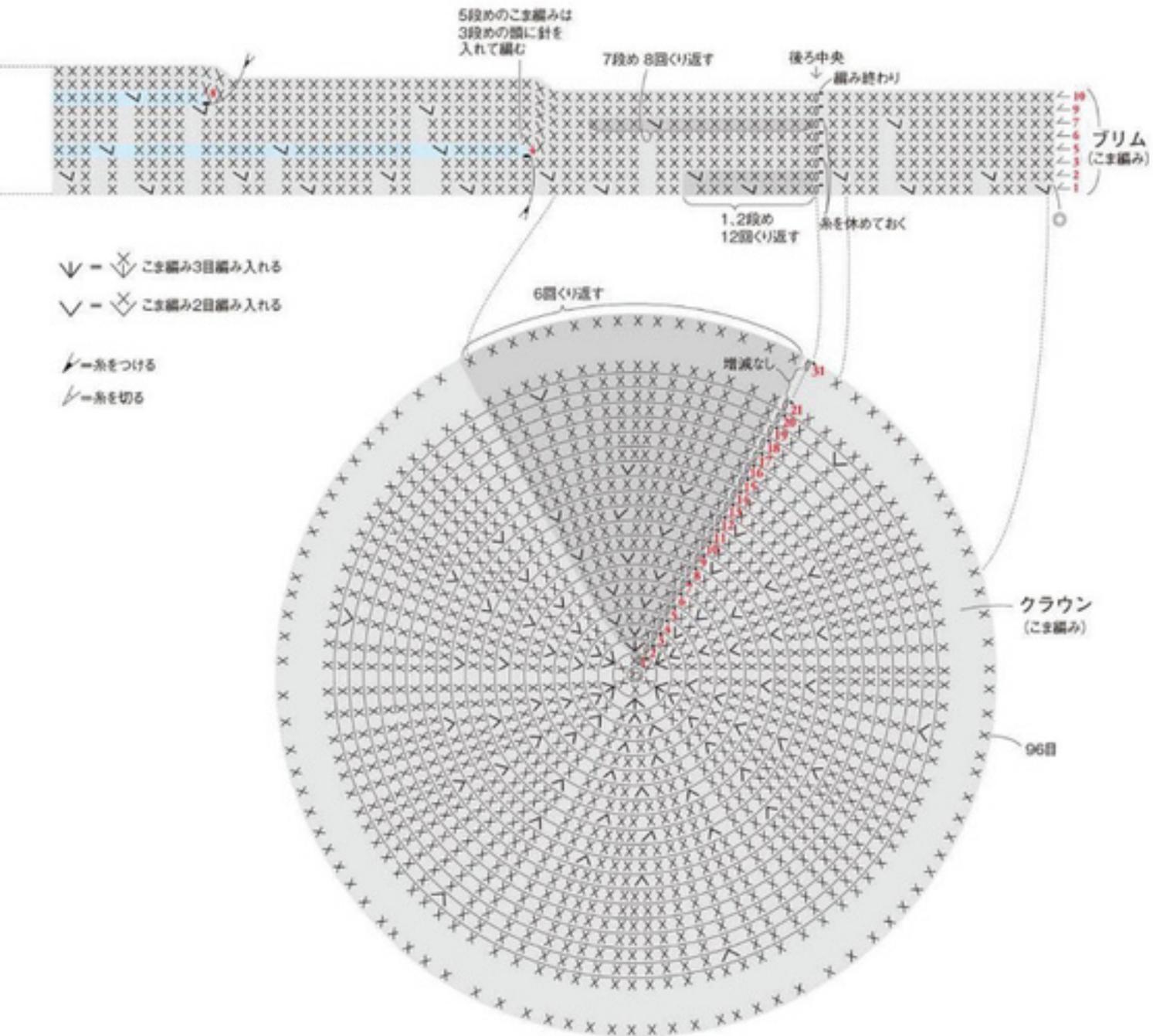
糸端を輪にし、こま編みを6目編み入れます。2段めからは図のように増しながらこま編みでクラウンを編みます。続けてブリムを編みますが、3段編んだら糸を休めておき、4段めは指定の位置に糸をつけて前側をこま編みで編みます。休めておいた糸で5~7段めを編んで糸を休めておき、8段めは指定の位置に糸をつけて編みます。休めておいた糸で9、10段めを編みます。リボンを巻いて結びます。



クラウンとブリムの
目数と増し方

段	目数	増し方
10	140目	増減なし
9	140目(図参照)	
8	50目(図参照)*	
7	136目	8目増す
6	128目	増減なし
5	128目(図参照)	
4	88目(図参照)*	
3	120目	増減なし
2	120目	毎段12目増す
1	108目	
31 ↓ 21	96目	増減なし
20	96目	6目増す
19 ↓ 15	90目	増減なし
14	90目	
13	84目	
12	78目	
11	72目	
10	66目	
9	60目	毎段6目増す
8	54目	
7	48目	
6	42目	
5	36目	
4	30目	
3	24目	
2	18目	12目増す
1	6目	編み入れる

*引き抜き編みも目数に数える



17 べたんこバッグ PHOTO_P.23



【用意するもの】

糸…ハマナカ エコアンダリヤ (40g玉巻)

赤 (37) 90g

針…ハマナカアミアミ両かぎ針ラクラク5/0号

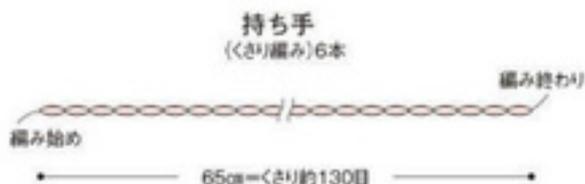
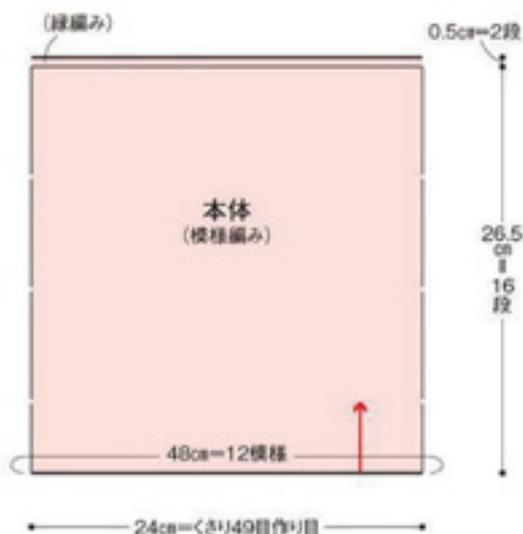
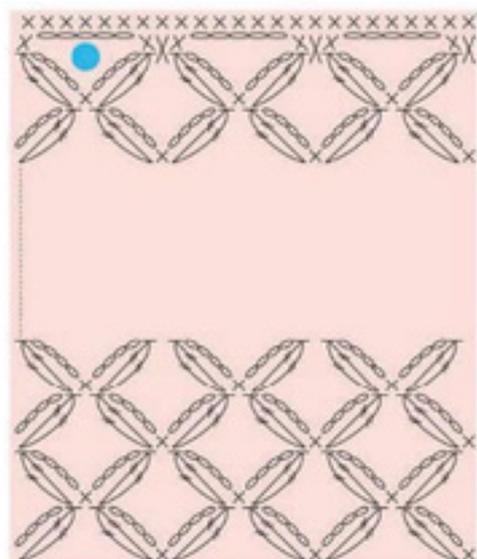
【ゲージ】模様編み 1模様 = 4cm

1模様 (2段) = 3.3cm

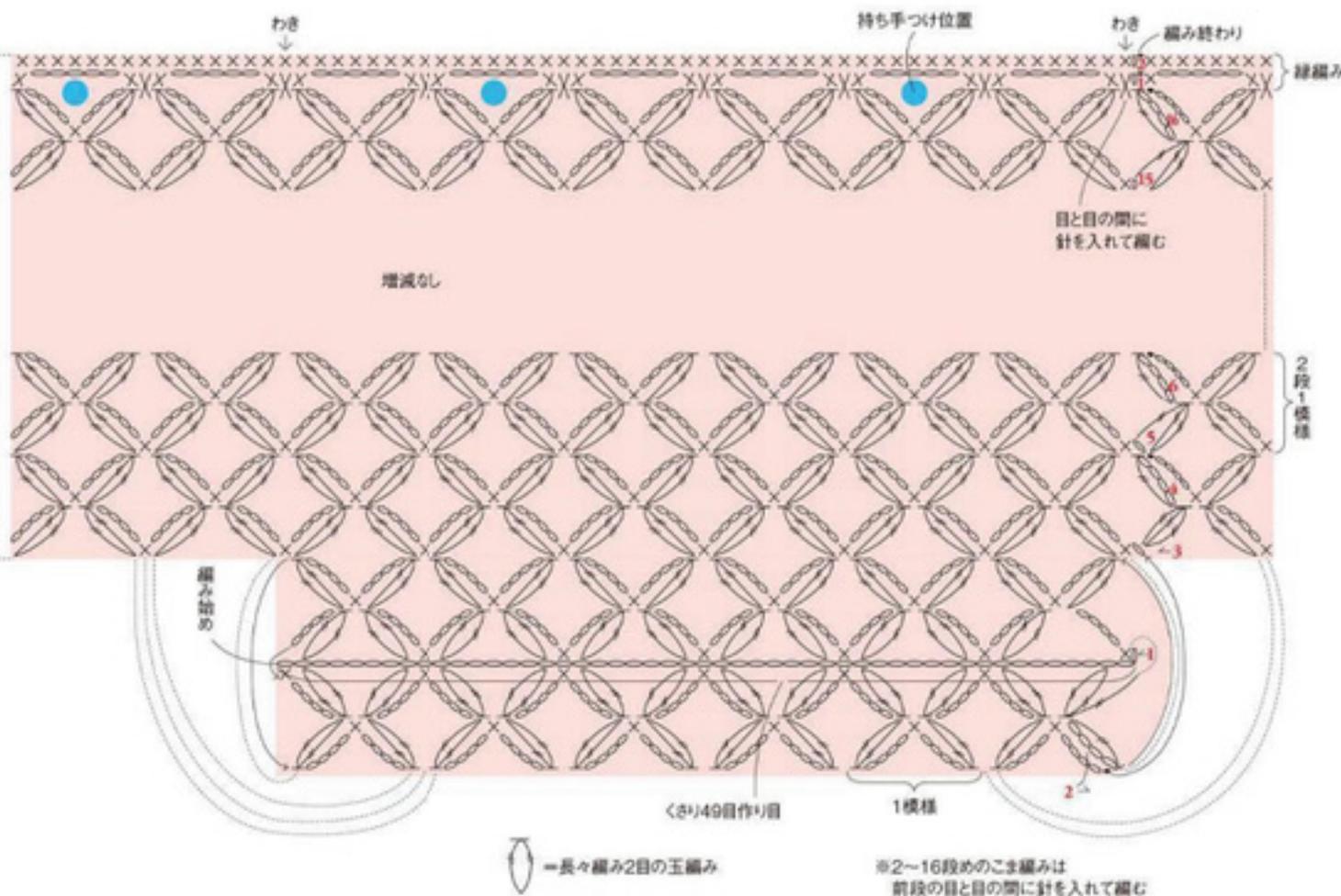
【サイズ】幅24cm 深さ27cm

【編み方】糸は1本どりで編みます。

本体はくさり49目を作り目し、作り目の両側から12模様拾います。模様編みで増減なく、16段を輪に編みます。続けて縁編みを2段編みます。持ち手はくさり編みで6本編みます。くさり編み3本を1組とし、持ち手つけ位置に通して輪にし、中央部分をこま編みで編みくるみます。もう片方も同様に付けます。

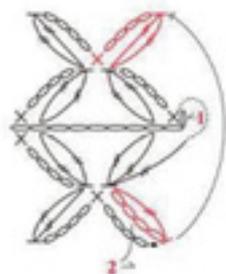


本体 (模様編み)



模様編み編み方ポイント

※わかりやすいように、糸の色をかえて解説しています。



2段め。立ち上がりのくさり4目を編み、1段めの長々編みの玉編みの頭に針を入れて長々編みを編む。



編んだところ。前の目に戻るような感じになるので少し編みにくい。



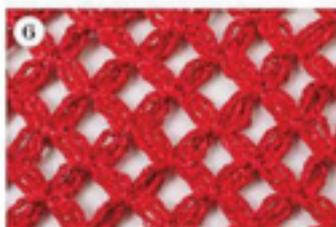
作り目を下にして編み地を外表に二つ折りにする。1段めの玉編みの頭に針を入れて玉編みを編む。



くさり4目を編み、1段めの玉編みと玉編みの間を針を入れてごま編みを編む。



編んだところ。



次の段からも、同じ要領で編み進める。

18 ライン入りの巾着&トート PHOTO_P.24



A

[用意するもの]

糸…ハマナカエコアンダリヤ(40g玉巻)

A黒(30)185g

Bピンクシルバー(173)160g

針…ハマナカアミアミ両かぎ針ラクラク6/0号

[ゲージ]①模様編み 16目17段=10cm角

[サイズ]図参照



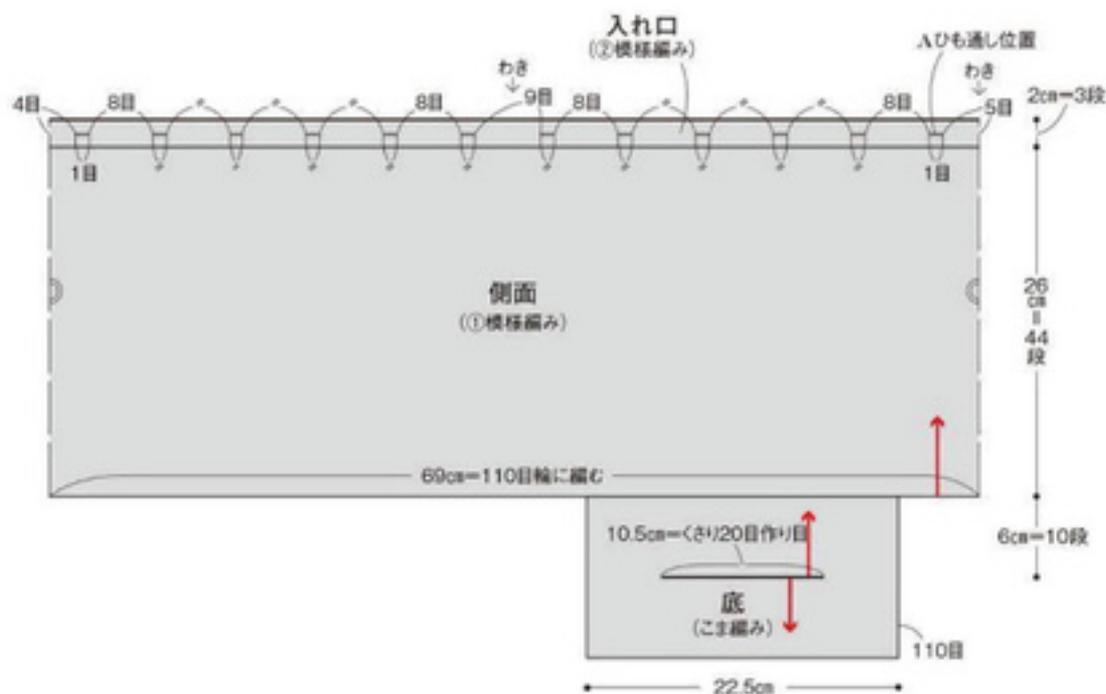
B

[編み方]糸は1本どりで編みます。

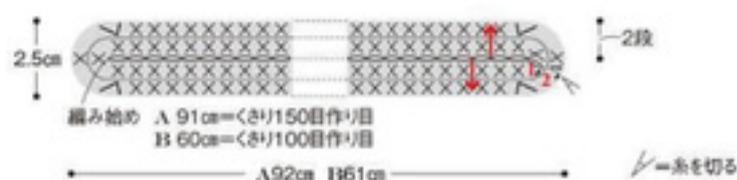
底はくさり20目を作り目し、図のように増しながらこま編みで輪に編みます。続けて側面を①模様編みで編みます。入れ口は②模様編みで、Aはひも通し穴をあけながら編みます。肩ひもはくさりで指定の目数を作り目してこま編みで図のように編みます。肩ひもを指定の位置につけます。

Aはひも止めを編み、編み始めと編み終わりを突き合わせにして縫い止めます。ひも(スレッドコード)を編み、ひも通し穴とひも止めに通し、先端をひと結びします。

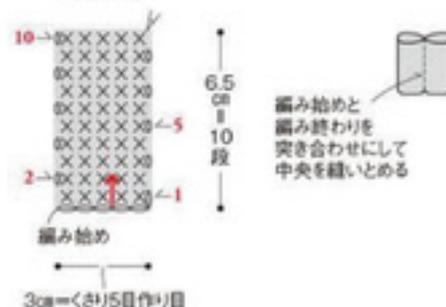
Bは指定の位置にフリルを編みつけます。

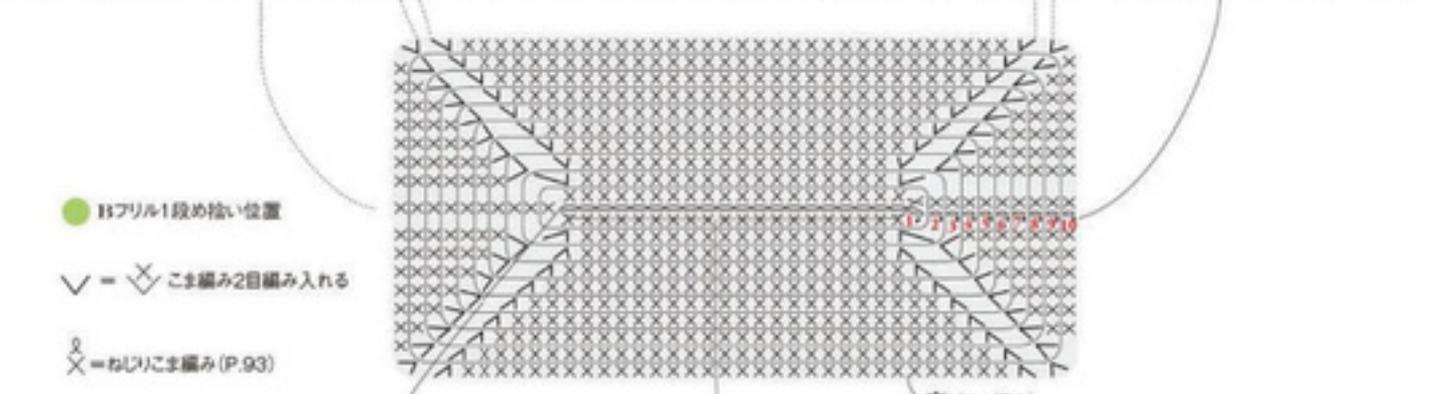
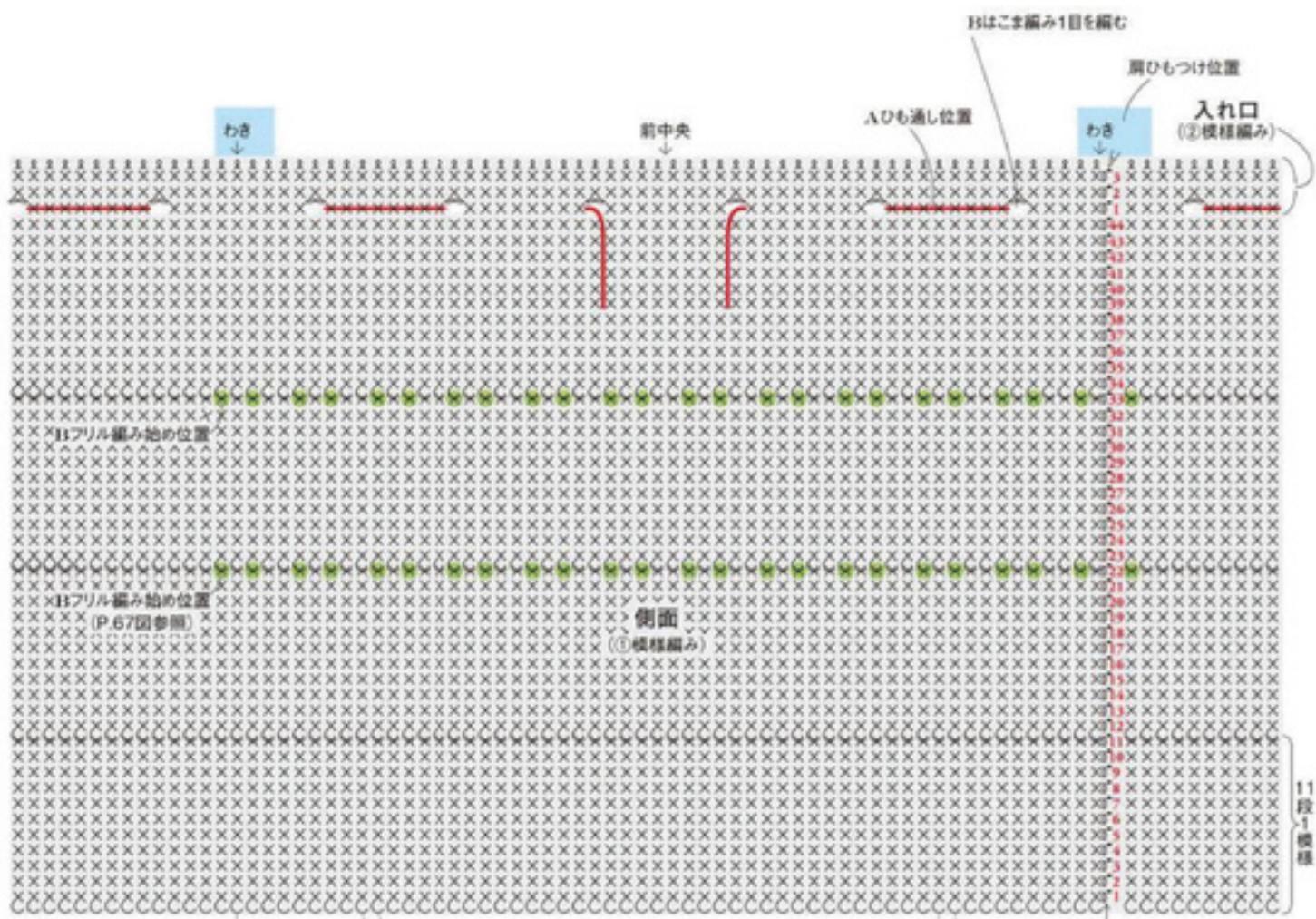


肩ひも 1枚
(こま編み)



Aひも止め 1枚
(こま編み)





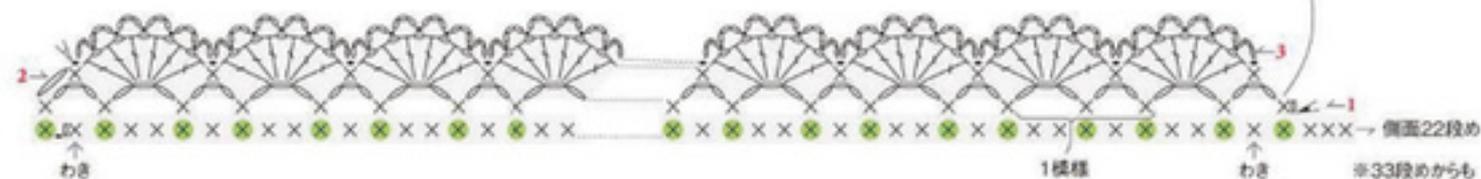
- Bフリル1段め拾い位置
- ∨ = X こま編み2目編み入れる
- ⊗ = おしりこま編み (P.93)

編み始め くさり20目作り目 底 (こま編み)

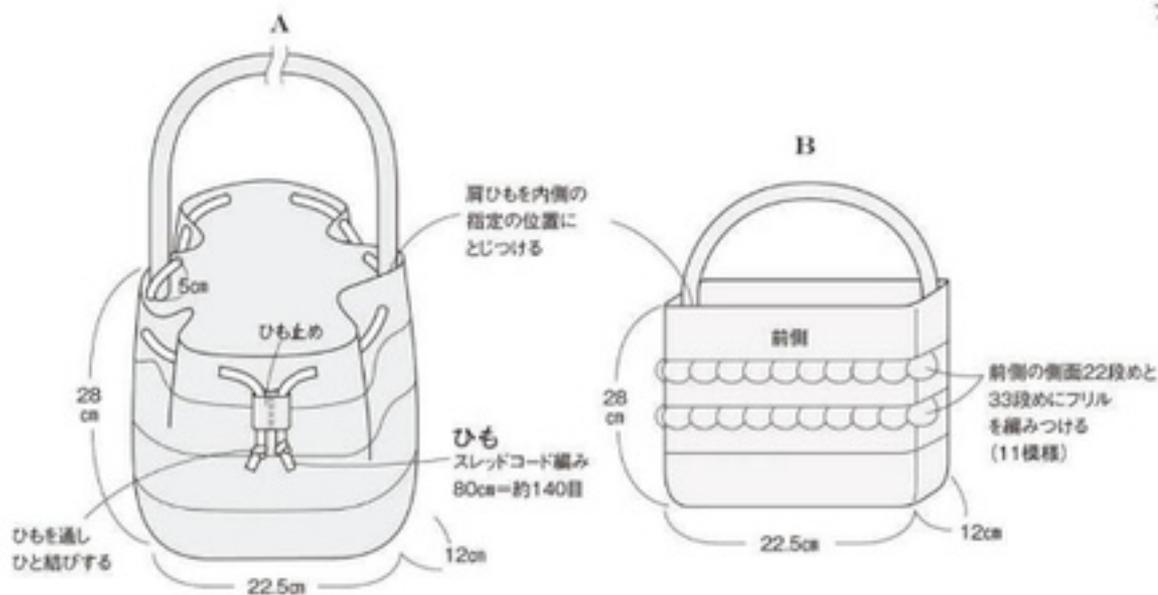
11段1模様

B フリル

こま編み裏引き上げ編みで
浮かび上がった目に編みつける



↙糸をつける
↘糸を切る

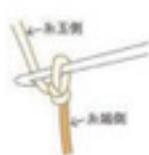


Bのフリル



スレッドコード編み

1



糸端を仕上りの約3~3.5倍の長さを残し、端の目を作る

2



糸端側の糸を針の手前から向こう側にかける

3



針に糸玉側の糸をかけ、針にかかっている糸2本を引き抜く。これで1目で上がり

4



2. 3をくり返す

19 ワンハンドルのバッグ PHOTO_P.26

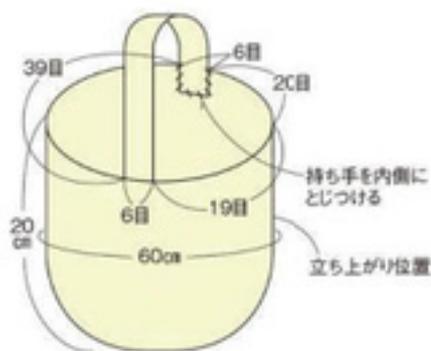
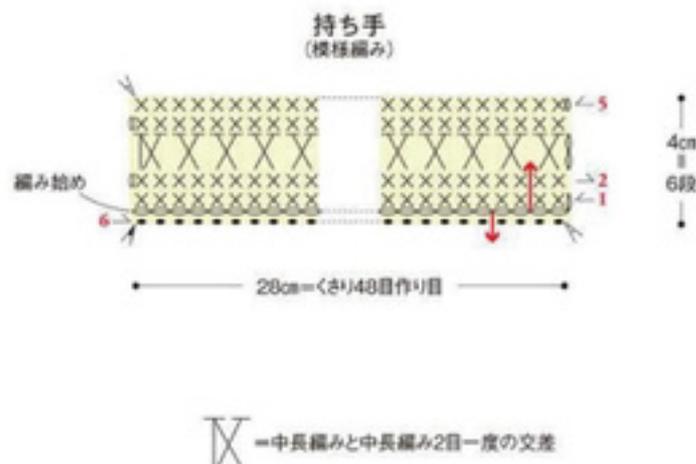
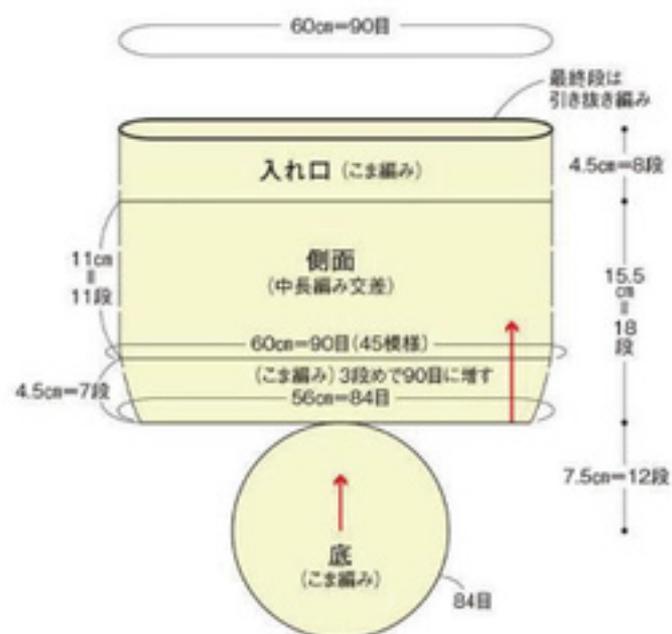


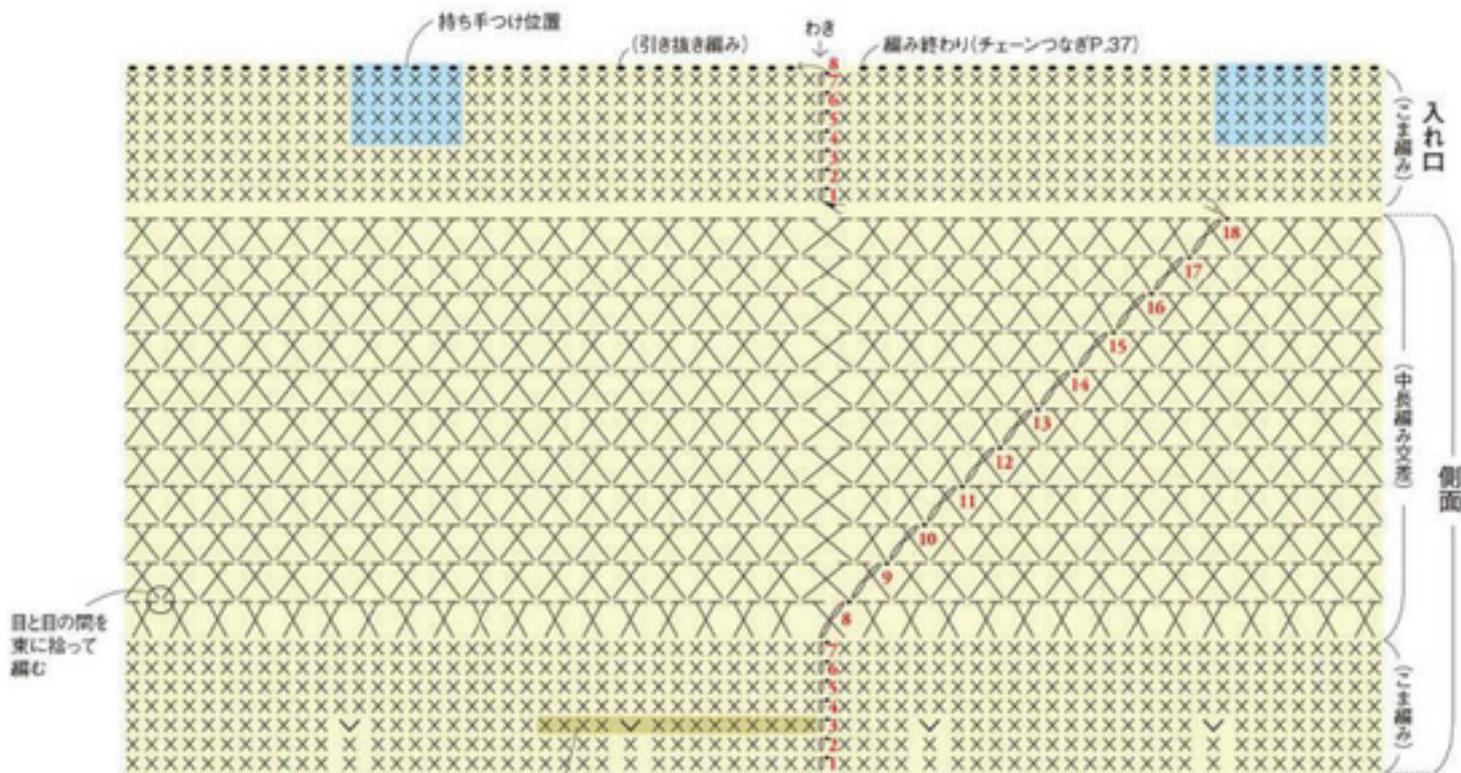
[用意するもの]

糸…ハマナカエコアンダリヤ(40g玉巻)110g
 Aマスタード(139) Bレトロブルー(66)
 針…ハマナカアミアミ両かぎ針ラクラク6/0号
 [ゲージ]こま編み 15目16段=10cm角
 中長編み交差 15目10段=10cm角
 [サイズ]図参照

[編み方]糸は1本どりで編みます。

糸端を輪にし、こま編みを7目編み入れます。2段めからは図のように増しながらこま編みで底を編みます。続けて側面を編みます。こま編みで図のように3段めで目を増して7段編み、中長編み交差で増減なく11段編みます。さらに続けて入入口をこま編みで編みますが、最終段は引き抜き編みで編みます。持ち手は、くさり48目を作り目して模様編みで編み、指定の位置にとじつけます。



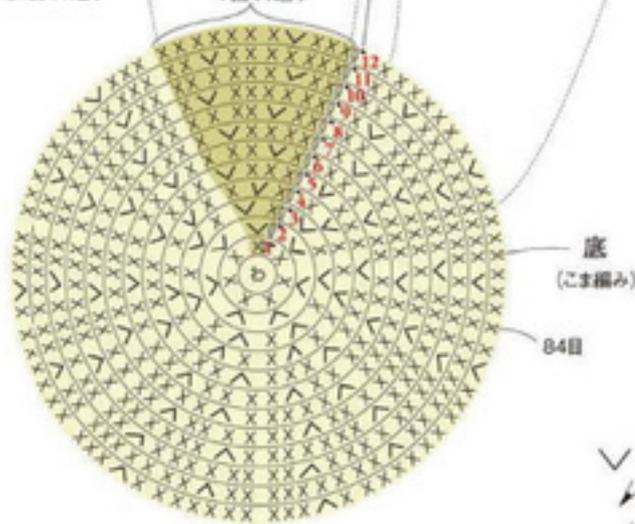


3段めの増し目は
ここを6回くり返す

7回くり返す

底と側面の目数と増し方

段	目数	増し方	
側面	18 1 8	90目 (45模様)	増減なし
	7 1 4	90目	
	3	90目	6目増す
底	2 1	84目	増減なし
	12	84目	毎段7目増す
	11	77目	
	10	70目	
	9	63目	
	8	56目	
	7	49目	
	6	42目	
	5	35目	
	4	28目	
	3	21目	
2	14目		
1	7目	網み入れる	



- ∇ = X こま編み2目編み入れる
- ↘ = 糸をつける
- ↙ = 糸を切る

20 バックリボンのハット PHOTO_P.27



【用意するもの】

糸…ハマナカエコアンダリヤ(40g玉巻)

ページュ(23)110g

針…ハマナカアミアミ両かぎ針ラクラク5/0号

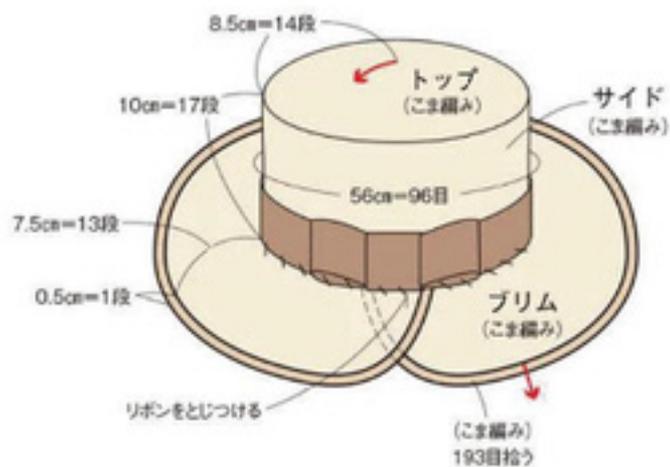
その他…幅4cmのこげ茶のグログランリボン93cm

【ゲージ】こま編み 17目17段=10cm角

【サイズ】頭まわり56cm 深さ10cm

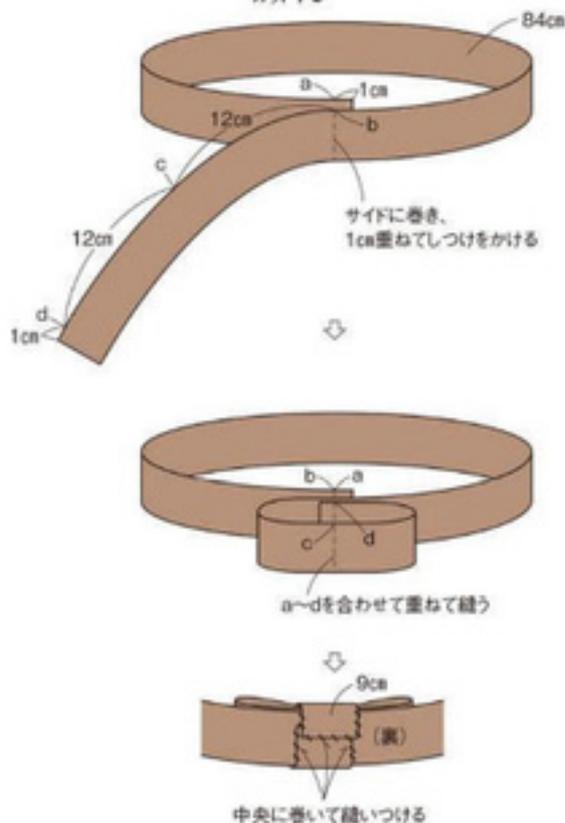
【編み方】糸は1本どりで編みます。

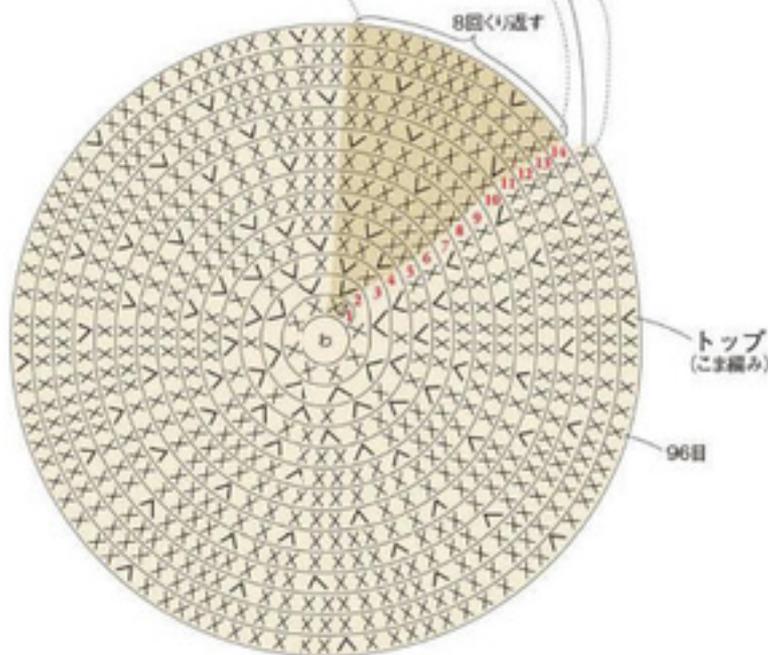
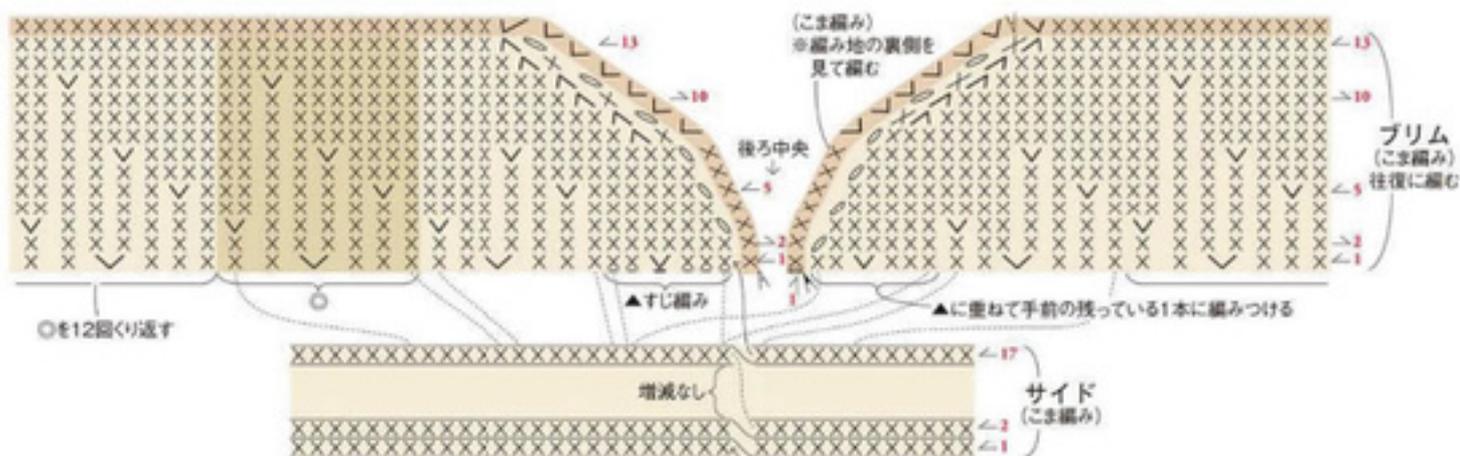
トップは糸端を輪にし、こま編みを8目編み入れます。2段めからは立ち上がりをつけずに図のように増しながらサイドまでぐるぐると編みます。続けてブリムは後ろ中央で重なるように拾い目し、こま編みで往復に編み、糸を切ります。ブリムのまわりに、こま編みを1段編みます。グログランリボンを図のように形づくり、サイドに巻いてとじつけます。



リボンの作り方

※リボンを84cmと9cmにカットする





トップの目数と増し方

段	目数	増し方
14	96目	8目増す
13	88目	増減なし
12	88目	
11	80目	
10	72目	毎段8目増す
9	64目	
8	56目	
7	48目	増減なし
6	48目	
5	40目	
4	32目	毎段8目増す
3	24目	
2	16目	
1		8目編み入れる

- ∨ = ⊕ こま編み2目編み入れる
 ∨ = ⊕ こま編み2目一度
 ∨ = ⊕ こま編みのすじ編み2目編み入れる
 ↘ = 糸をつける
 ↘ = 糸を切る

21 マルシェバッグ PHOTO_P.28



【用意するもの】

糸…Aハマナカエコアンダリヤ(40g玉巻)

ゴールド(170)240g

Bハマナカエコアンダリヤ(40g玉巻)

オフホワイト(168)240g

ハマナカフラックスC《ラメ》(25g玉巻)

オフホワイトラメ(501)170g

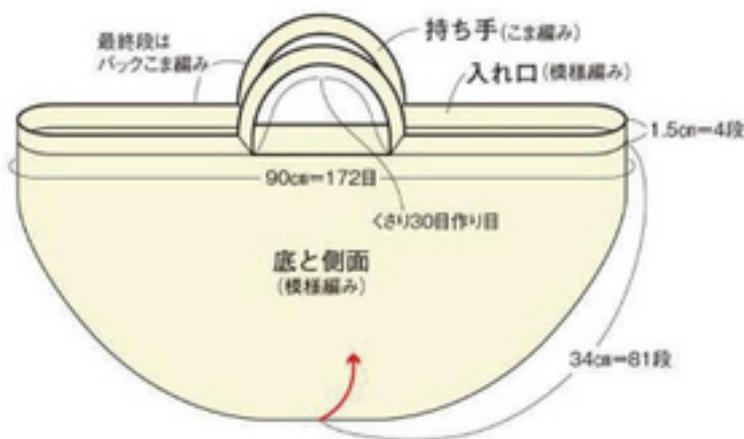
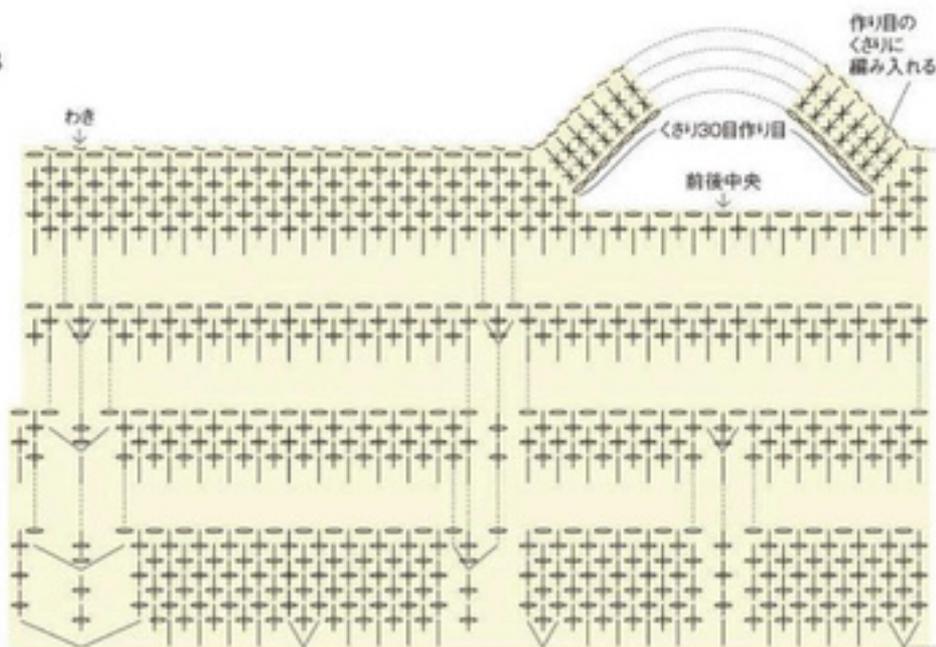
針…ハマナカアミアミ両かぎ針ラクラク7/0号

【ゲージ】模様編み 19目24段=10cm角

【サイズ】図参照

【編み方】糸はAはエコアンダリヤ1本どりで、BはエコアンダリヤとフラックスC《ラメ》各1本の引きそろえ(P.36)で編みます。

糸端を輪にし、こま編みを8目編み入れます。2段めからは模様編みで図のように増しながら81段めまで編みます。続けて入れ口と持ち手を図のように編み、最終段はバックこま編みとくさり編みで編みますが、持ち手は2、3段めはこま編みで編み、4段めのバックこま編みは、作り目に針を入れて、3段めをくるむように編みます。



模様編みの編み始め ※わかりやすいように、糸の色をかえて解説しています。



3段め。立ち上がりのくさりを編み、1段めのこま編みの頭に針を入れる。



糸を長めに引き出し、こま編みを編む。



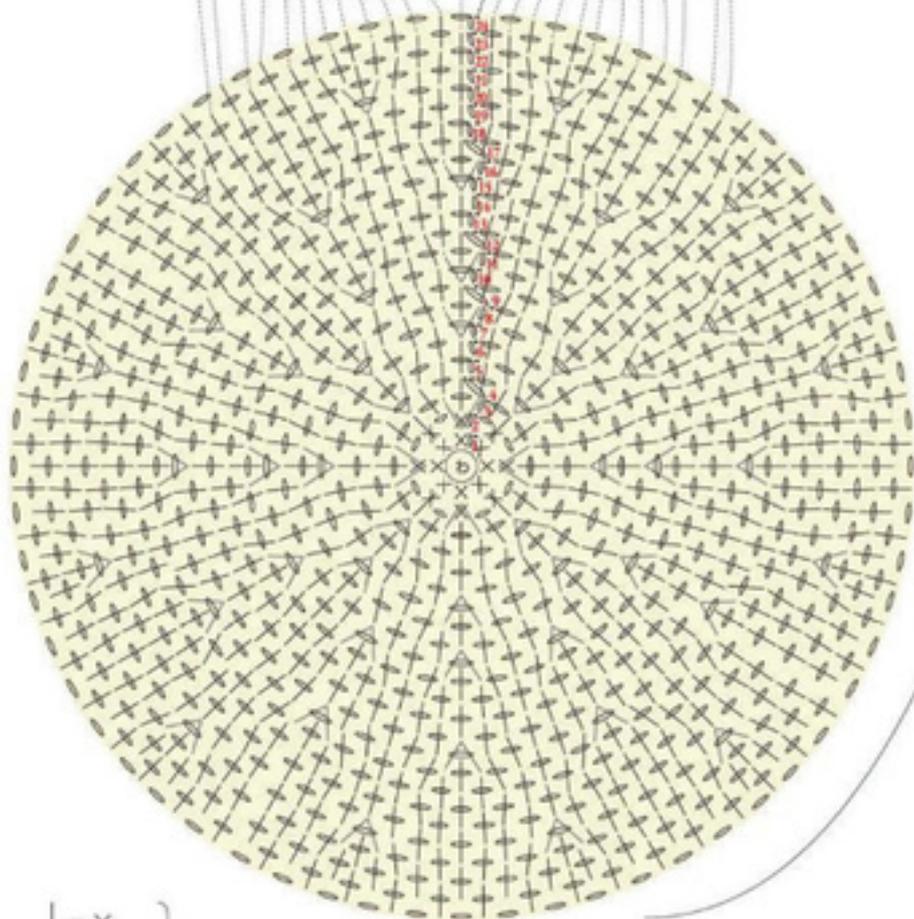
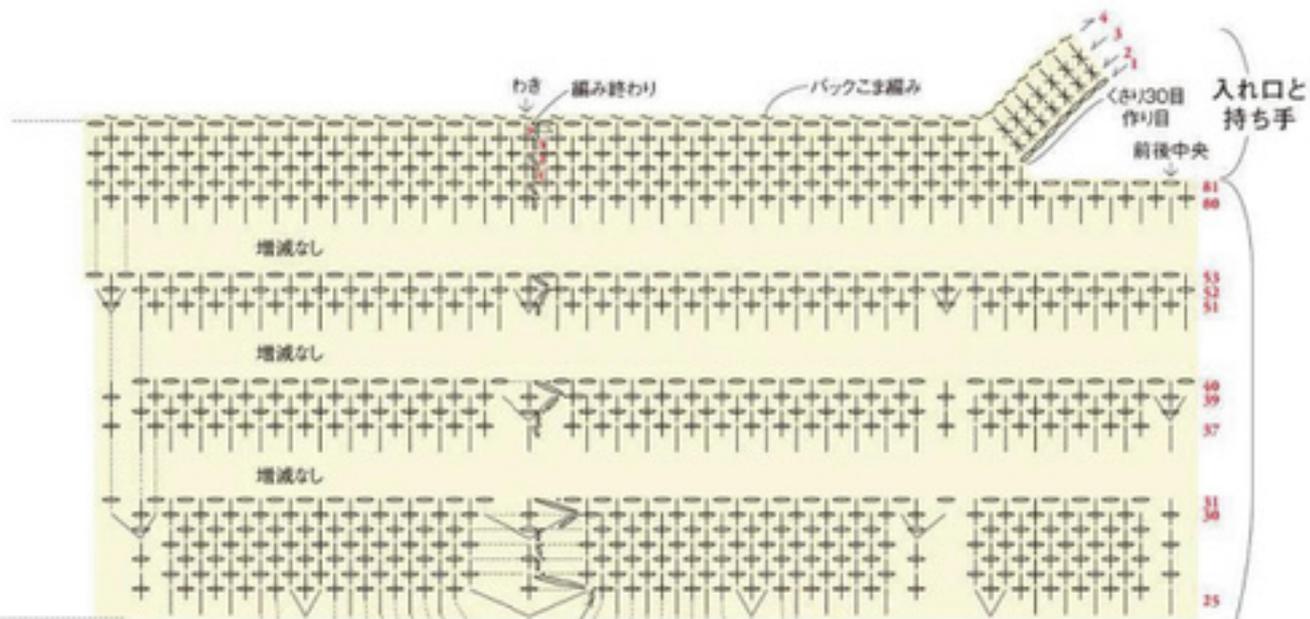
1目編んだところ。



くさり1目を編み、1と同じ場所に針を入れて同様に編む。



▽が編めた。同様に、次の「」はくさり1目編み、前々段のこま編みの頭に針を入れてこま編みを1目編む。



底と側面
(模様編み)

底と側面の目数と増し方

段	目数	増し方
53~81	172目	増減なし
52	172目	12目増す
40~51	160目	増減なし
39	160目	8目増す
31~38	152目	増減なし
30	152目	12目増す
26~29	140目	増減なし
25	140目	20目増す
22~24	120目	増減なし
21	120目	24目増す
17~20	96目	増減なし
16	96目	24目増す
12~15	72目	増減なし
11	72目	24目増す
9~10	48目	増減なし
8	48目	16目増す
6~7	32目	増減なし
5	32目	8目増す
4	24目	増減なし
3	24目	毎段8目増す
2	16目	
1	8目	編み入れる

$\text{---} \times$
 $\nabla = \times \times$ 前段をくまみながら前々段の目に編み入れる。
 $\text{---} \times$ 前々段がくさり目の場合は奥にすく
 $\text{---} \times$

22 あずま袋風バッグ PHOTO_P.30



A

[用意するもの]

糸…ハマナカエコアンダリヤ(40g玉巻)

A イエロー(11) 80g 白(1) 60g

B レトログリーン(68) 80g 白(1) 60g

C グレー(148) 80g 白(1) 60g

針…ハマナカアミアミ両かぎ針ラクラク6/0号

[ゲージ]うね編みのしま模様

17目19段=10cm角

[サイズ]図参照



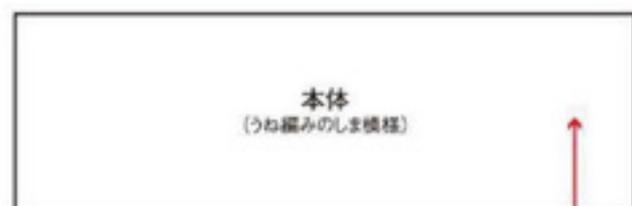
B



C

[編み方]糸は1本どりで、指定の配色で編みます。

本体はくさり120目を作り目し、増減なくうね編みのしま模様で編みます。持ち手はくさり37目を作り目し、こま編みで図のように編んで中央部分を巻きかがります。仕上げ方①~③を参照して本体の合印を合わせて巻きかがります。本体を表に返し、縁編み(こま編み)を1段編みます。持ち手をとじつけます。



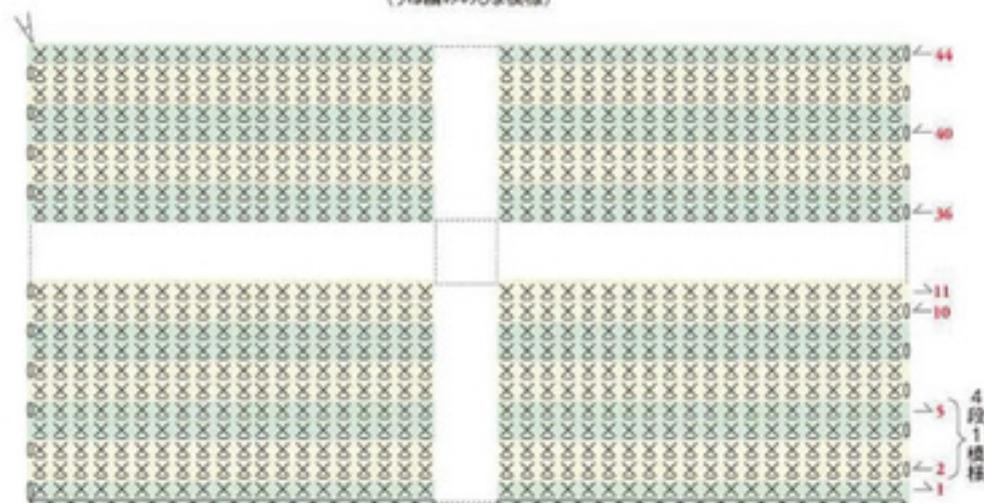
23.5
cm
= 44
段

配色

	A	B	C
□ a色	白	白	白
□ b色	イエロー	レトログリーン	グレー

70.5cm=くさり120目作り目

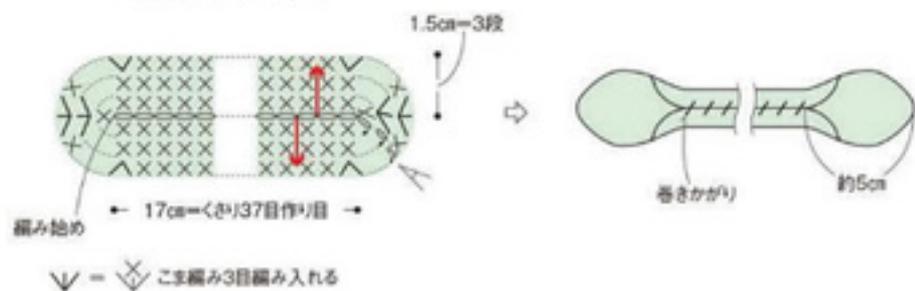
本体
(うね編みのしま模様)



↙=糸を切る

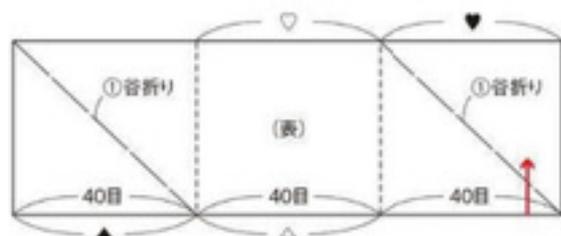
編み始め
くさり120目作り目

持ち手 (こま編み) 1本

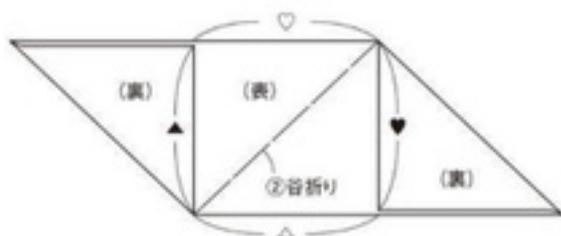


仕上げ方

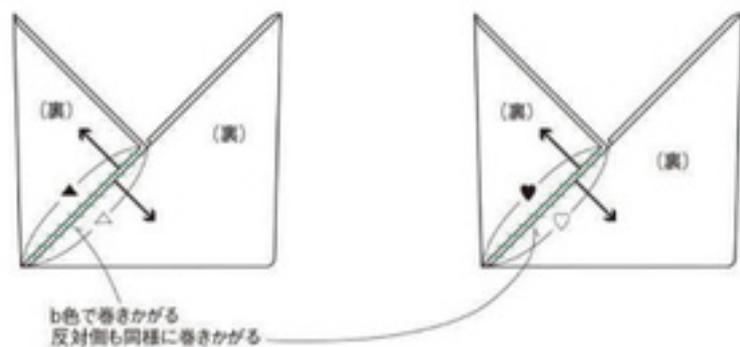
①谷折りにする



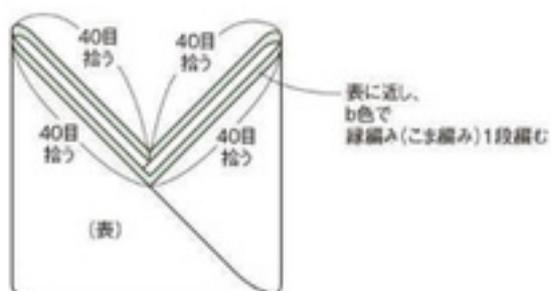
②谷折りにする



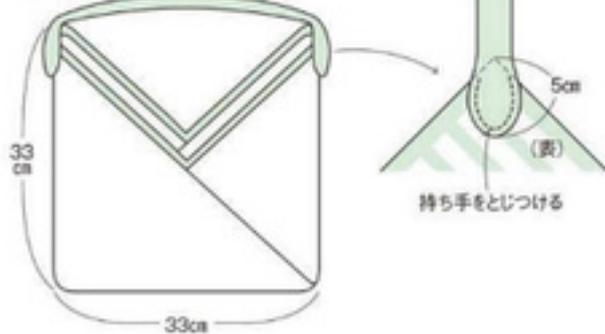
③



④



⑤



23 がま口バッグ PHOTO_P.32



[用意するもの]

糸…ハマナカエコアンダリヤ(40g玉巻)

濃グレー(151)150g

針…ハマナカアミアミ両かぎ針ラクラク5/0号

その他…24cmの編みつける口金(H207-020-4/

アンティーク)1組

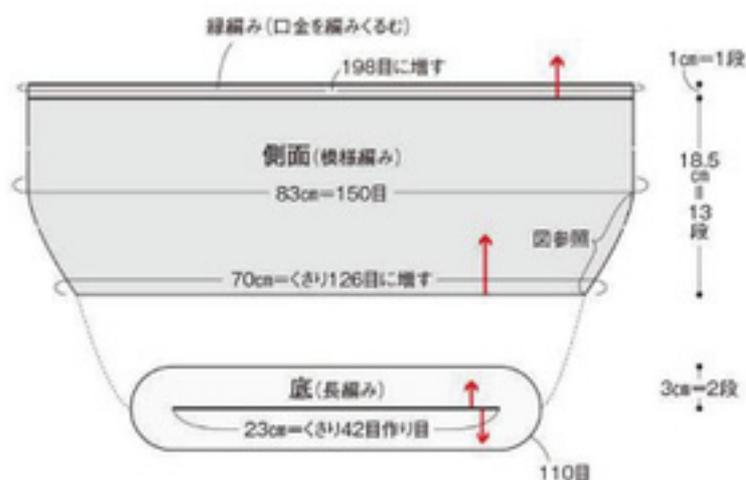
内径1.3cmのナスカン2個

[ゲージ]長編み、模様編み 18目7段=10cm角

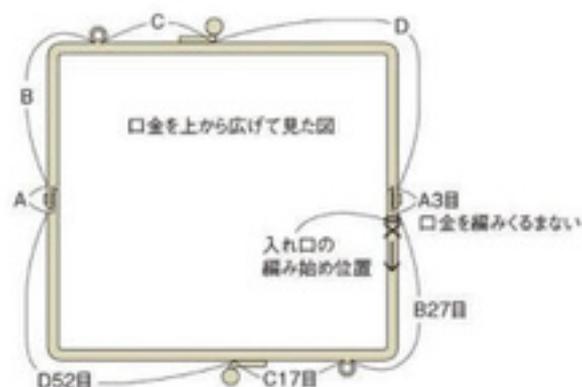
[サイズ]図参照

[編み方]糸は1本どりで編みます。

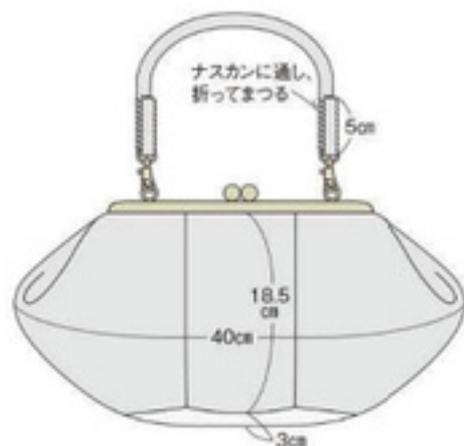
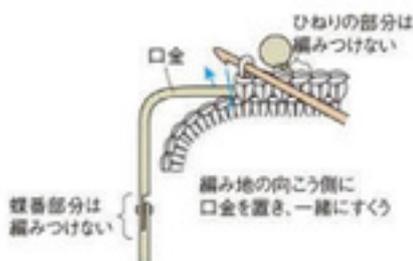
底はくさり42目を作り目し、長編みで図のように増しながら2段編みます。続けて側面を模様編みで図のように増しながら編みます。縁編みを編みながら口金を編みくるみます。持ち手はくさり90目を作り目し、こま編みと引き抜き編みで編んで、両側にナスカンを通し、折ってまつります。口金のリングにナスカンをかけます。

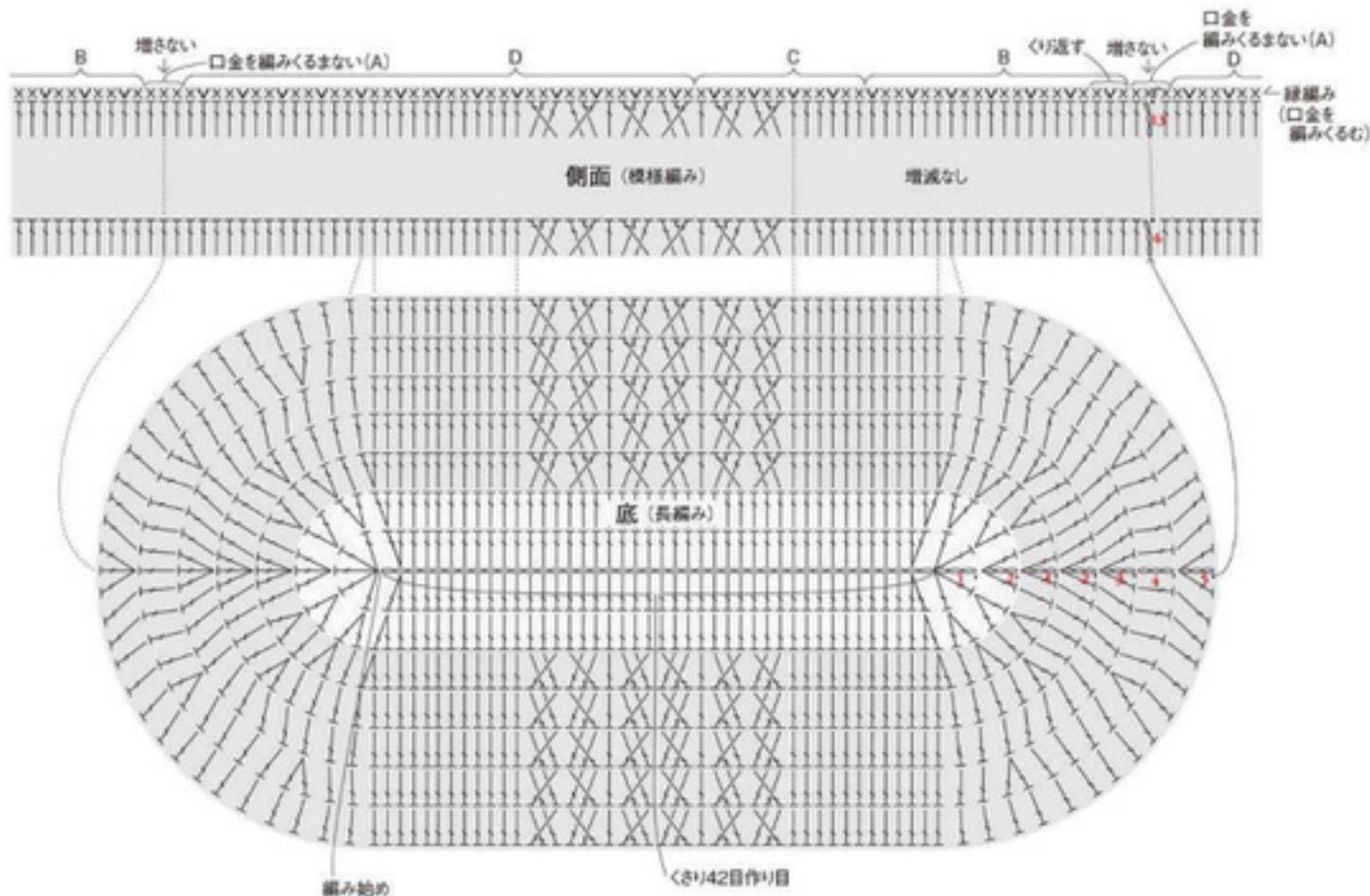


入れ口の目の拾い方



口金の編みつけ方





目数と増し方

段	目数	増し方
側面	6~13	150目 増減なし
	5	150目 4目増す
	4	146目 8目増す
	3	138目 4目増す
	2	134目 8目増す
底	2	110目 16目増す
	1	作り目の両側から 94目拾う

∨ = ∟ こま編み2目編み入れる

3 2 1

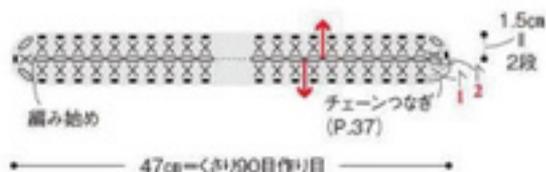
 1の目を2目とばした目に編み、
 2,3の目を1の目の向こう側から
 とばした2目にそれぞれ編む

3 2 1

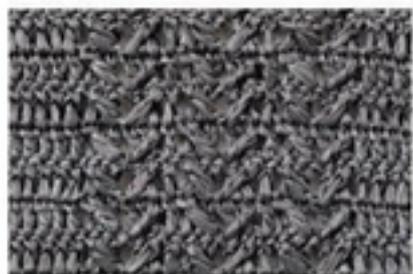
 1,2の目をそれぞれ1目とばした
 目に編み、1,2の目の手前側から
 3の目をとばした目に編む

持ち手

(こま編み、引き抜き編み)



模様編み



24 フラップつきショルダー PHOTO_P.33



[用意するもの]

糸…ハマナカエコアンダリヤ(40g玉巻)

ベージュ(23)300g

針…ハマナカアミアミ両かぎ針ラクラク5/0号

[ゲージ]①模様編み 18目=10cm

5模様(10段)=8cm

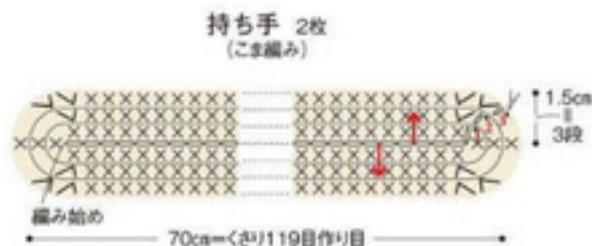
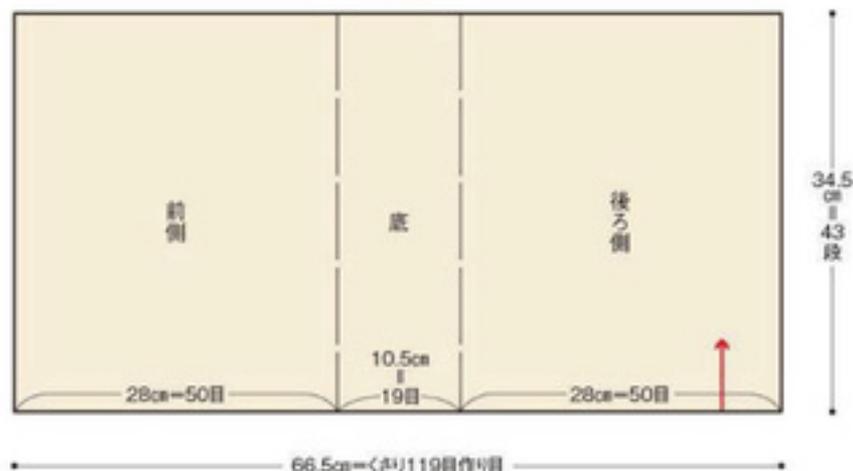
②模様編み 18.5目17段=10cm角

[サイズ]図参照

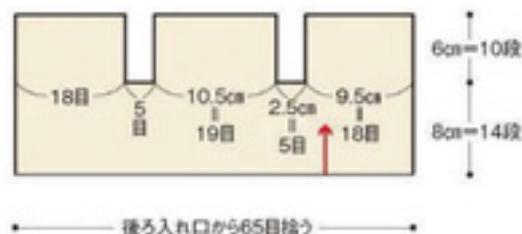
[編み方]糸は1本どりで編みます。

本体とまちはくさりで作り目し、①模様編みで図のように編みます。アイロンで形を整え、本体とまちを外表に合わせてこま編みでとじ合わせます。ふたは後ろ側から拾い目し、②模様編みで図のように編みます。入口とふたのまわりに縁編みを編みます。持ち手はくさり119目を作り目し、こま編みで図のように編みます。中央の103目を巻きかかりで筒状にはぎ、本体の位置に返し縫いで縫いつけます。

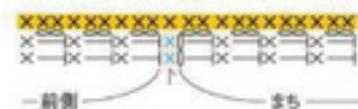
本体 1枚
(①模様編み)



ふた 1枚
(②模様編み)

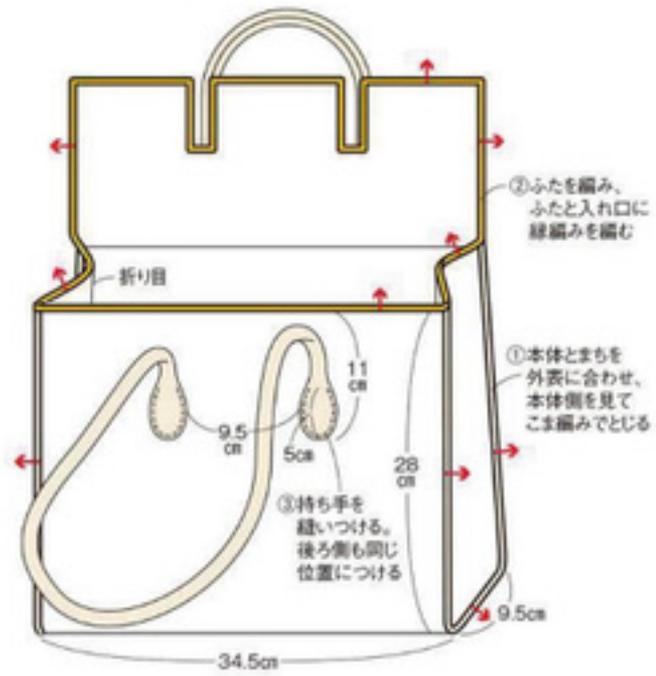


 = こま編み2目編み入れる
 = 糸をつける
 = 糸を切る



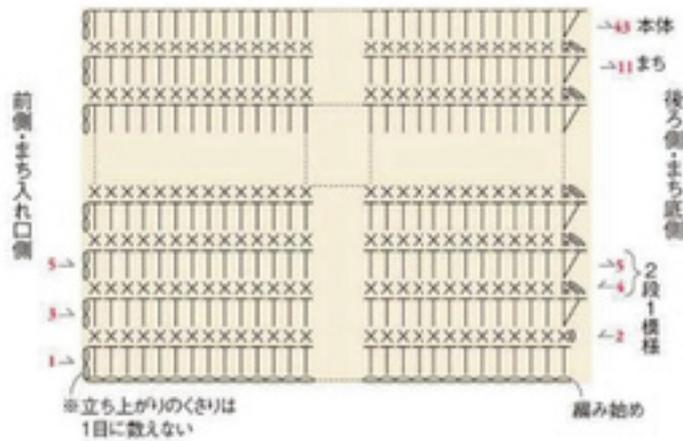
まとめ方

- ※本体とまちはアイロンで長方形に整えておく
- ※まちは首折りに折り目をつけておく

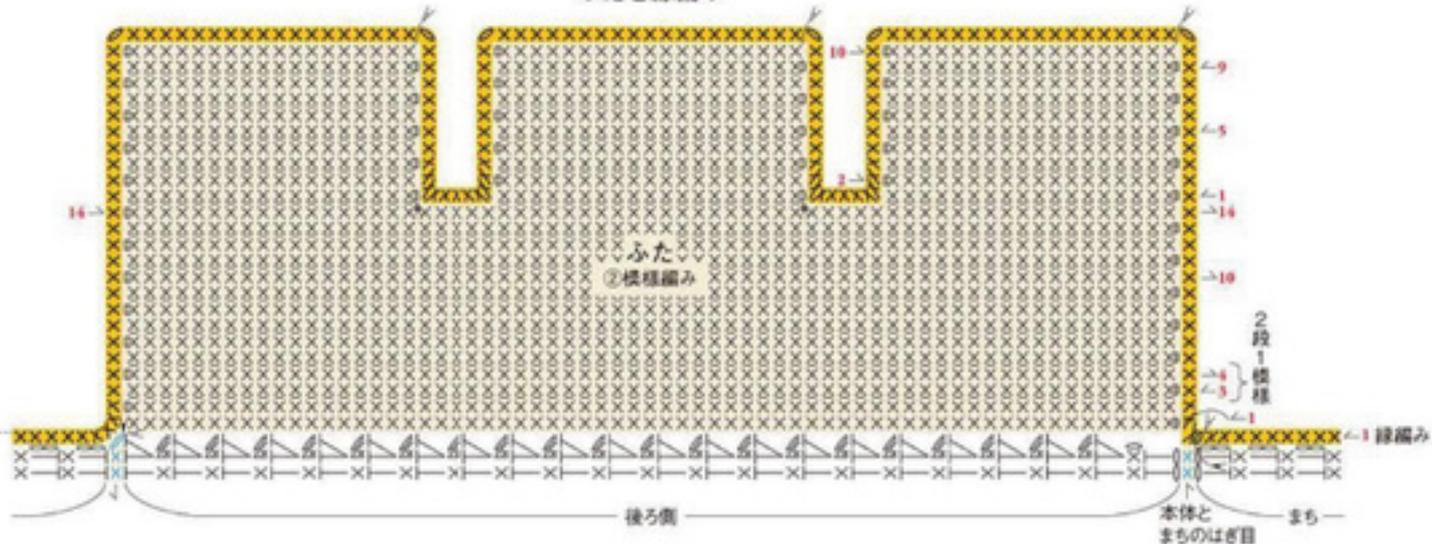


本体・まち

(①模様編み)



ふたと縁編み



×かぎ針編みの基礎×

[基礎知識]

「立ち上がり」とは

「立ち上がり」とは、毎段編み始めに編み目の高さを出すために編む、くさり編みのこと。次に編む目によって、くさり編みの目数は異なります。中長編みや長編みは、立ち上りを1目に数えますが、こま編みは1目に数えません。

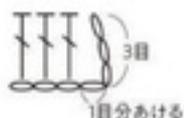
こま編み



中長編み



長編み



編み目の「頭」と「足」とは

編み目の上にあるくさりのような部分を「頭」と言い、柱のような部分を「足」と呼びます。足は「柱」とも呼ばれます。

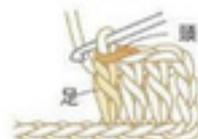
こま編み



中長編み



長編み



「未完成の目」とは

編み目の最後の引き抜く操作をしない、針にループを残した状態を「未完成の編み目」と言います。「2目一度」や「3目一度」、「玉編み」などの解説で使われます。

未完成のこま編み



未完成の中長編み



未完成の長編み



「束にすくう」とは

「玉編み」や「〇目編み入れる」の記号には、根元がくっついているものと離れているものがあり、根元の状態によって針の入れ方が異なります。編み方や目数が変わっても同様です。

記号の根元がくっついている場合



前段の1目に針を入れて編みます

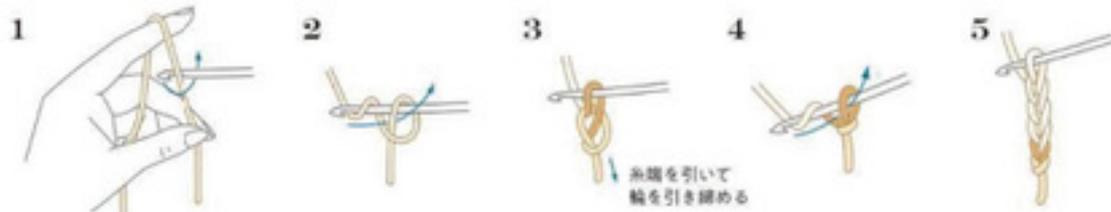
記号の根元が離れている場合=束にすくう



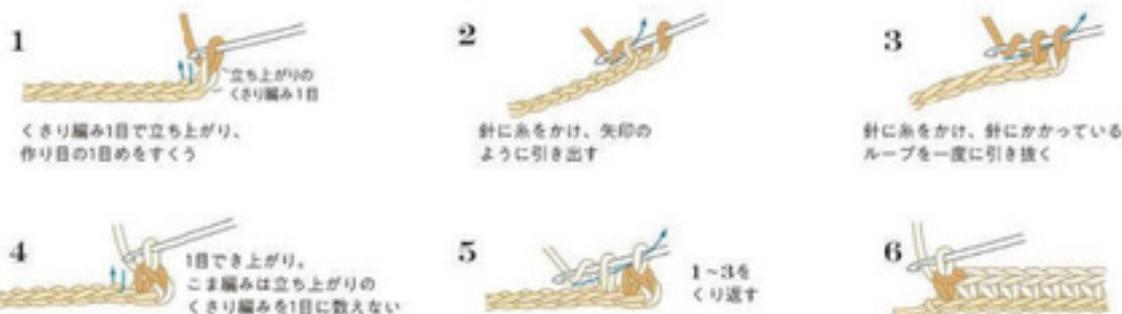
前段のくさり編みのループごとすくって編みます。これを束にすくうと言います

[編み目記号]

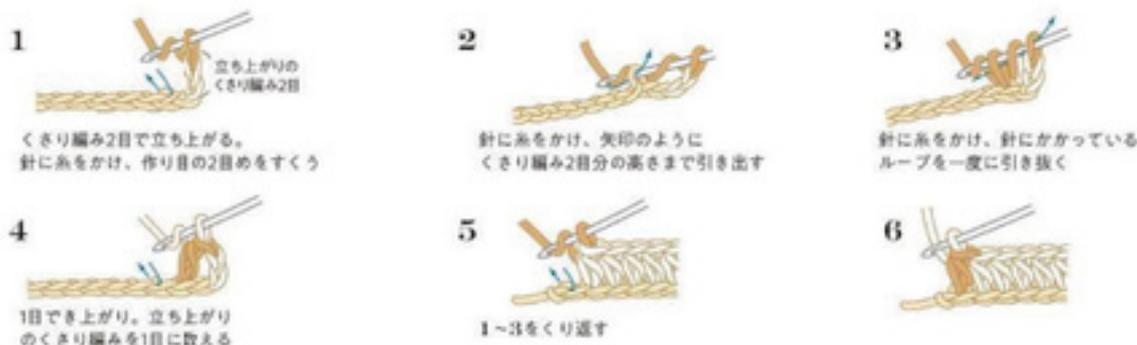
くさり編み



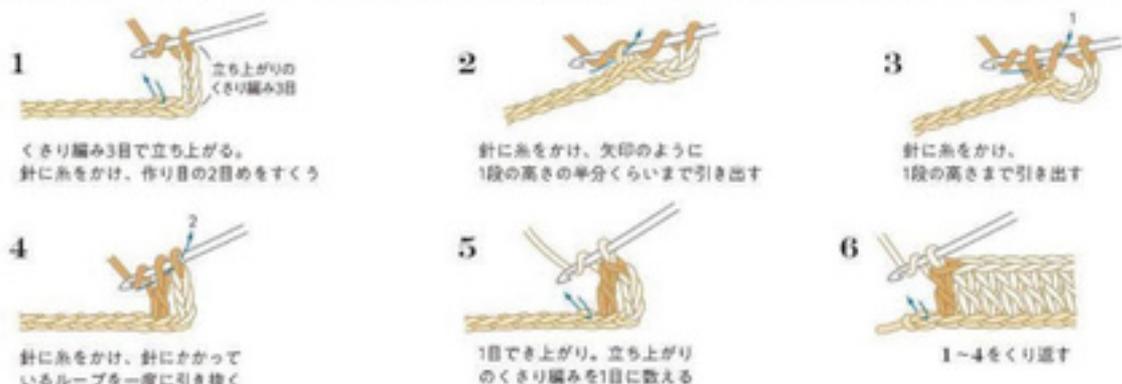
こま編み



中長編み



長編み



引き抜き編み



長々編み



こま編み 2目編み入れる



長編み 2目編み入れる



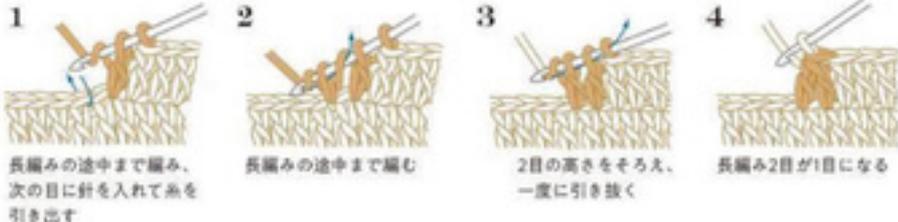
※編み入れる目数が増えても、同じ要領で編む



こま編み2目一度



長編み2目一度



こま編みの すじ編み



うね編み

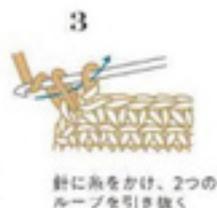


中長編みのうね編み 長編みのうね編み

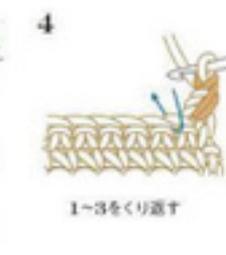
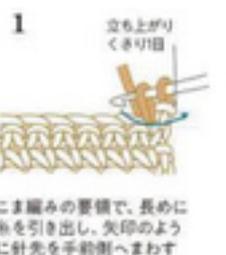


うね編みと同じ要領で、毎段隣の向う側1本だけをすくう。往復編みで編む

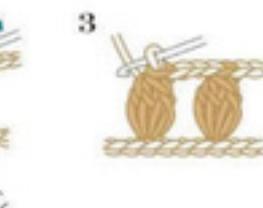
バックこま編み



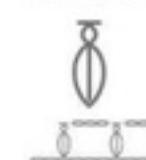
ねじりこま編み



長編み3目の玉編み



中長編み3目の変形玉編み



中長編み2目の変形玉編み



※「中長編み3目の変形玉編み」と同じ要領で中長編みを2目編む

長編み5目のパプコーン編み



[編み始め]

・くさり編みの作り目に編みつける方法

(くさり目の半目と裏側の山をすくう方法)



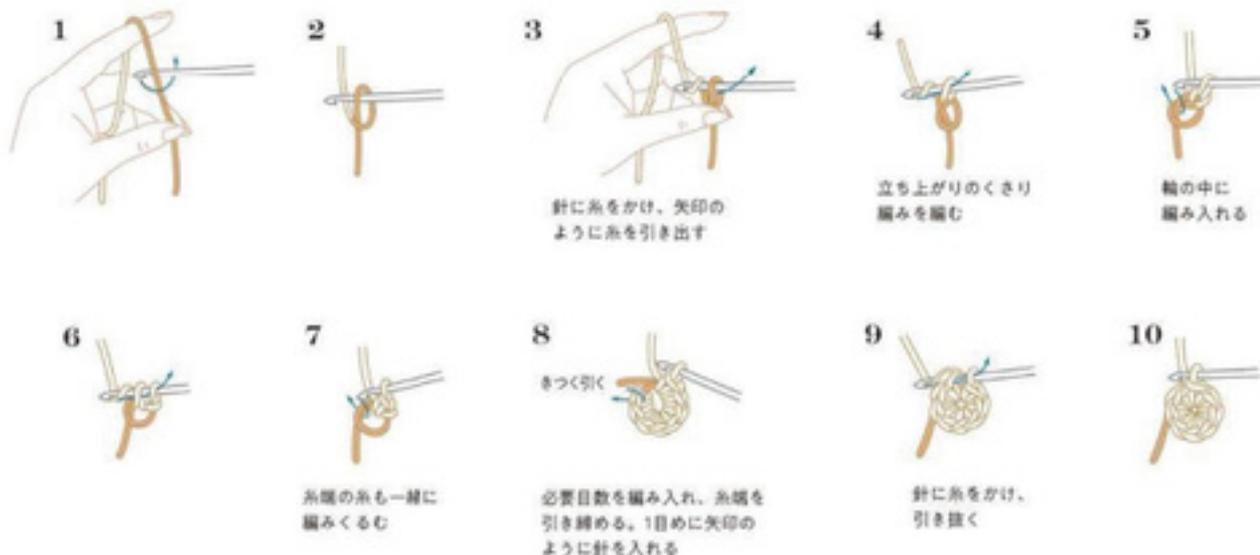
くさり目の向こう側の糸と裏側の山の糸の2本をすくう

(くさり目の裏側の山だけすくう方法)



作り目のくさりがきれいに出る

・糸端を輪にする作り目 (1回巻き)



[とじ/はぎ]

巻きかがり (全目)



編み地を外表に合わせ、こま編みの鎖2本を1目ずつすくっていく

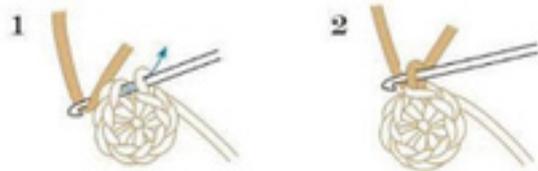
※この本では、特に表記のない場合、全目の巻きかがりです

巻きかがり (半目)



編み地を外表に合わせ、内側の半目ずつをすくって引き締める

[色のかえ方] (輪編みの場合)



色をかえる手前の目の最後の糸を引き抜くときに、新しい糸にかえて編む

長編み交差



1



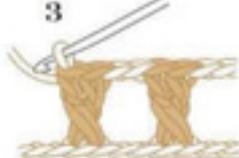
1目先の目に長編みを編み、針に糸をかけて手前側の目に針を入れる

2



針に糸をかけて引き出し、長編みを編む

3



先に編んだ目をあとから編んだ目で編みくるむ

中長編み交差



長編み交差と同じ要領で、中長編みを編む

変わり長編み交差 (左上)



1



1目先の目に長編みを編む。次の目は針を長編みの裏側を透って矢印のように入れ、長編みを編む

2



あとから編んだ目が上に重なって交差する

変わり長編み交差 (右上)



1目先の目に長編みを編む。次の目は針を長編みの裏側を透って矢印のように入れ、長編みを編む

こま編み 表引き上げ編み



1



矢印のように針を入れ、前段の目の足をすくう

2



針に糸をかけ、こま編みより長めに糸を引き出す

3



4

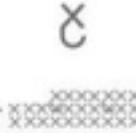


こま編みと同じ要領で編む

5



こま編み 裏引き上げ編み



1



前段の足を裏側から針を入れてすくう

2



針に糸をかけて矢印のように編み地の向こう側に引き出す

3



少し長めに糸を引き出し、こま編みと同じ要領で編む

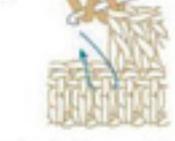
4



長編み 表引き上げ編み



1



針に糸をかけ、前段の足を矢印のように表側からすくう

2



針に糸をかけ、長めに糸を引き出す

3

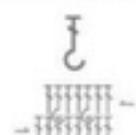


長編みと同じ要領で編む

4



長編み 裏引き上げ編み



1



針に糸をかけ、前段の足を裏側からすくい、長めに糸を引き出す

2



長編みと同じ要領で編む

3

